

平成26年度
あきる野市環境白書



あきる野市

目 次

はじめに	1
環境白書作成の背景	1
環境白書の構成	2
第1章 あきる野市の環境の現状	3
1 自然環境分野	3
2 生活環境分野	9
3 エネルギー環境分野	15
4 人の活動分野	22
第2章 環境基本計画の施策の進捗状況	27
1 環境基本計画とは	27
2 施策進捗状況評価	29
3 あきる野市環境委員会からの意見	53
資料編	
1 施策の進捗状況調査結果	57
2 「関連指標」の評価一覧	88
3 環境調査結果	90
4 放射線・放射性物質測定結果	97

はじめに

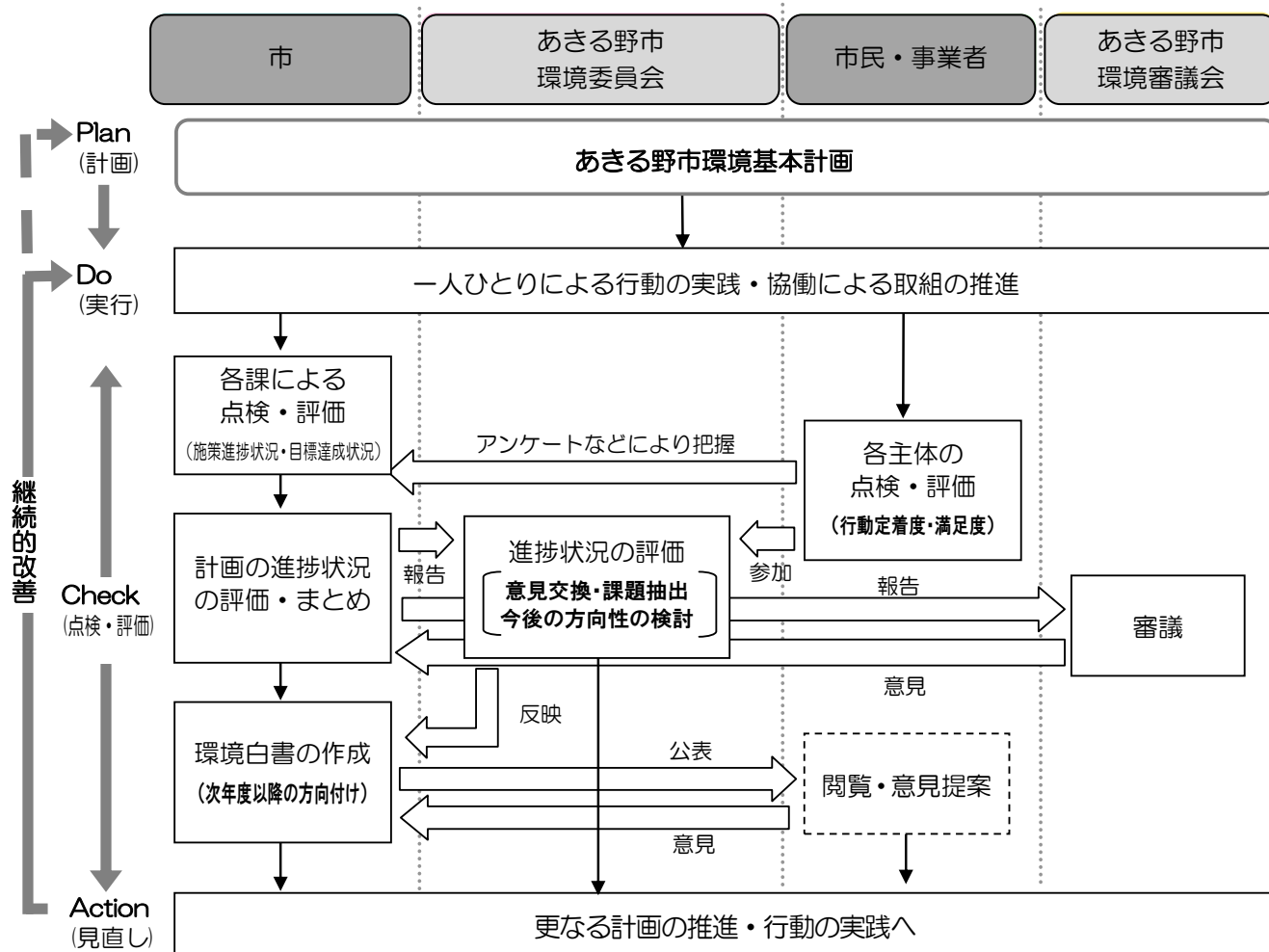
環境白書作成の背景

あきる野市では、平成16年3月に環境の保全、回復及び創造に関する基本理念、市民・事業者・市の三者それぞれの責務や協働の責務等を定めた「あきる野市環境基本条例」を制定し、平成18年3月には、同条例に基づき、「あきる野市環境基本計画」（以下「環境基本計画」といいます。）を策定しました。また、平成23年3月には、環境基本計画の後期5か年の「重点的に取り組むべき施策」を定めるとともに、一般施策について一部改訂を行いました。

本書は、あきる野市の環境の現状や環境基本計画の施策の進捗状況を取りまとめたものであり、今後の課題把握に活用するとともに、本市の環境施策の実施状況を広く市民の皆様公表するものです。

また、環境基本計画（Plan）がどのように実行（Do）されたかを点検・評価（Check）した結果をまとめており、今後、環境基本計画の更なる推進・行動の実践に向けた見直し（Action）を行うための資料として活用します。

●環境基本計画の進行管理の流れと役割



環境白書の構成

本書は、次の２章から構成されており、平成２６年４月から平成２７年３月までの取組状況を中心にまとめています。

■第１章 あきる野市の環境の現状

あきる野市の自然環境分野、生活環境分野、エネルギー環境分野、人の活動分野それぞれの現状についてまとめています。

■第２章 環境基本計画の施策の進捗状況

環境基本計画に掲げられている施策の進捗状況についてまとめています。

■資料編

※ 組織名の表記について

本書は、平成２６年度の報告であるため、平成２６年度の体制で表記しています。

第1章 あきる野市の環境の現状

あきる野市は、都心から40～50km圏に位置し、秋川と平井川の二つの川を軸として、比較的緩やかな秋川丘陵・草花丘陵に囲まれる平坦部と、奥多摩の山々に連なる山間部から形成されています。平坦部は秋留台地からなり、秋川と平井川に沿って市街地を形成しています。

本市は、市域の面積（7,334ha）の約6割を森林が占めており、多摩地域でも豊かな自然が残っています。その一方で、農地は年々減少を続け、宅地が増加傾向にあります。

本章では、あきる野市の環境の現状として、各分野（自然環境分野、生活環境分野、エネルギー環境分野、人の活動分野）の取組を掲載します。

1 自然環境分野

1-1 自然環境調査

市内の森林や雑木林、農地などにおいては、生産価値の低下、林業・農業関係者の高齢化・後継者不足などの様々な要因によって、適正な維持管理が十分に行われていない状況にあります。

市では、市域の自然環境の状況を把握し、保全すべき地域の設定や保全策の検討を行うため、平成21年度から市内の自然に専門的な知識を有する方や多くの市民の協力のもと、自然環境調査を実施しています。初めの3年間の調査結果については、「あきる野市自然環境調査報告書（平成21年度～23年度）」として取りまとめ、市内図書館やホームページでご覧いただくことができます。

また、あきる野の自然環境を身近に感じてもらうため、リーフレット「知って守ろうあきる野の自然」で調査結果の一部を紹介しています。この調査結果は、平成26年度に策定した「生物多様性あきる野戦略 ～未来の子ども達に贈る あきる野の自然の恵み～」の基礎資料にもなっています。



＜あきる野市自然環境調査報告書
平成21年度～23年度＞



＜リーフレット
「知って守ろうあきる野の自然」＞



＜生物多様性あきる野戦略＞

1-2 あきる野百景の周知・活用

本市にとって自慢となる、未来の子どもたちに残したい「おらがまちの自慢の場所」として選定した「あきる野百景」（平成21年度決定）を広く市民に周知するため、リーフレットを作成しています。

また、「あきる野百景」を中心に、指定文化財や花の名所、里山などをめぐりながら地域の良さを再発見し、郷土愛を育むことや健康づくりを目的とした「みんなで歩くあきる野百景めぐりマップ」を発行しています。

これらは、市民の方はもとより、市外からの観光客の方々にも活用していただける内容となっています。



＜リーフレット「あきる野百景」＞



＜あきる野百景めぐりマップ＞



1-3 郷土の恵みの森づくり事業

1) 森づくり

「あきる野市郷土の恵みの森構想」（以下「郷土の恵みの森構想」といいます。）では、地域との協働による森づくり事業を進めています。昔道や尾根道の補修、景観の整備などを町内会・自治会が主体となって取り組んでいます。

また、森林レンジャーあきる野による様々なイベントなども行われており、森づくり事業の持続的な展開に必要な財源を確保するために「郷土の恵みの森づくり事業基金」も創設しています。

森づくり事業概要（平成26年度）

事業名	事業数	実施団体
昔道・尾根道補修等事業	10事業	8町内会・自治会
景観整備事業	11事業	9自治会

2) 森林レンジャーあきる野

郷土の恵みの森構想に基づく森づくり事業を進めるため、平成22年5月から専門知識を持つ4人による「森林レンジャーあきる野」が活動しています。

森林レンジャーあきる野は、昔道や尾根道の補修、景観の整備等を地域と協働で実施しています。

また、登山道や山林地帯を巡視し、支障木の除去や補修を行うとともに、市内に生息する動植物の調査、滝や沢、巨木といった地域資源の掘り起こしなども行っています。

さらに、地域が実施する森づくり事業に関連した自然環境体験イベントの開催など、森とその周辺にある地域資源の持つ魅力を市内外に向けて発信しています。



<倒木処理の様子>

3) 森林サポートレンジャーあきる野

郷土の恵みの森構想の実現に向け、町内会・自治会との協働による森づくり事業を進めるため、市職員や市民などによる「森林サポートレンジャーあきる野」（平成27年3月末現在106人）が、昔道や尾根道の補修、景観の向上等の森づくり事業や森づくりイベントなどの支援を行っています。

平成26年度は、12回の活動が行われ、延べ93人が参加しました。



<景観整備の様子>

4) 森の子レンジャー

次世代の森の守り人となる人材を育成するため、森林レンジャーあきる野と一緒に学び、森づくりを行う「森の子レンジャー」を組織し、1年を通して活動しています。この活動では、「あきる野の自然と文化を守り引き継いでいく自然愛や郷土愛を持った人材が育つ」ことを目指しています。

平成26年度は、公募で募集した小学4年生から6年生までの20人が14回にわたり活動を行いました。



＜レンジャー隊長からクマのサインポスの説明を受けるコレンジャー＞



＜コレンジャーによる道の補修作業の様子＞

1-4 小宮ふるさと自然体験学校

小宮ふるさと自然体験学校は、平成24年3月31日をもって閉校となった小宮小学校を活用し、平成24年9月1日に開校しました。子どもたちを中心に自然とのふれあいや環境学習の場を提供することにより、心豊かな人間性を育むとともに、地域の活性化を図るための自然体験活動の拠点として、市内外の学校や団体の自然体験事業などを実施しています。

利用状況（平成26年度）

利用形態	回数	利用人数
自然体験事業等	149回	3,402人
その他イベント等	166回	1,973人



＜体験活動の様子＞

1-5 産学公連携による取組

郷土の恵みの森構想等に基づき、市内でも恵まれた里地里山を有する菅生地区をモデル地域として、自然環境保全の取組を進めています。この取組を進めるに当たり、森林の保全・活用と地域の活性化についての調査・研究のほか、これらの活動やその担い手の育成などを行うため、平成23年7月13日に、NECフィールディング株式会社、明星大学及びあきる野市の3者により、「自然環境保全活動等に関する協定書」を締結し、産学公が連携した取組を進めています。

また、協定書に基づく森づくりの取組を具体的に進めていくため、平成23年8月8日、菅生町内会、明星大学、NECフィールディング株式会社、あきる野青年会議所、特定非営利活動法人ふるさとの森づくりセンター及びあきる野市を構成員とする「あきる野菅生の森づくり協議会」が設置されました。平成25年度からは西多摩マウンテンバイク友の会が構成員として加わり、この協議会において、菅生地区で取り組む里地活性化事業や里山活性化事業を実施しています。



＜菅生大沢地区での植樹の様子(ワークショップ形式)＞



＜木こり講座の様子＞

菅生地区で実施された里地活性化事業等一覧（平成26年度）

里地活性化事業	
人材育成	
・ 人材育成講座(農業)「あきる野のうぎょう塾」	12回開催
農産物の特産化	
・ トマト、キュウリ、ナス、ピーマン、ニガウリ、ブルーベリー、花ミョウガ、葉物やその他13品目の栽培、直売所等での販売を実施	
里山活性化事業	
菅生大沢地区の里山再生	
・ ワークショップ(保全活動と育成)	13回開催
自然環境教育	
・ 里山・環境教育体験イベント	5回開催
・ 環境教育講座 木こり講座	7回開催
菅生若宮子ども体験の森の管理	
・ 萌芽更新の実施(木こり講座での伐採)、伐採樹木を利用したシイタケ栽培	

1-6 秋川流域ジオパークの推進

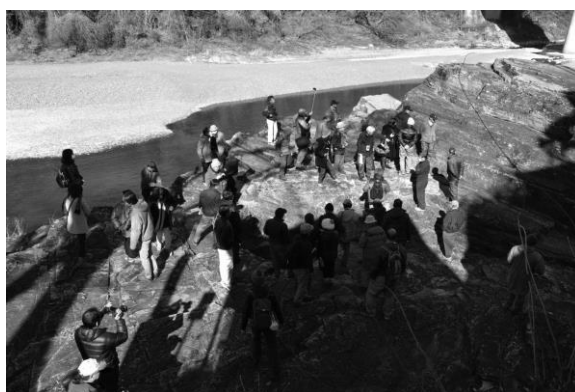
秋川流域は、緑と清流に恵まれ、歴史と文化が育まれた大地の中に、古生代から新生代にかけての8つの地層がまとまって分布しています。それぞれの地層で、ステゴドンゾウ（ミエゾウ）など、海や陸の生物の化石が数多く発見されていることから、全国でも有数の化石の宝庫として、地質・地形の保存が求められています。

また、このような貴重な大地と自然、文化を活用して、観光や商業などによる地域の活性化を目指すため、秋川流域の3市町村（あきる野市、日の出町、檜原村）が連携して「秋川流域ジオパーク推進会議」を設置し、日本ジオパークの認定に向けた取組を進めています。

平成26年度は、日本ジオパークネットワークに加盟し、認定に向けた情報収集を図るとともに、全国大会、関東地区大会へ参加しました。また、平成25年度に引き続きジオサイトを案内するガイドを育成するため、人材育成講座の開催や先進地の視察を行うとともに、流域住民への周知を図るため、行政主催の各種イベントにブースを出展してPR活動を行いました。



＜ヨルイチ(化石鑑定団)の様子＞



＜秩父ジオパーク視察の様子＞

秋川流域ジオパーク推進事業一覧（平成26年度）

・ 秋川流域ジオパーク推進会議	2 回開催
・ 人材育成講座	9 回開催
・ 視察研修	
先進地視察(秩父ジオパーク)	1 回実施
流域内ジオサイト選定のための視察	3 回実施
・ イベントへの参加(ヨルイチ、あきる野市産業祭)、日の出町産業まつり、払沢の滝ふるさと夏祭り	4 回実施
・ 日本ジオパークネットワーク(JGN)事業への参加	
日本ジオパーク南アルプス大会(第5回全国大会)へ参加	
第2回日本ジオパーク関東地区大会(箱根大会)へ参加	

2 生活環境分野

2-1 環境調査

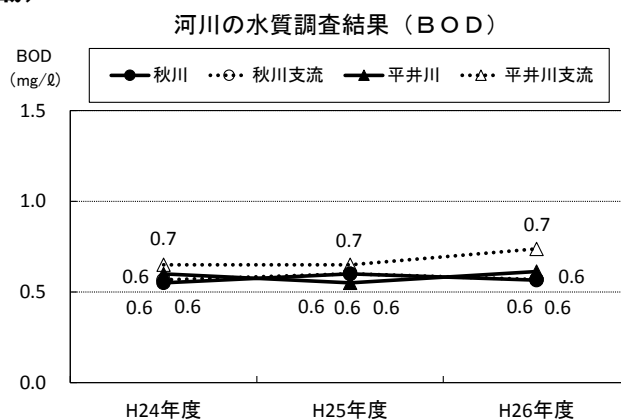
1) 河川の水質（調査結果の詳細は資料編90頁～93頁に掲載）

良好な生活環境を維持するため、市内の河川やその支流18か所で、年4回の水質調査を実施しています。

水質汚濁の指標となるBOD(*)をみると、秋川や秋川支流、平井川は良好な水質を維持しています。平井川支流もわずかに値は高いものの良好な水質を維持しています。いずれの河川等も平成26年度は環境基準を達成しています。

また、多摩川と関連河川の水質の向上を目的として、多摩川流域の関係自治体が同一日に実施する河川の水質調査に参加しています。秋川、平井川と多摩川が合流する地点で、年2回調査を行い、おおむね良好な水質が維持されているという結果を得ています。

* BOD（生物化学的酸素要求量）： 水中の汚物を分解するために微生物が必要とする酸素の量。この値が大きいほど水質汚濁が著しいといえる。



※ データは、各河川の複数地点で年間4回（5・8・11・2月）実施している測定結果の平均値である。

生活環境の保全に関する環境基準（河川）

類型	河川名	環境基準
河川 AA 類型	秋川	1mg/l 以下
河川 A 類型	平井川	2mg/l 以下

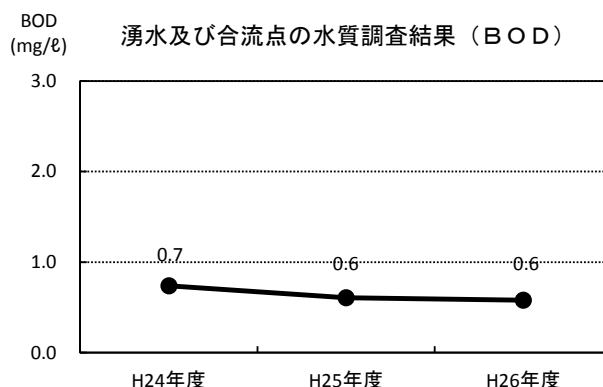
2) 湧水及び合流点の水質調査（調査結果の詳細は資料編94頁に掲載）

本市は、河川沿いの崖線や秋留台地の縁部から湧水が流出しており、良好な自然環境を形成する大きな要素の一つとなっています。

市では、「あきる野市清流保全条例」に基づき、年1回、湧水17か所、河川との合流点19か所で水質調査を実施しています。

湧水の水質には、環境基準が設定されていないため、参考として、1)に示す生活環境の保全に関する環境基準（河川AA類型・河川A類型）と比較すると、過去3年間の調査結果は、いずれの基準も満たしており、良好な水質が維持されていると考えられます。

今後も引き続き良好な水質が維持されるよう監視を続けていきます。



※ データは、各地点で実施している測定結果の平均値である。

3) 地下水汚染調査（調査結果の詳細は資料編95頁に掲載）

地下水は、身近な資源として利用されるだけでなく、環境を形成する上でも重要な要素の一つとなっています。

市では、市街地をおおむね2キロメートル四方に区切り、そのうちの7か所（工場、事業所、住宅地近辺）の井戸水を採取し調査を実施しています。

全ての地点で環境基準を達成しており、良好な水質が維持されています。なお、調査項目と環境基準は、右表に示すとおりです。

地下水の水質汚濁に係る環境基準

調査項目	環境基準
トリクロロエチレン	0.03mg/ℓ 以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ 以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	1mg/ℓ 以下

※ 環境基準は、調査実施時点のものです。

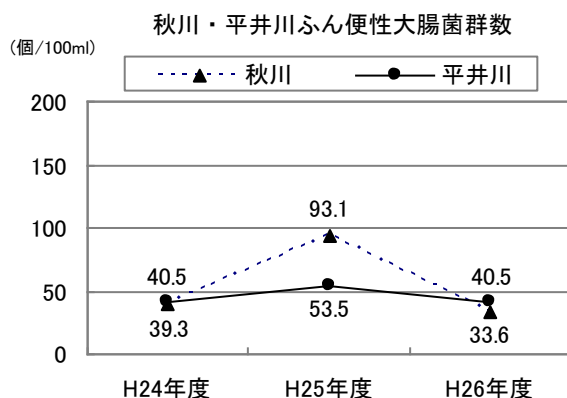
4) 秋川・平井川水生生物調査

カゲロウ、サワガニなど河川に生息する水生生物は、水質汚濁などの影響を受けやすいことから、秋川4か所、平井川2か所の計6か所において、年2回、生息する水生生物を指標として水質を判定する調査を実施しています。

5) 秋川・平井川ふん便性大腸菌群数調査（調査結果の詳細は資料編95頁に掲載）

秋川、平井川の親水性の高さに着目し、環境省が示す水浴場水質判定基準に沿って、秋川9か所、平井川2か所の計11か所において、年1回、ふん便性大腸菌群数の測定をしています。

秋川では、平成25年度に少し値が高いものの平成26年度には下がっており、過去3年間、秋川、平井川ともに水浴に適している水質（水質A）を維持しています。



※ データは、各地点で実施している測定結果の
平均値である。

水浴場水質判定基準（環境省）

区分		ふん便性大腸菌群数
適	水質AA	不検出(検出限界 2 個/100ml)
	水質A	100 個/100ml 以下
可	水質B	400 個/100ml 以下
	水質C	1,000 個/100ml 以下
不適		1,000 個/100ml 超過

6) 工場等排水調査

水質汚濁防止法に基づく特定事業場のうち、一日当たりの排水量が20m³/日以上、の事業場と有害化学物質等を処理して排水している事業場を対象として、年1回、排水の調査を実施しています。

7) ゴルフ場水質調査

市内2か所のゴルフ場で使用されている農薬（除草剤、殺虫剤、殺菌剤など）が河川に与える影響を確認するため、各ゴルフ場内の調整池において、年1回、水質調査を実施しています。

8) 道路沿道調査

市内の道路4か所（国道411号線、都道166号線、五日市街道、睦橋通り）において、道路沿道環境の実態を把握するため、騒音と交通量を調査しています。

調査結果では、要請限度を超過している場所はありませんが、引き続き監視を続け、必要に応じて道路管理者等に騒音低減措置を要請していきます。

道路沿道調査結果

調査場所	等価騒音レベル(dB)(*1)		要請限度(dB)(*2)			交通量(台/10分)	
	昼間	夜間	区域(*3)	昼間	夜間	昼間	夜間
国道411号線	70	67	b	75	70	172	33
都道166号線	69	64	a	75	70	139	25
五日市街道	66	59	c	75	70	108	13
睦橋通り	68	64	b	75	70	219	53

※ データは、平成26年10月29～30日に実施した市内4か所の調査結果である。

- *1 等価騒音レベル：一定時間に測定された多数の騒音データについて、エネルギー量で平均して何dBの騒音に相当するかを求めたもの。
- *2 要請限度：環境省令で定める自動車騒音又は道路交通振動の限度。区市町村長は、要請限度を超えることにより道路周辺の生活環境が著しく損なわれると認めるときは、東京都公安委員会に対し措置をとることを要請できる。
- *3 区域〔a〕：第1・2種低層住居専用地域、第1・2種中高層住居専用地域をいう。
〔b〕：第1・2種住居地域、準住居地域、用途地域の定めのない地域をいう。
〔c〕：近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域をいう。

9) 大気中ダイオキシン類調査

調査対象としているダイオキシン類は、工業的に製造する物質ではなく、ものの焼却の過程などで自然に生成してしまう物質です。

市では、あきる野市役所、五日市出張所の屋上の2か所において、年1回、測定を行っています。過去3年間の測定結果では、両地点ともダイオキシン類による大気の汚染に係る環境基準を達成しています。

大気中ダイオキシン類調査結果

調査場所	測定結果(pg-TEQ/ m ³ (*))			環境基準
	H24年度	H25年度	H26年度	
あきる野市役所	0.010	0.0074	0.016	0.60
五日市出張所	0.010	0.0082	0.016	

* pg（ピコグラム）：1兆分の1グラム

* TEQ：毒性の強さを加味したダイオキシン量の単位

10) 二酸化窒素調査 (調査結果の詳細は資料編96頁に掲載)

二酸化窒素 (NO₂) 調査結果

主要道路の交通量増加に伴う自動車の排気ガスの影響を把握するため、年4回、市内22か所で、二酸化窒素を測定しています。過去3年間の測定結果では、二酸化窒素に係る環境基準を達成しています。

測定結果(ppm) (*1)			環境基準 (*2)
H24 年度	H25 年度	H26 年度	
0.015	0.016	0.014	0.06

※ データは、各道路で実施している測定結果の平均値である。

*1 ppm (ピーピーエム) : 容積比や重量比を表す単位で、濃度や含有率を示す時に用い、100 万分の 1 を 1ppm という。

例えば NO₂ が 1ppm とは、空気 1 m³中に NO₂ が 1cm³ 含まれる場合である。

*2 1 時間値の 1 日平均値が 0.04~0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。

11) 一般大気調査 (調査結果の詳細は資料編97頁に掲載)

浮遊粉じんは、大気中で気体のように長期間浮遊している粒子です。浮遊粉じんのうち粒径が 10 μm (*1) 以下のものを浮遊粒子状物質といいます。

市では、市内 15 か所において、浮遊粉じんの全量を測定しています。

浮遊粉じん量については、大気の汚染に係る環境基準が設定されていないため、参考として浮遊粉じんより粒径の小さい浮遊粒子状物質の環境基準と比較したところ、過去3年間に於いて全測定箇所の値は、浮遊粒子状物質の環境基準値を下回っていました。

浮遊粉じん調査結果

測定結果(mg/m ³)			(参考) 環境基準 (*2)
H24 年度	H25 年度	H26 年度	
0.0458	0.0341	0.0146	0.10

※ データは、各調査場所で実施している測定結果の平均値である。

*1 μm (マイクロメートル) : 1 μm は 100 万分の 1mm で、0.001mm である。

*2 1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

12) 工場等臭気調査

塗装工場のシンナー等の有機溶剤が大気環境に与える影響を把握するため、市内4か所において、年1回、臭気調査を実施しています。

13) 採石場周辺環境調査

特定の事業所との環境保全協定に基づき、交通量調査を年2回(5月、11月)、総浮遊粉じん量調査を年4回(5月、9月、11月、2月)、浮遊重金属量調査を年1回(2月)、二酸化窒素調査を年4回(5月、9月、11月、2月)実施しています。

14) 事業所関連水質調査

特定の事業所(3社)との環境保全協定に基づき、水質関連調査を実施しています。

15) 放射線・放射性物質の測定（調査結果の詳細は資料編97頁～121頁に掲載）

平成23年3月に発生した東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故を受け、市では、公共施設等の空間放射線測定、食品放射性物質検査を実施しています。

空間放射線については、現在、月1回、市内6施設と山間部の8か所を定点として測定しています。

これらの測定ポイントにおいて、「あきる野市空間放射線測定等に関する基準」(平成23年11月24日決定)に示す基準値、毎時0.23 μ Sv(*1)(追加被ばく線量(*2)年間1mSv(*3)を超える地点はありませんでした。



＜空間放射線測定の様子＞

また、平成23年度には、市立小中学校・公園等、市民生活に関わる公共施設等で高い放射線量が予測されるポイント(233施設718地点)で測定を行い、その結果、基準値を超えていて除染を実施した28施設45地点のうち、25施設40地点(3施設5地点については、定点のため毎月測定を実施)について、経過観察のため再測定を継続しています。

平成26年度は、11月、12月に測定を行いました。基準値を超える地点はありませんでした。

農産物等の放射性物質の検査は、原子力安全委員会の検査計画・品目・区域などの考え方に基づき、平成23年度から継続して、東京都が実施しています。

また、小中学校や幼稚園・保育園等で使用される食材、秋川と五日市のファーマーズセンター、秋川溪谷瀬音の湯の直売所で販売される農産物などについては、消費者庁から貸与された計測器により、市独自の検査も継続しています。検査の結果、厚生労働省の定める基準値を超えるものはありませんでした。

市は、引き続き、空間放射線量の測定や食品等の放射性物質検査を実施し、随時、市の広報やホームページで公表を行い、市民の皆さんの安全安心のために取り組んでいきます。

*1 μ Sv(マイクロシーベルト)：人体が直接影響を受ける放射線量を表す単位で、通常1時間当たりの線量を示す。

1 μ Svは、100万分の1Svである。

*2 追加被ばく線量：自然界や医療行為により被ばくする放射線を除いた被ばく線量をいう。

*3 mSv(ミリシーベルト)：1mSvは、1000分の1Svである。

2-2 ごみ排出量

平成26年度のごみ総排出量は23,877トンで、前年度より約540トン増加(+2.3%)しました。このうち、燃やせるごみについては、18,266トンが排出されており、前年度より約2,977トン増加(+19.5%)しました。

1人1日当たりのごみ排出量は800グラムであり、全国の958グラム(平成25年度)(*1)よりは少ないものの、都内30市町村(多摩地域)のうち排出量の多い順から6番目(昨年度11番目)に位置し、多摩地域の平均排出量である722.6グラム(*2)を77グラムほど上回っています。

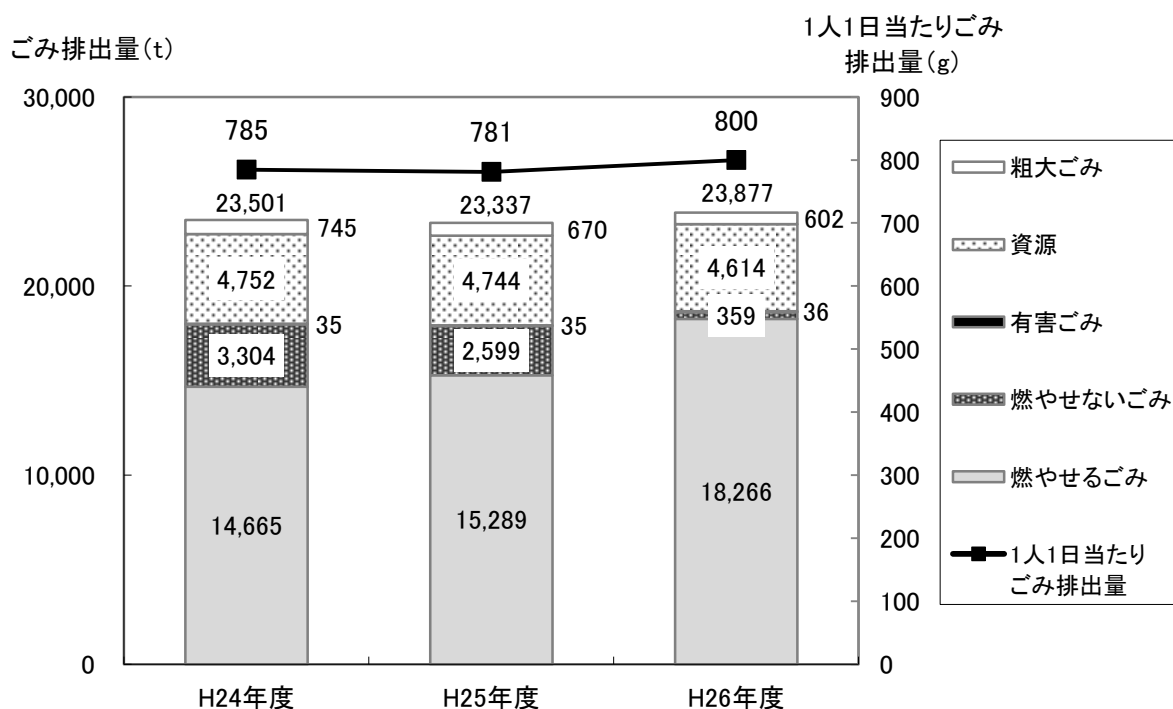
燃やせるごみの増加については、本市から排出される一般廃棄物の焼却処理を行っている西秋川衛生組合において、熱回収施設の稼働(平成26年4月から本格稼働)に伴う分別方法の見直しによると考えられます。また、本市のごみには、庭の手入れなどに伴い発生する剪定枝や落ち葉などが比較的多く含まれることも、理由の一つとして考えられます。

今後も、ごみの減量に向け、簡易包装の商品を選ぶ、ものは長く大切に使う、生ごみは捨てる前にひと搾りする、資源化できるものは資源として出すなど、生活の中で一人ひとりがごみを出さないようにすることが重要です。

*1: 資料「一般廃棄物処理事業実態調査(環境省)」

*2: 資料「多摩地域ごみ実態調査 平成26年度統計」(公益財団法人 東京市町村自治調査会)

ごみ排出量の推移



3 エネルギー環境分野

3-1 地球温暖化とあきる野市の温室効果ガス排出量

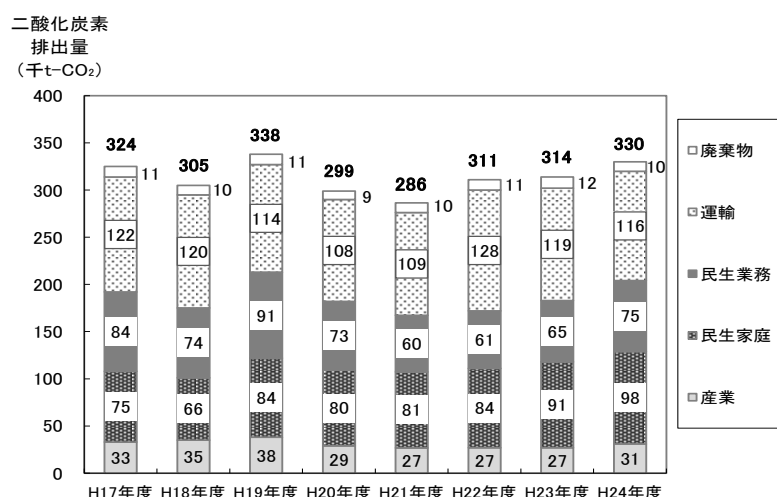
地球温暖化とは、大気中の二酸化炭素（ CO_2 ）などの熱を吸収する性質のある「温室効果ガス」が、人間の経済活動などに伴って増加し、地球全体の気温が上昇する現象のことです。地球温暖化の進行により、異常気象や生態系、農業への影響などが懸念されています。

あきる野市の温室効果ガス排出量は、環境基本計画策定時（平成17年度）の33万3千トン CO_2 （二酸化炭素換算（*1））から平成19年度に一旦増加し、平成20年度、平成21年度と減少していましたが、平成22年度から増加し、平成24年度は34万5千トン CO_2 に増加しました。

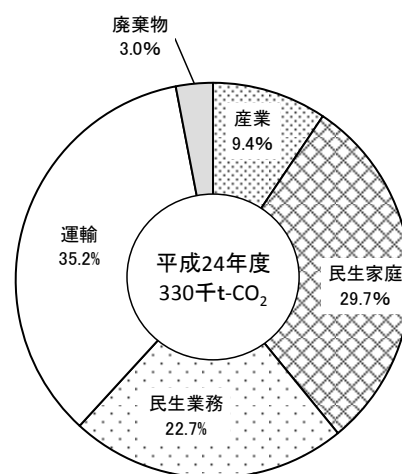
また、温室効果ガス排出量の96%を占める二酸化炭素については、平成17年度の約32万4千トン CO_2 から、平成24年度には約33万トン CO_2 へ増加しています。平成24年度の二酸化炭素の排出内訳は、運輸部門が35.2%と最も多く、次いで民生家庭部門、民生業務部門となっています。

*1 二酸化炭素換算：国や地方公共団体、事業所などで温室効果ガス排出量の算定を行う場合、二酸化炭素以外の5つの温室効果ガスを二酸化炭素に換算することが多く、本市の温室効果ガス排出量も二酸化炭素に換算している。二酸化炭素以外の5つの温室効果ガスは、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六フッ化硫黄である。

二酸化炭素排出量の推移



部門別二酸化炭素排出量の内訳



※ 資料：「多摩地域の温室効果ガス排出量（1990年度～2012年度）」

（オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」）

3-2 市役所での地球温暖化対策の取組

平成13年度から「あきる野市地球温暖化防止対策実行計画」に基づき、市の公共施設等を対象とする地球温暖化対策の取組を始めており、第一次計画、第二次計画を経て、平成25年度から第三次計画に取り組んでいます。

本計画では、第二次計画の期間中に指定管理者制度等に移行した施設（11施設）を算定対象から除外するとともに、市が管理を行っている「ふるさと工房五日市」と節電対策の一つとして注目が集まっている「街路灯・防犯灯」を算定対象に加えています。

■ あきる野市第三次地球温暖化防止対策実行計画

計画期間：平成25年度～平成32年度（8年間）

基準排出量：4,935トンCO₂

※ 平成24年度の排出量（4,846トンCO₂）に単純見通し（小中学校におけるガスヒートポンプの導入など（+89トンCO₂））を加えた値

計画目標：平成32年度における温室効果ガス排出量を4,480トンCO₂以下とする。

※ 東日本大震災以降、電力の排出係数の上昇により増加した分を削減し、震災前の水準以下とすることを目途に、平成22年度の温室効果ガス排出量を基準に算定した。

算定方法：当該年度の排出係数（変動値）を用いて算定する。

※ 取組の成果を把握するため、基準年度（平成24年度）と同様の排出係数を用いた算定も行う。

取組内容：本計画における重点的な取組

- 街路灯・防犯灯における地球温暖化対策の推進
- （公用車の）燃料使用量の削減による地球温暖化対策の推進
- 緑の活用による地球温暖化対策の推進
- 地球温暖化対策の発信と周知の推進

温室効果ガス排出量の推移

	年 度	H24	H25	H26	目標値(H32)
第三次計画	総排出量 (トンCO ₂)	4,846	4,801	3,708	4,480以下
			4,762	3,760	

※ 平成25年度と平成26年度の排出量の上段は、当該年度の排出係数（変動値）を用いて算定した排出量であり、下段は、基準年度（平成24年度）と同様の排出係数を用いて算定した参考値である。

※ 平成26年度の値は、集計の速報値であるため、最終的な「温室効果ガス排出量等集計結果報告書」の値と異なる場合がある。

排出量の推移に示すとおり、平成26年度の温室効果ガス排出量は、目標値を大きく下回りました。主要要因としては、街路灯・防犯灯のLED化により、電力使用量が大幅に削減されたことが推察されます。目標値は達成しましたが、今後も、省エネルギーに配慮した取組を進め、更なる温室効果ガスの排出量の削減を目指していきます。

3-3 あきる野市エコ活動

平成21年10月から、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」に代わり、市独自の環境マネジメントシステム「あきる野市エコ活動」による取組を進めています。

エコ活動は、対象施設を22の公共施設とし、各職場の一人ひとりの意識やノウハウを高め、更なる省エネルギー、省資源、廃棄物削減などを目指しています。

また、平成23年に発生した東日本大震災以降、引き続き節電等に積極的に取り組んでいます。

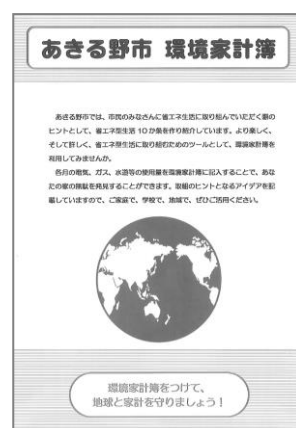


<あきる野市エコ手帳>

3-4 環境家計簿

平成20年度に策定した「省エネ型生活10か条」を更に普及させるため、各家庭で月々のエネルギー使用量からどのくらいの温室効果ガス（二酸化炭素）が排出されているかを記録する「環境家計簿」の普及を図っています。

月々のデータを記録することで、私たちの生活から排出される二酸化炭素の量の目安が分かり、省エネに対する意識の更なる向上を目指します。

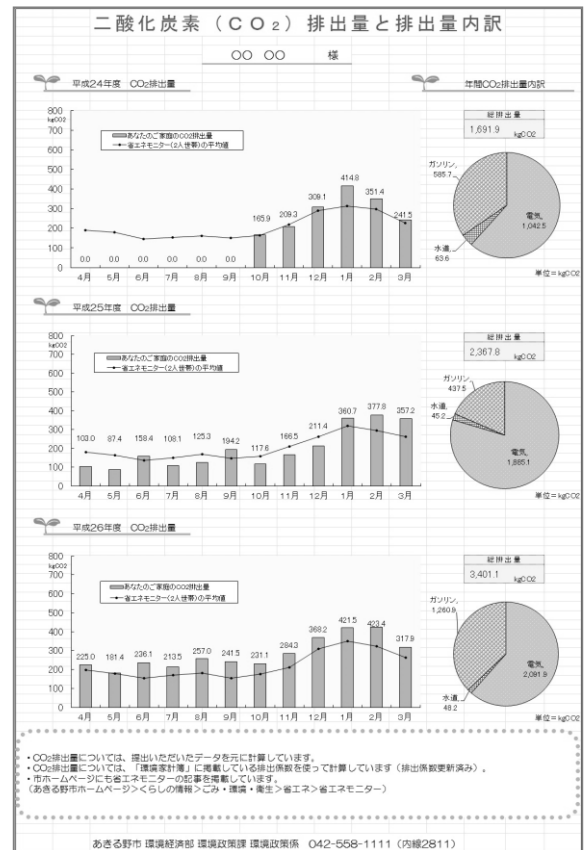
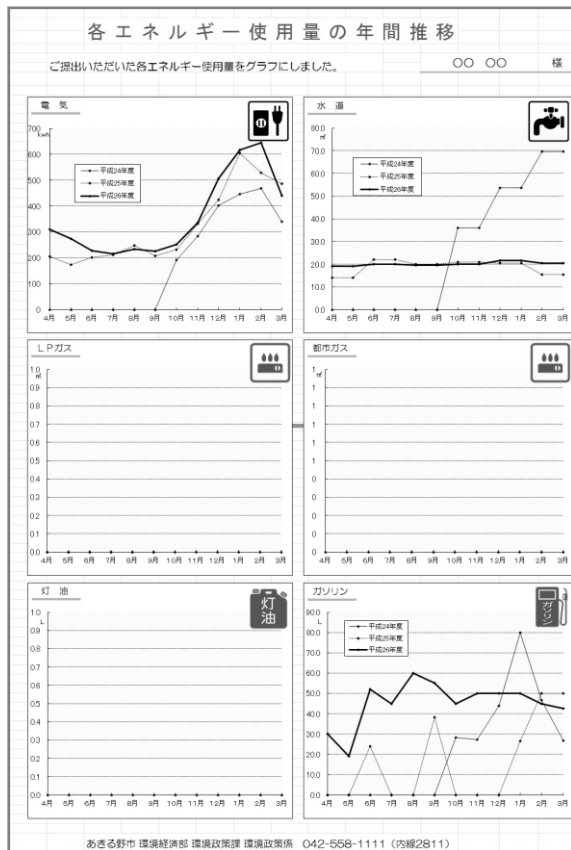


<あきる野市 環境家計簿>

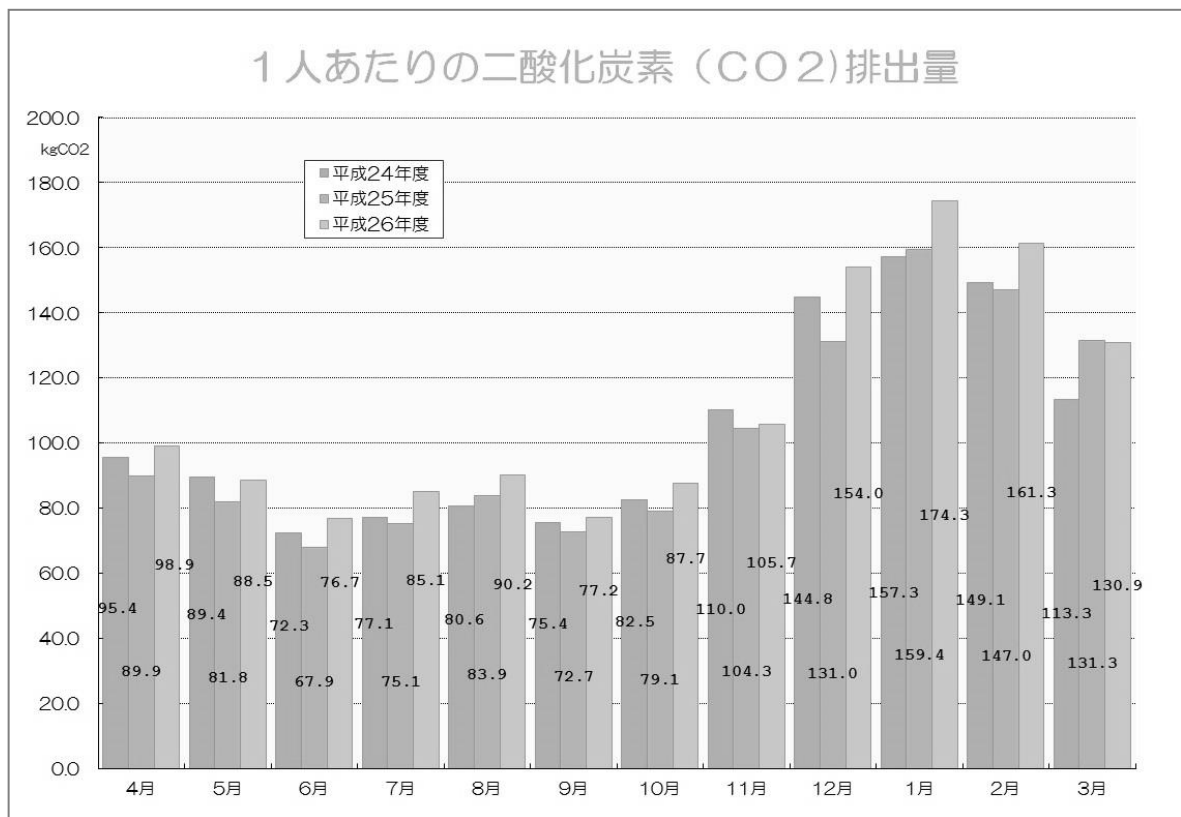
3-5 省エネモニター

毎月のエネルギー使用量などを報告し、省エネ型生活に取り組む「省エネモニター」の募集を行っています。平成22年度からは、新エネルギー・省エネルギー機器設置費の補助金の交付を受けた方もモニターに加わり、平成26年度には138人が、「省エネ型生活10か条」を中心とした取組を進めています。

モニターから提出されたデータは、家庭ごとにグラフ化し、各モニターにフィードバックするとともに、CO₂排出量やエネルギー使用量の平均値を市のホームページで紹介しています。



<省エネモニターへのフィードバック (抜粋)>



<省エネモニター結果 (抜粋) (市ホームページより)>

3-6 新エネルギーの活用

公共施設のうち、平成21年度に前田小学校に3.96kw、御堂中学校に1.5kw、平成22年度には屋城小学校に3.08kwの太陽光発電システムを設置し、電力使用量の一部を賄っています。

また、家庭における新エネルギー・省エネルギー機器（太陽光発電システム、太陽熱利用システム、CO₂冷媒ヒートポンプ給湯器（エコキュート）、潜熱回収型給湯器（エコジョーズ）、ガス発電給湯器（エコウィル）、燃料電池（エネファーム））の設置費の補助を行いました。

3-7 グリーンカーテン普及事業

1) ゴーヤの苗・種の市民配布

平成26年5月17日に開催されたリサイクルフェアの会場内において、あきる野市環境委員会と共同でゴーヤの苗と種を配布しました。

- ・ 苗 900ポット（1人3ポット、300人）
- ・ 種 150袋 （1人1袋、1袋12粒入）



＜ゴーヤの苗・種配布の様子＞

2) グリーンカーテンコンテスト

平成24年度から、地球温暖化対策の推進と省エネルギーの意識啓発を図るため、夏季の省エネルギー対策に有効なグリーンカーテンのコンテストを実施し、優れた取組を広く周知しています。

優秀な取組については、平成26年11月9日（日）にあきる野市産業祭の会場で表彰を行いました。

■ 参加対象

その年の春以降、新たにつる性植物の種や苗を植え、住宅や施設などの建物にグリーンカーテンを設置した方（個人・団体）

■ 参加者

- ・ 住宅部門（個人） 13件
- ・ 団体部門 3件

■ 審査

あきる野市環境委員会から選出された審査員5人により、提出書類のほか、内容と現地の状況を確認し、景観や設置効果、独自の工夫、取組過程などについて採点を行い、その結果を参考に、環境委員会において審査を行いました。

・住宅部門（個人）

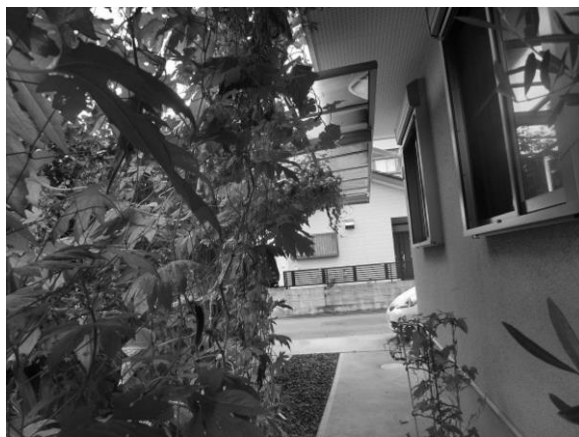
最優秀賞（1件）



優秀賞（4件）



特別賞（1件）



• 団体部門

最優秀賞（1件）



優秀賞（1件）



特別賞（1件）



4 人の活動分野

4-1 一斉清掃

町内会・自治会、秋川漁業協同組合、PTA等の協力により、春、秋の年2回、市内各地の道路や河川などの一斉清掃を実施しています。

あきる野市一斉清掃概要

	平成26年 春	平成26年 秋
参加人数(人)	16, 154	15, 010
回収量(t)	25. 45	33. 41



＜一斉清掃の様子＞

4-2 リサイクルフェア

資源循環型社会の構築に向け、ごみ減量化・資源化をはじめとする環境問題について、市民の皆さんの意識の啓発を図るため、春、秋の年2回、リサイクルフェアを実施しています。

あきる野市リサイクルフェア概要

	第38回	第39回
実施日	平成26年5月17日(土)	平成26年11月8日(土)
会 場	都立秋留台公園	都立秋留台公園
参加者数(人)	3, 000(推定)	16, 000(推定)

■ 主な催事

- ・ フリーマーケット
- ・ リサイクル品（家具等）再利用コーナー
- ・ 修理屋さんコーナー（おもちゃ修理、包丁研ぎ）
- ・ ごみ会議コーナー
（生ごみ堆肥化講習会、ごみ減量化の啓発）
- ・ 環境問題啓発用絵画（図画）・ポスター展示コーナー
- ・ 環境コーナー 廃食油石けんの無料配布 など



＜リサイクルフェア（リサイクル品抽選会）の様子＞

4-3 産業祭「エココーナー」

市民の皆さんの環境に対する関心を高めてもらうため、平成26年11月8日（土）、9日（日）に開催された産業祭の会場内に「エココーナー」を設けています。

エココーナーでは、「環境展」としてグリーンカーテンコンテストの受賞者等の展示を行い、次年度に向けた取組の啓発を行うとともに、グリーンカーテンに一番多く使われていたゴーヤを使い、ゴーヤ入り焼きドーナツの試食を提供しました。

また、市が取り組んでいる地球温暖化対策として、省エネ型生活の展示やアンケートのほか、エコドライブマグネットステッカーの配布を行いました。



＜産業祭「環境展」の様子＞

4-4 港区環境交流事業

地球温暖化対策の一環として、戸倉地区の刈寄地域に「みなと区民の森」を設けるなど、港区との交流を図っています。また、海に面した自然を有する港区と山や川などの自然を有するあきる野市のそれぞれの特性を活かし、平成18年度から子どもたちの交流事業を行っています。

平成26年度は、8月1日（金）に小学3・4年生28人（あきる野市・港区各14人）が参加し、あきる野市内の農地と小宮ふるさと自然体験学校を訪れ、夏野菜の収穫体験と川遊びをしました。



＜夏野菜収穫体験の様子＞



＜川遊びの様子＞

4-5 自然環境調査におけるイベント

平成21年度から実施している自然環境調査の一環として、市民の方に、より自然を知ってもらい、より自然に親しんでもらうため、市民が参加できる体験型イベントを実施しています。

平成26年度は、平井川で川の生き物調査（ガサガサ調査）を行いました。

自然環境調査におけるイベントの概要

	ガサガサで生き物調べ
実施日	平成26年9月6日
参加人数	35人
主 催	自然環境調査部会 動物班



＜ガサガサ調査の様子＞



＜採集した生き物の観察の様子＞

4-6 ごみ会議

「あきる野ごみ会議」は、市民・事業者・市が協働し、ごみの発生抑制の推進などを目的として、平成16年11月に設置されました。

ごみの減量やリサイクルの重要性を市民にPRするため、ごみ情報誌「へらすぞう」を発行するとともに、市民・事業者・市はそれぞれどのように行動し、どのように協力できるのかなどを考えながら、ごみ減量に向けて活動をしています。

■ 平成26年度の主な活動実績

- ・ 全体会議9回開催
- ・ ごみ情報誌「へらすぞう」発行1回
- ・ 生ごみ減量PR
（生ごみの堆肥化講習会の開催）
- ・ リサイクルフェアへの参加
- ・ 夏休み親子教室（ダンポスト） など



ごみ情報誌「へらすぞう」

4-7 清流保全

市内の河川の浄化と河川環境の保全を図ることにより、良好な水質や水量が確保された流水と親しみある水辺環境とが織り成す清流を守り残すため、平成15年3月に清流保全条例を制定し、「清流保全協力員」を設置しました。

清流保全協力員は、町内会・自治会の代表、市内の河川に関係する団体等からの代表による計21人で組織しており、河川の水質調査、ホタルの生息状況の調査などを実施しています。

4-8 ホタルの里づくり

地域における自然環境の保全と住みよいまちづくりを推進するため、町内会・自治会を中心に行うホタルの里づくり事業について、補助金の交付を行っています。平成26年度は、4団体に補助を行い、1団体に公園内の清掃や水路の美化などによるホタルの保全活動を委託しました。

また、地域活性化事業の一環として、1団体に対し、ホタルの保全につながるイベント開催などの支援を行っています。

4-9 違反広告物撤去

市民の生活環境において、安全な歩行空間の確保や美観風致の維持を図るため、平成17年2月から「違反広告物撤去協力員制度」を実施しています。この制度により、市民の皆さんと市の協働のもと、道路、水路、公園などに違法に設置された立看板や広告物などの撤去が進められています。平成27年3月現在で、184人の方が登録し、日々活動が行われています。

また、市においても、毎月の道路パトロール等を継続しており、平成26年度は、先の制度と併せ、777枚の違反広告物を撤去しました。

4-10 環境委員会

「あきる野市環境委員会」は、環境基本計画の望ましい環境像である「歩きたくなるまち 住みたくなるまち あきる野」の達成を目指す、市民・事業者・市の協働組織であり、市民13人（公募5人、地区の代表6人、団体2人）、事業者4人、市職員2人の計19人で構成しています。

環境基本計画の施策の進捗状況の点検評価を行うとともに、市民・事業者・市の協働による取組を企画し、推進しています。

平成26年度は、計6回の会議を開催しました。また、グリーンカーテン普及のため、5月に開催されたリサイクルフェアでのゴーヤの苗や種の配布、グリーンカーテンコンテストの審査、産業祭での「環境展」などの啓発活動を行いました。



＜環境委員会委員によるゴーヤの苗配布の様子＞

開催日		内 容	
第三期	平成26年 4月9日	第4回会議	・ 平成25年度実績報告、平成26年度スケジュールについて ・ グリーンカーテンコンテストについて ・ あきる野市リサイクルフェアにおけるゴーヤの苗・種の配布について ・ 「知る」活動について
	平成26年 5月17日	啓発活動	あきる野市リサイクルフェア（環境啓発コーナー）参加 ・ グリーンカーテン用のゴーヤの苗・種の配布 ・ グリーンカーテン啓発チラシ等の配布
	平成26年 5月17日	「知る」活動	ダンポスト講習会への参加
	平成26年 6月17日	第5回会議	・ グリーンカーテンコンテストについて ・ 環境基本計画施策進捗状況の点検について
	平成26年 6月19日	「知る」活動	横沢入里山保全地域の見学
	平成26年 8月13日 ～ 8月18日	啓発活動	グリーンカーテン啓発事業の実施 ・ グリーンカーテンコンテストの現地確認
	平成26年 8月28日	第6回会議	環境基本計画施策進捗状況の点検評価の確認について ・ 環境基本計画に対する環境委員会からの意見のとりまとめについて
	平成26年 9月17日	啓発活動	グリーンカーテン啓発事業の実施 ・ グリーンカーテンコンテスト審査会の開催
	平成26年 9月24日	第7回会議	・ グリーンカーテンコンテストの審査について ・ 環境白書について ・ 産業祭における「環境展」の出展内容について
	平成26年10月28日	第8回会議	・ 産業祭における「環境展」の出展内容について
	平成26年11月 8日 ～11月 9日	啓発活動	環境展（あきる野市産業祭エココーナー）参加 ・ グリーンカーテンコンテスト結果等の展示 ・ 「ゴーヤのれしび」の配布 ・ ゴーヤ入り焼きドーナツの試食 ・ 省エネ型生活アンケートの実施 ・ 地球温暖化対策関係の展示 ・ 「わたしのエコドライブ宣言」の募集
	平成27年 2月 3日	第9回会議	・ 「省エネ型生活10か条」の見直しについて ・ 「知る」活動について
	平成27年 2月19日	「知る」活動	西秋川衛生組合の視察 ・ 西秋川衛生組合ごみ処理施設 熱回収施設の見学

第 2 章 環境基本計画の施策の進捗状況

本章では、環境基本計画の概略とともに、重点施策と一般施策に関する進捗状況について報告します。

1 環境基本計画とは

1-1 概 要

市では、あきる野市環境基本条例に基づき、平成 18 年 3 月に、環境基本計画を策定しました。

環境基本計画は、持続的発展が可能な社会の実現に向けて、環境の保全、回復及び創造に関する施策の方向性と具体的な展開方策などを示すとともに、市民・事業者・市の各主体がとるべき行動を示すことを目的としています。また、あきる野市総合計画の環境分野を担う計画であり、市の環境行政の根幹となるものです。

平成 23 年 3 月には、環境基本計画の後期 5 か年の重点的に取り組むべき施策を定めるとともに、一般施策について一部改訂を行い、「あきる野市環境基本計画【改訂版】」を策定しました。

1-2 望ましい環境像

環境基本計画では、あきる野市の環境の特性と課題を踏まえ、21 世紀半ばを見据えた望ましい環境像と、その実現に向けた 4 つの分野別の目標を設定しています。

【あきる野市の望ましい環境像】

歩きたくなるまち 住みたくなるまち あきる野

《自然環境分野の目標》

豊かな緑に囲まれた清流を次世代に引き継ぐ

《生活環境分野の目標》

公害のない、魅力あふれる循環型のまちとする

《エネルギー環境分野の目標》

わがまちから地球温暖化に対応する

《人の活動分野の目標》

市民・事業者・市が協働して行動していく

1-3 施策の体系

環境基本計画では、望ましい環境像の実現に向けた分野別の目標の実現に向けて、実施すべき施策を示しています。

分野別の目標	目標達成に向けた方針	施策	重点施策
《自然環境分野》 豊かな緑に囲まれた清流を次世代に引き継ぐ	1. 豊かな水と緑を守る仕組みの充実	(1) 市内全域の自然環境の実態把握と評価	①あきる野の自然を知る ②あきる野の自然を守る ③郷土の恵みの森を守り育む
		(2) 実効性の高い保全の仕組みづくり	
		(3) 市民の声が生かせる、環境に配慮したまちづくりの実現	
	2. 骨格をなす5つの環境軸の保全	(1) 森林の保全と活用	
		(2) 里山の保全と活用	
		(3) 秋留台地一帯の農地の保全と活用	
		(4) 秋川・平井川流域の総合的な保全	
		(5) 地質・地形の保存と活用	
《生活環境分野》 公害のない、魅力あふれる循環型のまちとする	1. 健康で安全な循環型のまちの実現	(1) 公害の防止	①美しい川を守り育む ②農地・農業を守る ③資源を循環させる ④美しいまちをつくる
		(2) 循環型社会の構築	
	2. 身近な自然を生かしたまちの創造	(1) 市街地における緑の確保	
		(2) 魅力ある川づくり	
	3. 美しく清潔なまちの形成	(1) 景観の整備 (2) 清潔なまちづくり	
《エネルギー環境分野》 わがまちから地球温暖化に対応する	1. 省エネルギーの推進	(1) 市全体での省エネルギーの推進	①省エネルギーを進める ②新エネルギーを導入する
		(2) 自動車対策	
		(3) 電力使用量の削減	
	2. 新エネルギーの導入	(1) 新エネルギー技術の活用	
		(2) リサイクル型エネルギーの利用	
		(3) 最新動向の把握及び調査研究	
	3. 森林・緑地の拡大によるCO ₂ の吸収	(1) 森林の保全 (2) 緑化の推進	
《人の活動分野》 市民・事業者・市が協働して行動していく	1. 市民・事業者・市の協働による取組の推進	(1) 情報の共有	①人づくりを進める
		(2) 環境教育の推進	
		(3) 環境パートナーシップの形成	
		(4) 様々な仕組みの検討	

2 施策進捗状況評価

重点施策、一般施策・事業の進捗状況、評価結果を報告します。各担当課の実績等については、資料編をご覧ください。

<凡例>

【重点施策、一般施策・事業の評価基準について】

A：定常的实施	継続して事業が実施されている。
B：一部着手	計画策定など具体的な検討を行っている。または、平成27年度までの計画期間で、毎年実施する事業ではないが、順次実施している。
C：未着手	予算確保が困難、組織・人員が不十分で、関連事業の完了が前提となっているなどの理由で、事業に着手できていない。
F：完了	事業が完了（終了）した。

【重点施策の展開スケジュールの実績について】

A：定常的实施	
B：一部着手	
C：未着手	
F：完了	完了（終了）

※重点施策の展開スケジュールに対し、進捗状況の評価を左図のように示しています。

自然環境分野

2-1 豊かな水と緑を守る仕組みの充実

【目標】

- ・ 市内の自然環境が適正に評価されている。
- ・ 市内の豊かな自然の保全に、みんなで取り組んでいる。

(1) 市内全域の自然環境の実態把握と評価

- ① 自然環境調査の実施
(→重点：あきる野の自然を知る)
- ② 適正評価と保全の方向付け
(→重点：あきる野の自然を守る)

＜重点施策の展開スケジュール＞

		年 度					平成 26 年度
			H23	H24	H25	H26	H27
市域全体の自然を知る							
・自然環境調査の実施 〔環境政策課〕	予定	調査 完了	フォロー調査 検討・実施				A
	実績	調査 完了					
・あきる野百景などの周知・活用 〔環境政策課・観光商工課、観光まちづくり活動課〕	予定	周知・活用				A	
	実績						
・生物多様性についての情報提供・普及啓発（講座、イベントの開催等） 〔環境政策課〕	予定	検討・実施				A	
	実績						
自然の保全・管理活動の実践							
・あきる野版 RD 種の選定 〔環境政策課〕	予定	資料収集・分析・選定				B	
	実績						
・適正評価及びモデル地区等の選定 〔環境政策課〕	予定	検討・選定				B	
	実績						
・モデル地区等における保全・管理活動の 検討・実施 〔環境政策課〕	予定	検討・実施				A	
	実績						
・生物多様性の保全のための方針の確立 〔環境政策課〕	予定	調査・検討・策定				B	
	実績						
・外来生物対策 〔環境政策課〕	予定	調査・検討・実施				A	
	実績						

（２）実効性の高い保全の仕組みづくり

- ① 新たな緑地保全制度の確立
- ② 新たな保全制度を支える仕組みづくり

＜施策・事業＞

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	緑地保全制度の実態の評価（評価の指針等の作成、実態評価）	環境政策課	B
	実効性の高い保全制度の検討・確立	環境政策課	B
②	財源の強化・拡充	環境政策課 財政課	A
	ボランティアの育成・活用	環境政策課	A
	多様な主体が連携した体制・仕組みづくり	環境政策課 農林課	A

(3)市民の声が生かせる、環境に配慮したまちづくりの実現

- ① 計画段階での市民参加の仕組みづくり
- ② 環境に配慮したまちづくりの方針づくり

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	開発計画への市民参加の仕組み化	都市計画課	A
	景観形成モデル地区の設定	都市計画課 区画整理推進室	C
②	自然環境に適合した既存計画、線引き・用途地域等の見直し	都市計画課	A
	環境配慮型まちづくり方針・指針の策定	都市計画課	C
	地域別環境づくりの方針の活用（地区計画制度の活用）	都市計画課 区画整理推進室	A

2-2 骨格をなす5つの環境軸の保全

【目標】

- ・ 本市の自然の骨格である、森林、里山、農地、河川と、これらの基盤である地質・地形をみんなで守っている。

(1) 森林の保全と活用

- ① 森林の多面的な評価の実施
- ② 新たな保全・活用方策の検討
(→重点：郷土の恵みの森を守り育む ー特性を活かした森づくりー)
- ③ 森林の保全・活用に向けた体制づくり
(→重点：郷土の恵みの森を守り育む ー構想実現に向けての仕組みづくりー)

＜重点施策の展開スケジュール＞

	年 度						平成 26 年度
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
次世代につなぐ森づくり							
・ 地域の魅力を高める森づくり（モデルプラン）の推進 〔環境政策課〕	予定	実施					A
	実績						
・ 古道・散策コース及び景観の整備 〔環境政策課〕	予定	実施					A
	実績						
・ 森の魅力発信 〔環境政策課〕	予定	情報発信					A
	実績						
森づくりの体制の整備							
・ 町内会・自治会等との連携 〔環境政策課〕	予定	連携					A
	実績						
・ 森林レンジャー・森林サポートレンジャー組織の整備 〔環境政策課〕	予定	整備・活用					A
	実績						
・ 郷土の恵みの森づくり事業基金の運用 〔環境政策課〕	予定	運用					A
	実績						

＜施策・事業＞

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	森林の環境面からの機能評価	農林課 環境政策課	A
	公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大 (モデル地区による「美林の里」づくり)	農林課 環境政策課	A
②	森林整備計画等に基づく林業振興・森林保全策の推進	農林課	A
	森林資源の需要の喚起(新たな資源価値の付加・間伐材等の積極的活用)	農林課	A
③	市民参加の森づくり事業の推進 (ボランティアの育成・活用の仕組みづくり)	農林課 環境政策課	A
	活動資金の確保(緑地保全基金の活用の検討(再掲))	農林課 環境政策課 財政課	A
	森林保全・活用のための整備の推進	農林課 環境政策課	A

(2)里山の保全と活用

- ① 里山の多面的な評価の実施
- ② 里山環境の保全・活用方策の検討
- ③ 里山の保全・活用に向けた体制づくり

＜施策・事業＞

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	里山の現状調査の実施	環境政策課	A
	評価と利活用方針の検討	環境政策課	A
②	モデル地区での保安全管理活動の実践	環境政策課	A
	各地域での保全策の検討	環境政策課 農林課	A
	緑地保全基金の活用(再掲)	環境政策課 財政課	A
③	ボランティアの育成・活用(再掲)	環境政策課 生涯学習スポー ツ課	A
	学校里山ゾーンの設定・学習体験活動の実施	環境政策課 指導室	A

(3)秋留台地一帯の農地の保全と活用

- ① 農地の多面的な評価の実施
- ② 新たな保全・活用方策の検討
- ③ 多様な担い手の育成

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	農業振興計画との整合	農林課	A
	農地の環境面からの機能の P R	環境政策課	A
②	中山間地域ふれあい農業の検討	農林課	C
	あきる野産の農産物の利用拡大の検討	農林課	A
	遊休農地の活用方策の検討・推進（学校農園、市民農園など）	農林課 指導室	A
③	人材育成と活用の仕組みづくり （農業委員会との連携・後継者の育成支援）	農林課	A

(4)秋川・平井川流域の総合的な保全

- ① 流域の自然環境の保全
- ② 河川環境の保全・創出
- ③ 水量・水質の改善

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	流域の一体的な保全（水と緑の環境保全）	環境政策課 生活環境課	A
②	秋川・平井川流域における環境保全の推進	環境政策課 生活環境課 生涯学習スポーツ課	A
③	公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大（再掲）	農林課	A
	湧水の保全（湧水調査、湧水の P R、雨水浸透の促進）	環境政策課 生活環境課 都市計画課	A
	親しめる環境づくり（親水散策路の整備）	建設課	C
	崖線地区の保全（市街化調整区域への指定変更、公有地化）	環境政策課 都市計画課	A
	市民意識の啓発	生活環境課	A
	モデル地区での水質浄化活動	環境政策課 生活環境課	C

(5)地質・地形の保存と活用

- ① 地質・地形の適正評価と保存
- ② 保存・活用のための仕組みづくり

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	適正な評価の実施	生涯学習スポーツ課 環境政策課	A
②	財源の確保	生涯学習スポーツ課 環境政策課	A
	文化財の指定、開発の抑制	生涯学習スポーツ課 都市計画課	A
③	郷土学習の支援（多様な連携づくり）	生涯学習スポーツ課 環境政策課	A
	都民や市民への広報活動（文化財図書等の発行）	生涯学習スポーツ課 環境政策課	A
	文化財講座等の開催（市民カレッジ、市民解説員の活動推進）	生涯学習スポーツ課	A

生活環境分野

2-3 健康で安全な循環型のまちの実現

【目標】

- ・ 誰もが健康で安全な暮らしができている。
- ・ 限りある資源が無駄なく利用され、循環型のまちづくりが進められている。

(1)公害の防止

- ① 公害に関する現状把握
- ② 大気汚染防止対策の充実
- ③ 水質汚濁防止対策の充実
(→重点：美しい川を守り育む 一水がきれいな川づくりー)
- ④ 騒音防止対策の充実
- ⑤ 有害化学物質対策の充実
- ⑥ その他の公害防止・生活環境対策の充実

<重点施策の展開スケジュール>

		年 度					平成 26 年度
			H23	H24	H25	H26	H27
事業所排水対策							
・ 排水水質調査・是正指導 〔生活環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
生活排水対策							
・ 下水道への接続啓発・普及 〔管理課〕	予定	継続					A
	実績						
・ 下水道の整備 〔管理課〕	予定	継続					A
	実績						
・ 合併処理浄化槽の設置補助（補助金） 〔生活環境課〕	予定	継続					A
	実績						

＜施策・事業＞

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	環境に関する情報の収集・公開（広報等）	生活環境課	A
	環境関連講座の開催	生活環境課	B
	環境調査の実施（項目等の見直し・充実）	生活環境課	A
②	自動車による大気汚染の低減（自動車利用の抑制、エコドライブの推奨）	環境政策課 総務課	A
	公共交通機関等の利用促進（駐輪場の整備、るのバス等の充実）	企画政策課 地域防災課	A
	低公害車の率先導入	地域防災課 総務課	A
	低公害車の普及・啓発（情報提供）	環境政策課	A
	粉じん防止対策の充実	生活環境課	A
	悪臭防止対策の充実	生活環境課	A
③	家庭・事業所排水対策（普及・啓発の実施）	生活環境課	A
	下水道事業認可区域外の地域における汚水処理施設設置検討	管理課	B
④	工場・事業場からの騒音防止対策の充実	生活環境課	A
	道路交通騒音対策の実施（都等への要望）	建設課	C
	近隣騒音防止対策の充実（啓発・指導）	生活環境課	A
	航空騒音対策の実施（関係機関への要請）	企画政策課	A
⑤	有害化学物質に係る情報の充実（情報提供）	生活環境課	A
	有害化学物質の使用の適正化の促進（届出に係る指導）	生活環境課	A
⑥	振動防止対策の充実（苦情に伴う指導）	生活環境課	A
	土壌汚染防止対策の実施（指導や調査の奨励）	生活環境課	A
	家畜のふん尿等の衛生管理の推進（指導、巡回・指導、排せつ物処理施設の整備）	農林課	A
	地下水保全対策の充実（揚水規制）	生活環境課 農林課	A
	光害防止対策の研究	生活環境課	A

(2)循環型社会の構築

- ① 体系的な循環型システム構築の推進
(→重点：資源を循環させる)
- ② 環境に配慮した収集・処理の推進

＜重点施策の展開スケジュール＞

	年 度						平成 26 年度
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
循環型社会構築の推進							
・「ごみ会議」の運営・推進 〔生活環境課〕	予定	継続					A
	実績						
・ごみ減量・リサイクル意識の啓発 （情報誌「へらすぞう」の発行等） 〔生活環境課〕	予定	継続					A
	実績						
・落ち葉の堆肥化の推進 〔生活環境課〕	予定	モデル地区		実施			A
	実績						

＜施策・事業＞

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	グリーン購入の推進（考え方や商品等の紹介・PR）	生活環境課	A
	省資源（レジ袋削減・簡易包装等）・ロングライフ（長寿命）化の推進（情報提供・意識啓発）	生活環境課	A
	エコショップ認定制度の検討	生活環境課 観光商工課	C
	リサイクルフェアの実施	生活環境課	A
	廃食油石けんづくりの普及	生活環境課	A
	生ごみリサイクルの促進（生ごみ処理機導入補助・EM菌バケツ貸出）	生活環境課	A
	省資源型経営の推奨	生活環境課	C
	ごみの戸別収集・有料化	生活環境課	A
	資源集団回収の実施	生活環境課	A
	ペットボトル等拠点回収実施	生活環境課	A
	新たなリサイクルシステムの検討	生活環境課	A
	剪定枝等のリサイクル方法の検討	生活環境課	A
	放置自転車リサイクルの実施	地域防災課	A

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
②	環境低負荷型の収集の実現（効率的な収集ルートを選定、収集車の低公害化）	生活環境課	A
	ごみ焼却に伴う環境負荷の低減（ダイオキシン類の発生抑制等）	生活環境課	A
	清掃工場の適正管理	生活環境課	A

2-4 身近な自然を生かしたまちの創造

【目標】

- ・ 市街地の中に緑があふれ、誰もが身近にふれあっている。
- ・ 子どもたちが遊び、人々が集う魅力ある水辺が整備されている。

(1)市街地における緑の確保

- ① 公共の緑の充実
- ② 住宅・工場施設等の緑化
- ③ 農地や樹林地の保全（→重点：農地・農業を守る）

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 26 年度	
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
地元野菜の普及・活用（食育）							
・施設園芸（温室等）化 〔農林課〕	予定	事業展開					A
	実績						
・保育園給食等への供給検討・実施 〔農林課〕	予定	検討・実施					A
	実績						
・地元産野菜を題材にした食育の推進 〔農林課・健康課〕	予定	実施					A
	実績						
農業の振興・支援							
・後継者の育成支援 〔農林課〕	予定	継続					A
	実績						
・獣害防止対策の実施 （被害状況のモニタリング、電気柵設置） 〔農林課〕	予定	継続					A
	実績						
農地の適正管理と活用							
・生産緑地制度の推進・管理 追加指定（希望者把握・協議） 〔農林課・都市計画課〕	予定	継続					A
	実績						
・市民農園制度の活用 取組方策の検討（遊休農地の活用ほか） 〔農林課〕	予定	継続					A
	実績						

＜施策・事業＞

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	公園の整備の推進	管理課 建設課 区画整理推進室 環境政策課	A
②	緑化の推進（開発時の緑化指導）	環境政策課 都市計画課	A
	緑化の効果のPR	環境政策課	A
③	保存樹木・保存緑地の指定	環境政策課	A
	みどりの大切さのPR	環境政策課	A

（２）魅力ある川づくり

① 親しめる川の保全・整備

（→重点：美しい川を守り育む ―ホテルが棲め、子どもが遊べる川づくり―）

② 川のある景観の保全と活用

③ 水と緑のネットワークの形成

＜重点施策の展開スケジュール＞

		年 度					平成 26 年度
			H23	H24	H25	H26	H27
市民参加による清流の保全							
・ 清流保全協力員活動（看板の設置等） 〔生活環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
・ 市民参加型イベントの検討・実施 〔環境政策課〕	予定	継続					A
	実績						
・ 活動の公表の検討 〔環境政策課・生活環境課〕	予定	継続					A
	実績						
・ 河川景観の整備 〔生活環境課・建設課〕	予定	継続・協力依頼					A
	実績						
・ 川遊びのマナー等の向上（マナーの周知・ 清掃活動・不法投棄防止） 〔生活環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
ホテルが棲める川づくり							
・ ホテルが見られる場所の調査 〔環境政策課・生活環境課〕	予定	調査・分析					A
	実績						
・ ホテルが棲める川づくり（ホテルの保護 など） 〔環境政策課〕	予定	地域ごとに展開					A
	実績						

	年 度						平成 26 年度
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
子どもの水辺事業の推進 〔生涯学習スポーツ課〕	予定	継続					A
	実績						

＜施策・事業＞

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	親水散策路の整備の推進（再掲）	建設課	C
②	あきる野百景の保全・活用の検討	環境政策課	A
③	散策路・遊歩道の整備（親水散策路の整備：再掲）	観光商工課 観光まちづくり 活動課 建設課	A
	水と緑のマップの充実	環境政策課	A

2-5 美しく清潔なまちの形成

【目標】

- ・ みんなで一緒に、市内をきれいにする活動や街並みづくりを進めている。
- ・ ごみのない、美しく魅力的な街並みが形成されている。

(1) 景観の整備

① 快適な街並みの形成

(→重点：美しいまちをつくる －「歩きたくなる」みちづくり－)

② 魅力的で憩いの場となる街並みの形成

③ あきる野の顔づくり

＜重点施策の展開スケジュール＞

	年 度					平成 26 年度	
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
良好な街並みづくり（地区計画） （区画整理事業区域・線引き変更箇所） 〔区画整理推進室・都市計画課〕	予定	継続					A
	実績						
歩きやすいみちづくり （散策路・遊歩道の整備） 〔建設課・観光商工課・観光まちづくり活動課・環境政策課〕	予定	検討・実施					A
	実績						

＜施策・事業＞

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	良好な街並みづくり（地区計画の活用）	都市計画課	A
	景観保全・形成の方向性の決定（都市景観ガイドラインの策定等）	都市計画課 環境政策課	C
	市民参加型のまちづくりに向けた意識啓発（a. マナーやルール、b. まちづくり教育・組織づくり）	区画整理推進室 環境政策課	A
	商店街の景観整備	観光商工課	C
②	まちかど広場等の整備	建設課	F
	買い物マップの作成	観光商工課	C
	観光スポットのPR	観光商工課 観光まちづくり活動課	A
③	不適正な屋外広告物（看板等）の指導、撤去	管理課	A
	電線の地中化の検討	区画整理推進室 管理課	C

(2)清潔なまちづくり

① たばこ・ごみのポイ捨て防止

(→重点：美しいまちをつくる 一わがまちの清掃活動の推進→)

② 不法投棄の防止

③ 道路・公園・公共建物等の管理

④ 犬、猫等ペットに関する指導・啓発

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度						平成 26 年度 評価
		H23	H24	H25	H26	H27	
たばこ・ごみのポイ捨て防止（意識啓発） 〔環境政策課・生活環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
一斉清掃の実施 〔生活環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
ボランティア活動の推進（ボランティア袋の配布、収集ごみ等の回収） 〔生活環境課〕	予定	継続					A
	実績						

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	ポイ捨て防止などの対策の研究	環境政策課 生活環境課	B
②	不法投棄防止対策の充実	生活環境課	A
③	ごみ会議の開催	生活環境課	A
	道路・公園・公共建物等の適正管理の実施	建設課 管理課 生活環境課	A
	空き地の適正管理	生活環境課	A
④	ペットの飼い方等の意識啓発	健康課	A
	苦情対策	生活環境課 健康課	A

エネルギー環境分野

2-6 省エネルギーの推進

【目標】

- ・ みんなで省エネルギー行動を進めている。
- ・ 本市からの CO₂ 排出量が減っている。

(1) 市全体での省エネルギーの推進

① 市全域でのエネルギー使用量の把握

(→重点：省エネルギーを進める ー省エネルギーのまちづくりー)

② 動機付けとなる仕組みづくり

(→重点：省エネルギーを進める ー動機付けとなる仕組みづくりー)

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度						平成 26 年度
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
地球温暖化対策地域推進計画の策定 〔環境政策課〕	予定	策定					F
	実績					策定	
省エネ教育の推進							
・ 学校での教育プログラムの実施 〔指導室〕	予定	実施					A
	実績						
・ 事業所への働きかけ 〔環境政策課〕	予定	実施					B
	実績						
制度の検討 〔環境政策課〕	予定	検討					A
	実績						
カーボン・オフセットの活用							
・ 現行の取組の把握・整理・検証 〔農林課・環境政策課〕	予定	検証					B
	実績						
・ 広域的な連携による研究 〔農林課・環境政策課〕	予定	調査・研究					B
	実績						
・ 森づくりと連携したカーボン・オフセッ トの仕組みづくり・活用の検討 〔農林課・環境政策課〕	予定	検討					A
	実績						

＜施策・事業＞

関連する施策・事業		担当課	平成26年度 評価
①	市全域の温室効果ガス排出量の把握	環境政策課	A

（２）自動車対策

① 自動車利用の抑制

（→重点：省エネルギーを進める エコドライブを推進する）

② クリーンエネルギー自動車の導入促進

＜重点施策の展開スケジュール＞

		年 度					平成26年度
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
エコドライブの普及・啓発							
・各種支援制度の利用等の検討 〔環境政策課〕	予定	検討					C
	実績						
・啓発の実施 〔環境政策課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
・講習会（座学・実技）等の開催 〔環境政策課・総務課・職員課〕	予定	座学	実技				A
	実績						
自転車利用の促進							
・施設整備の実施 〔地域防災課・建設課〕	予定	検討					C
	実績						
・自転車優遇方策の検討 〔環境政策課〕	予定	検討					B
	実績						

＜施策・事業＞

関連する施策・事業		担当課	平成26年度 評価
①	「車に乗らない日」の普及・啓発	環境政策課	C
	公共交通機関の利用促進	環境政策課 企画政策課	A
	自転車専用のインフラ整備	建設課	C
②	低公害車の率先導入（再掲）	総務課 地域防災課	A
	低公害車の普及・啓発（再掲）	環境政策課	A
	燃料電池車両の開発動向に対応した施策の実施（エコエネルギー ステーションの設置研究ほか）	環境政策課 企画政策課	B

(3)電力使用量の削減

① 家庭での省エネルギー対策

(→重点：省エネルギーを進める 一家庭での省エネルギー対策一)

② 事業所での省エネルギー対策

<重点施策の展開スケジュール>

		年 度					平成 26 年度
			H23	H24	H25	H26	H27
省エネルギー対策の普及・啓発							
・ 情報提供と協力呼びかけ 〔環境政策課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
・ セミナーの開催 〔環境政策課〕	予定	継続・強化					B
	実績						
省エネ型生活 10 か条・環境家計簿の普及							
・ 省エネ型生活 10 か条・環境家計簿等の普及 〔環境政策課〕	予定	普及					A
	実績						
・ 省エネモニター制度の実施 〔環境政策課〕	予定	募集・登録					A
	実績						
雨水貯留槽設置の導入促進							
・ 雨水貯留槽の設置支援 〔環境政策課〕	予定	補助					F
	実績	終了					

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	家庭での省エネルギー生活の普及・啓発（エコハウス等の情報提供）	環境政策課	A
②	事業者への省エネルギー対策の普及・啓発	環境政策課	A
	事業所のエネルギーマネジメントの普及	環境政策課	B
	中小事業所や商店に対する普及・啓発	環境政策課	A
	公共施設での「あきる野エコ活動」の推進	総務課	A

2-7 新エネルギーの導入

【目標】

- ・ 太陽光や森林資源などを有効活用した新エネルギーを導入している。
- ・ 市民の新エネルギーへの関心が高まり、積極的に利用している。

(1)新エネルギー技術の活用

- ① 家庭・事業所での新エネルギー技術の導入促進
(→重点：新エネルギーを導入する)
- ② 公共施設への新発電技術の導入

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 26 年度	
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
家庭における新エネルギー・省エネルギー機器の導入促進							
・ 情報提供と普及促進 〔環境政策課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
・ 新エネルギー・省エネルギー機器の設置 支援 〔環境政策課〕	予定	補助					A
	実績						

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	事業所での新エネルギーの導入促進	環境政策課	A
	新エネルギーに関する情報の入手と普及・啓発	環境政策課	A
②	木質バイオマスの利用促進	観光まちづくり 活動課 農林課 環境政策課	A
	普及啓発・環境教育の実施	観光まちづくり 活動課 農林課 環境政策課	C

(2)リサイクル型エネルギーの利用

① ごみ焼却熱の再利用

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	焼却炉の効率的な稼働の促進	生活環境課	A
	ごみ焼却余熱の利用	生活環境課 西秋川衛生組合	A

(3)最新動向の把握及び調査研究

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
新たな新エネルギー技術の導入検討		環境政策課 施設営繕課	B

2-8 森林・緑地の拡大によるCO₂の吸収

【目標】

- ・ 森林が適正に管理され、CO₂が吸収されている。
- ・ 市街地内にも緑がたくさんあり、CO₂が吸収されている。

(1) 森林の保全

- ① CO₂吸収量の確保
- ② CO₂吸収源の育成（地域林業の活性化）

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成26年度 評価
①	森林のCO ₂ 吸収量に関する普及・啓発	農林課 環境政策課 指導室	A
	森林等の適正管理・保全の促進（再掲）	農林課 環境政策課	A
②	総合的な森林保全・再生策の検討（再掲）	農林課	A
	地域林業の活性化（再掲）	農林課	A
	材木生産の合理化とブランドイメージの向上	農林課 観光商工課	A
	木材加工産業の育成	農林課 観光商工課	A

(2) 緑化の推進

- ① CO₂吸収量の拡大のための緑化

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成26年度 評価
①	街路樹、公園樹木の拡大	建設課 管理課 環境政策課	A
	家庭等での植樹の推進（再掲）	環境政策課 農林課	A
	グリーンリサイクル（落ち葉・剪定枝）の推進（再掲）	生活環境課	A

人の活動分野

2-9 市民・事業者・市の協働による取組の推進

【目標】

- ・ 誰もが環境に関する情報をいつでも見ることができる。
- ・ 一人ひとりが自主的に環境行動を実践している。
- ・ 市民・事業者・市が協働して、環境行動を展開している。

(1) 情報の共有

- ① 環境に関する情報提供・交流
- ② 情報共有化のための仕組みづくり

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	「環境白書」の作成・公表	環境政策課	A
	環境に関する情報の収集・公開	環境政策課 図書館	A
	研究・活動実績等の発表の場づくり	環境政策課	A
②	環境情報サイトの立ち上げ	環境政策課	B
	環境情報コーナー等の機能整備の検討	環境政策課 図書館	A

(2) 環境教育の推進

- ① 環境教育の充実
(→重点：人づくりを進める)

<重点施策の展開スケジュール>

		年 度					平成 26 年度 評価
		H23	H24	H25	H26	H27	
環境教育の場の充実 〔環境政策課・指導室・生涯学習スポーツ課〕	予定	継続					A
	実績						
人材の育成及び活用 〔環境政策課・生涯学習スポーツ課〕	予定	継続					A
	実績						

(3)環境パートナーシップの形成

① 市民・事業者・市の具体的な役割の設定

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	協働・団体等のネットワーク化	環境政策課	B
	市民・事業者・市の協働事業等の推進	環境政策課	A
	問題提起・政策提案等ができる仕組みの検討	環境政策課	A

(4)様々な仕組みの検討

① 計画推進の基盤づくり

② 市民・事業者の行動促進の仕組みづくり

<施策・事業>

関連する施策・事業		担当課	平成 26 年度 評価
①	財源の確保の検討	環境政策課	C
	ボランティアの活用の仕組みづくり	環境政策課	A
	点検・評価への参加の充実	環境政策課	A
②	家庭版・学校版 I S O 等の仕組み検討	環境政策課	C
	事業者のマネジメントシステム導入支援	環境政策課	C
	経済的手法の研究	環境政策課	C

3 あきる野市環境委員会からの意見

環境委員会では、自然環境、生活環境、エネルギー環境の3分野のグループに分かれ、環境基本計画の施策の進捗状況について点検評価を行っています。ここに、環境委員会から提出された意見を取りまとめ、掲載します。

3-1 環境基本計画の施策のあり方

前年度策定された「生物多様性あきる野戦略」にも示されているとおり、市街地における生態系ネットワークの形成など、まちづくりにおいても様々な視点を盛り込む必要があると考えます。

こうしたことから、区画整理事業などのまちづくり事業について、地権者や周辺住民の意思を尊重するとともに、これまで以上に、様々な視点からの意見を取り入れるような仕組みづくりを検討し、「市民とともに進めるまちづくり」を実現していただきたいと思います。

環境基本計画の中には、未着手の施策がいくつか見られ、人員、予算不足を理由とするもののほか、関係主体との調整が必要なものや物理的に不可能であるものもあります。次期計画策定時には、関係主体を交えて実現可能性を検討の上、計画として掲げられる部分のみを盛り込むべきと考えます。

前年度策定された「生物多様性あきる野戦略」と「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」に基づき「(仮)生きもの会議」や「(仮)地球温暖化対策地域協議会」の立ち上げが予定されている。環境基本計画の施策実現に向け、大きな指針ができたことは喜ばしく感じております。

その一方で、諸事情から未着手の施策も散見される外、市内外関係団体との協働の体制が明確でないなどの理由で一部着手に留まっているものもあります。

H28年度からの「第二次環境基本計画」の策定に当たっては、こうした点も考慮し、協働体制の構築や、より実効性のある施策に特化していくよう検討を行っていただくべきと考えます。

3-2 環境委員会として推進していく施策・事業、市民協働で担う役割

町内会・自治会との協働の森づくりについて、良好な環境と景観を形成するために、歩道や尾根道の補修・整備だけではなく、苗木の植生についても支援していただけないでしょうか。

なお、苗木の選定に当たっては、「生物多様性あきる野戦略」にふさわしく、当該地の自然環境に適した在来種で、かつ、景観的にも優れた種を選定することが大切だと思います。

環境基本計画の理念を達成するためには、方向性の共有化とともに、多くの市民・団体の協力を仰ぎ、きめ細かい対応をしていく必要がある。現在実施中の「知る活動」を更に活発化し、地域住民・各団体の活動の実態を詳しく知ること、環境施策をより大きく発展させるための仲介的役割を果たしていきたい。

2016年4月から一般家庭でも電力会社を選べるようになり、2018年～20年には発送電分離も実現する。初のエネルギー選択に向けて、環境委員会（仮 地球温暖化対策地域協議会）の果たす役割も大きくなると思う。

あきる野市は2つの河川と豊かな森林を擁している。将来的にはこうした自然環境を活用して、小規模水力発電や木質バイオマス発電等の自然エネルギーを生み出すことができると考える。地元で電気を作り、消費し、外部にも販売する。そこに雇用が生まれ、地域経済の活性化に貢献できる。

地域主導でこのような事業を展開できれば、素晴らしいと思う。そのためには、より専門性を備えたエネルギー政策担当スタッフが必要であり、環境委員ももっと学習する必要があると思う。そして、市民と事業者との連携・協働に向けて、できることから進めていきたいと考える。

資料編

1 施策の進捗状況調査結果

【評価の基準】
A: 定常的实施
B: 一部着手
C: 未着手
F: 完了

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成26年度				平成27年度予定		担当課
				実績		評価		予定・進捗		
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	重点	市内全域の自然環境の実態把握と評価	市域全体の自然を知る	自然環境調査の実施	自然環境調査部会によるフォロー調査を実施した。	A	A	自然環境調査部会によるフォロー調査を実施する。	環境政策課 （環境政策係）
					あきる野百景などの周知・活用	市ホームページに掲載するとともに、公共施設や観光施設にパンフレットを設置している。また、必要に応じて情報・画像提供を行った。	A	A	継続して市ホームページに掲載するとともに、公共施設や観光施設にパンフレットを設置する。また、必要に応じて情報・画像提供やパネルの貸し出しを行う。	環境政策課 （環境政策係）
						市庁舎パンフレットラックでの配布及び直接請求による郵送により、あきる野百景めぐりマップを市民及び市外の観光客に案内書として配布し、市のPRを行った。	A		散策コースの案内書としてあきる野百景めぐりマップを市民及び市外の観光客に配布し、市のPRを図る。	観光商工課
						観光キャラバンや観光ボランティア事業などを通じ、散策コースの案内書としてあきる野百景めぐりマップを市民及び市外の観光客に配布し、市のPRを図った。	A		散策コースの案内書としてあきる野百景めぐりマップを市民及び市外の観光客に配布し、市のPRを図る。	観光まちづくり活動課 （H25～）
					生物多様性についての情報提供・普及啓発（講座、イベントの開催等）	「知って守ろうあきる野の自然」のリーフレットを市内公共施設、イベント等で配布するとともに、市ホームページに掲載した。また、平成21年度から23年度までの調査結果をまとめた「あきる野市自然環境調査報告書（平成21年度～23年度）」を市内公共施設に設置するとともに、市ホームページで公表した。さらに、「生物多様性あきる野戦略」の策定に伴い、プレスリリースや市広報、市ホームページで周知を図るとともに、産業祭「環境展」で戦略、本市の生物多様性や外来種対策についての周知等を行った。	A	A	継続して「知って守ろうあきる野の自然」のリーフレットを市内公共施設、イベント等で配布するとともに、市ホームページに掲載する。また、「あきる野市自然環境調査報告書（平成21年度～23年度）」を市内公共施設に設置するとともに、市ホームページに掲載する。「生物多様性あきる野戦略」をさらに周知するため、市ホームページへの掲載を継続するとともに、概要版の全戸配布、生物多様性シンポジウムの開催、産業祭「環境展」にて生物多様性に関する展示を行う。	環境政策課 （環境政策係）
平成26年度においても、市内全小中学校の校外学習や森の子コレンジャーの活動の中で、市内の自然環境、生物の多様性について解説を行った。また、11月8日・9日に開催したあきる野市産業祭、12月11～13日に東京ビッグサイトにおいて開催されたエコプロダクツ2014に参加し、市内の動植物や滝・沢、巨樹などの地域資源の写真・パネル展示を行った。	A	平成26年度の取組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）							

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成26年度			平成27年度予定	担当課	
				実績		評価	予定・進捗		
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	重点	市内全域の自然環境の実態把握と評価	あきる野版RD種の選定	「生物多様性あきる野戦略」の施策の一つとして、「あきる野市版RD種」の選定を位置付け、「（仮）生きもの会議」などの設置と合わせ、選定作業に着手することとした。	B	B	「あきる野版RD種」の選定に向け、段階的に取組を進めていく。	環境政策課（環境政策係）
					森林レンジャーあきる野により、市内の森林において、植物、脊椎動物等の分布調査や生息調査を継続して行っている。これにより、鳥類が1種類、昆虫が2種類新たに確認され、植物では34種、動物では合計63種（哺乳類3種類、鳥類35種類、爬虫類4種類、両生類5種類、魚類4種類、昆虫12種類）の絶滅危惧種（東京都の2010年レッドリストによる）を確認している。	B		平成26年度と同様である。	環境政策課（環境の森推進係）
				適正評価及びモデル地区等の選定	「生物多様性あきる野戦略」の施策として、「（仮）生物多様性保全条例」や「生物多様性保全区域の指定」を位置付け、保全区域の指定などを含む生物多様性保全の枠組みを構築することとした。	B	B	保全区域指定の規定を含む「（仮）生物多様性保全条例」を制定する。	環境政策課（環境政策係）
					森林レンジャーあきる野により、市内の森林の整備状況や健全性の調査を行った。	B		平成26年度と同様である。	環境政策課（環境の森推進係）
				モデル地区等における保全・管理活動の検討・実施	モデル地区を選定していないため、モデル地区での保全活動は実施していない。 東京都里山保全地域である「横沢入」において、都や各種団体と連携し、保全活動を実施した。 外来生物対策として、町内会・自治会、猟友会と連携しアライグマ・ハクビシン対策を実施した。 また、モデル地区が存在せずとも、保全・管理活動が必要と認められるものについては、関係団体等との調整により、保全・管理活動を実施した。	B	A	東京都里山保全地域である「横沢入」において、都や各種団体と連携し、保全活動を実施する。 外来生物対策として、町内会・自治会、猟友会と連携しアライグマ・ハクビシン対策を実施する。 モデル地区の選定を待たずに保全対策が急がれるものについては、随時対応を図っていく。 モデル地区ともいえる保全区域指定の規定を含む「（仮）生物多様性保全条例」を制定する。	環境政策課（環境政策係）
					産学官が連携して菅生地区をモデルとした森づくりを進めている。この取組を具体的に進めるため、NECフィールドイング㈱、明星大学、菅生町内会、あきる野青年会議所、西多摩マウンテンバイク友の会、NPO法人ふるさとの森づくりセンター、あきる野市の七者で組織するあきる野菅生の森づくり協議会において、ワークショップ方式で多様な生物が生息する里地里山の再生と保全に向けた森づくりに取り組んでいる。	A		あきる野菅生の森づくり協議会の取組を進める。	環境政策課（環境の森推進係）
				生物多様性の保全のための方針の確立	「生物多様性あきる野戦略」を策定し、生物多様性の保全を含む生物多様性全般に係る方針を確立した。	F	B	平成26年度と同様である。	環境政策課（環境政策係）
					森林レンジャーあきる野により、市内の森林の整備状況や健全性の調査を行うとともに、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類等の分布調査や生息調査を継続して行い、絶滅危惧種や外来生物の確認をし、健全な生態系の維持を努めるよう対策を講じている。	B			環境政策課（環境の森推進係）

分野	方針	施策		関連する施策・事業		平成26年度			平成27年度予定		担当課
						実績		評価	予定・進捗		
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	重点	市内全域の自然環境の実態把握と評価	自然の保全・管理活動の実践	外来生物対策	市民や森林レンジャー、自然環境調査部会からの情報のもと、町内会・自治会、猟友会と連携しアライグマ・ハクビシン対策を実施した。	A	A	町内会・自治会、猟友会と連携しアライグマ・ハクビシン対策を実施する。また、必要に応じて、その他の外来種対策を実施する。	環境政策課 （環境政策係）	
						また、自然環境調査部会との連携のもと、希少種（植物）の生育に影響を及ぼす外来種の除去を行った。			平成26年度を取組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）	
						森林レンジャーあきる野により、市内の森林において、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類等の分布調査や生息調査を継続して行った。また、アライグマ・ハクビシンの対策について、情報提供等の協力を行った。	A				
		一般	実効性の高い保全の仕組みづくり	緑地保全制度の実態の評価 （評価の指針等の作成、実態評価）		評価の指針等の作成などには至っていないが、「生物多様性あきる野戦略」の施策の一つとして、公共施設における緑の充実や拡大を位置付け、取組を進めていくこととした。	B	B	「生物多様性あきる野戦略」に基づき、公共施設における緑の充実や拡大を進めていく。	環境政策課 （環境政策係）	
				実効性の高い保全制度の検討・確立		「生物多様性あきる野戦略」の施策として、あきる野市版RD種の指定や保全区域の指定などの方策を位置付けた。	B	B	保全区域指定の規定を含む「（仮）生物多様性保全条例」を制定する。 あきる野市版RD種の選定を進める。	環境政策課 （環境政策係）	
						産学官が連携して菅生地区をモデルとした森づくりを進めており、NECフィールドिंग㈱、明星大学、菅生町内会、あきる野青年会議所、西多摩マウンテンバイク友の会、NPO法人ふるさと森づくりセンター、あきる野市の七者で組織するあきる野菅生の森づくり協議会で実施している里山活性化事業において、様々な主体が協働して森づくりに取り組んでおり、一部区域において植樹を行うなど具体的な森づくりが進められている。この取組を進めていく中で、新しい森づくりの担い手の育成や森づくりの方法などを探りつつ、実効性の高い保全の方法を検討し確立していく。	B		平成26年度を取組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）	
						「生物多様性あきる野戦略」の施策の一つとして、生物多様性の保全に向けた財源確保の手法などを位置付けた。また、東京都補助金の活用により、生物多様性の保全に繋がる事業等の財源の一部を確保した。	A		A	生物多様性保全基金の創出について検討するとともに、東京都補助金を活用し、生物多様性の保全に繋がる事業等の原資とする。	環境政策課 （環境政策係）
						郷土の恵みの森づくり事業に対しての寄付金について、ホームページ等周知を行っている。また、サントリーフーズ㈱と新四季創造㈱とあきる野市の三者の契約に基づき、瀬音の湯に設置した清涼飲料水の自動販売機の売上金の一部を本事業へ指定寄付を受けている。	A			平成26年度を取組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）
						平成26年度については実施していない	A			実施予定なし	財政課

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成26年度			平成27年度予定		担当課
				実績		評価	予定・進捗		
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	一般	実効性の高い保全の仕組みづくり	ボランティアの育成・活用	「生物多様性あきる野戦略」をはじめとする各種環境関連の計画において、ボランティアをはじめとする人材育成の重要性が認識され、施策の一つとして位置付けられた。	B	A	生物多様性の保全などにつながる人材育成など、ボランティア活動も含め、様々な手法を検討する。	環境政策課 （環境政策係）
					町内会・自治会との協働により、郷土の恵みの森づくりを推進するため、市内外の森づくりに関心のあるボランティアで組織する「森林サポートレンジャーあきる野」が、町内会・自治会が行う昔道や尾根道の補修、景観整備に支援を行った。この「森林サポートレンジャーあきる野」は、市職員のほかに森づくりに関心のある市内外の個人・企業・団体で構成（平成27年3月末現在106人）されており、12回の活動に93人が参加した。	A		平成26年度の実組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）
			多様な主体が連携した体制・仕組みづくり	「生物多様性あきる野戦略」の施策の一つとして、多様な主体が参画し、生物多様性について意見交換などを行う「（仮）生きもの会議」の設置を位置付けた。郷土の恵みの森構想に基づき、地域との協働の森づくりに16の町内会・自治会が取り組んでいる。この取組に森林レンジャーあきる野及び森林サポートレンジャーあきる野が支援している。産学官が連携して菅生地区をモデルとしてワークショップ方式で多様な生物が生息する里地里山の再生と保全に向けた森づくりに取り組んでいる。自然や郷土を愛し、あきる野の自然と文化を守り引き継いでくれる森の守り人を育成するため、森林レンジャーあきる野とともに学び、森づくりを行う子どもたちを森の子コレンジャーとして組織（小学校4年生から6年生までの20人）し、1年間、四季を通じて森と生き物と人とのつながりを心と体で学ぶ活動を行った。	A	A	「（仮）生きもの会議」を設置する。	環境政策課 （環境政策係）	
				郷土の恵みの森構想に基づき、地域との協働の森づくりに16の町内会・自治会が取り組んでいる。この取組に森林レンジャーあきる野及び森林サポートレンジャーあきる野が支援している。産学官が連携して菅生地区をモデルとしてワークショップ方式で多様な生物が生息する里地里山の再生と保全に向けた森づくりに取り組んでいる。自然や郷土を愛し、あきる野の自然と文化を守り引き継いでくれる森の守り人を育成するため、森林レンジャーあきる野とともに学び、森づくりを行う子どもたちを森の子コレンジャーとして組織（小学校4年生から6年生までの20人）し、1年間、四季を通じて森と生き物と人とのつながりを心と体で学ぶ活動を行った。	A		平成26年度の実組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）	
				緑地の環境保全、景観の保全のため、蓮華草の種を農業者に配布した。					A
				一般	市民の声がかけられる、環境に配慮したまちづくりの実現		開発計画への市民参加の仕組み化	武蔵引田駅周辺地区のまちづくり方針の策定にあたり、市民等からの意見募集を行った。	A
		景観形成モデル地区の設定	実施していない			C	C	実施予定なし	都市計画課
			実施していない			C		実施予定なし	区画整理推進室
		自然環境に適合した既存計画、線引き・用途区域等の見直し	武蔵引田駅周辺地区について、生産緑地の指定に向け関係機関と協議した。他地区の計画において緑地空間の確保を検討した。			A	A	他地区の計画・東京都協議を行う。	都市計画課
		環境配慮型まちづくり方針・指針の策定	実施していない			C	C	実施予定なし	都市計画課
		地域別環境づくりの方針の活用（地区計画制度の活用）	武蔵引田駅周辺地区について、新たに地区計画を都市計画決定した。			A	A	地区計画制度をすでに定めている地区については、地区の実情に即したまちづくりを進める。	都市計画課
			実施していない			C		実施予定なし	区画整理推進室

分野	方針	施策		関連する施策・事業		平成26年度			平成27年度予定		担当課	
						実績		評価		予定・進捗		
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	森林の保全と活用	森林の環境面からの機能評価		林床植物の生育を促すため、森林再生及び枝打ちを実施し、日照の確保を行った。		A	A	林床植物の生育を促すため、森林再生及び枝打ちを実施し、日照の確保を行う。		農林課
						郷土の恵みの森構想や郷土の恵みの森づくり基本計画において、7つの地区に区分した整備方針に基づき、各町内会や自治会が昔道・尾根道の整備や景観整備に継続して取り組んでいる。		A		平成26年度の実績を継続する。		環境政策課 （環境の森推進係）
				公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大（モデル地区による「美林の里」づくり）		森林資源活用整備事業にてグミノ木尾根の景観整備を行った。		A	A	実施予定なし		農林課
						産学官による森づくりの一環として、モデル地区である菅生地区大沢にある市有地の残土による盛り土部の土地利用の方針について、地域の方を中心とするワークショップ形式での検討を行い、一部区域において植樹をするなど整備を進めている。		B		平成26年度の実績を継続する。		環境政策課 （環境の森推進係）
		重点	森林の保全と活用	次世代につなぐ森づくり	地域の魅力を高める森づくり（モデルプラン）の推進	深沢地区は、五日市憲法草案の発見された深沢家の土蔵や南沢のアジサイ、深沢小さな美術館、大カシなどの観光資源が存在しており、深沢川周辺や南沢地区においても景観整備を実施している。また、大カシから堀田尾根にかけての尾根道の整備及び森づくりによる散策コースの整備を継続している。本地区には落合自治会や養沢自治会との連携により整備された尾根道とあわせ、武蔵五日市駅～大カシ～堀田尾根～金比羅尾根～星竹林道～瀬音の湯という山歩きコースが維持され、小学生の校外学習としても利用している。		A	A	平成26年度の実績を継続する。		環境政策課 （環境の森推進係）
					古道・散策コース及び景観の整備	8つの町内会・自治会により、昔道・尾根道の整備を、9つの自治会により、景観整備を継続して行っている。これらの事業の実施により、前述のとおり、武蔵五日市駅から瀬音の湯までのコースをはじめ、既存の登山道などとあわせていくつか確保されたコースを維持している。		A	A	平成26年度の実績を継続する。		環境政策課 （環境の森推進係）
					森の魅力発信	明星大学等からインターンシップ実習生を受け入れ、森林レンジャーあきる野により森の健全性、動植物の調査など実施した。 産学官の連携では、チェーンソーの使い方の基礎を学び、雑木林の管理を体験する「木こりの講座」、環境学習「里山の学校 ツリークライミング体験」を実施した。また、森林レンジャーあきる野、森の子コレンジャーの活動も継続して行っている。		A	A	平成26年度の実績を継続する。		環境政策課 （環境の森推進係）

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成26年度				平成27年度予定		担当課	
					実績		評価		予定・進捗			
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	森林の保全と活用	森林整備計画等に基づく林業振興・森林保全策の推進		森林資源の高度利用を促進し、林業経営の安定及び適切な森林の維持管理を行うため、林道の開設（2路線）・改良（2路線）を行った。また、水源かん養機能の向上や生活環境等の保全を図るため、治山治水事業に取り組んでいる。		A	A	森林資源の高度利用を促進し、林業経営の安定及び適切な森林の維持管理を行うため、林道の開設（2路線）・改良（2路線）を行う。また、水源かん養機能の向上や生活環境等の保全を図るため、治山治水事業に取り組む。		農林課
				森林資源の需要の喚起（新たな資源価値の付加・間伐材等の積極的活用）		みなと区民の森づくり、新宿区民の森、サントリー天然水の森奥多摩事業で作業道整備事業や林内調査を実施した。		A	A	みなと区民の森づくり、新宿区民の森、サントリー天然水の森奥多摩事業で作業道整備事業や林内調査を実施予定		農林課
		重点		森づくりの体制の整備	町内会・自治会等との連携	郷土の恵みの森構想の実現に向け、町内会・自治会が取り組んでいる昔道・尾根道の補修や景観を整備する郷土の恵みの森づくり事業に対して交付金を交付するとともに、森林レンジャーあきる野や森林サポートレンジャーあきる野等が整備作業等を支援した。平成26年度においては、昔道や尾根道の補修事業及び景観整備事業を合わせて21地区で実施した。		A	A	平成26年度を取組を継続する。		環境政策課（環境の森推進係）
						森林レンジャー・森林サポートレンジャー組織の整備		A	A	平成26年度を取組を継続する。		環境政策課（環境の森推進係）
						郷土の恵みの森づくり事業基金の運用		A	A	平成26年度を取組を継続する。		環境政策課（環境の森推進係）
		一般		市民参加の森づくり事業の推進（ボランティアの育成・活用の仕組みづくり）		森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と各町内会・自治会と合同で整備事業を実施した。		A	A	森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と各町内会・自治会と合同で整備事業を実施予定		農林課
						町内会・自治会が取り組んでいる郷土の恵みの森づくり事業については、地域住民や森林サポートレンジャーあきる野が協働して整備事業を進めている。一部地域においては、民間の任意団体がボランティアでこのような整備に協力して活動をしている。また、産学官の連携による森づくりにおいては、あきる野菅生の森づくり協議会を組織し、構成する各団体により森づくりの取組をボランティアで進めている。		A		平成26年度を取組を継続する。		環境政策課（環境の森推進係）

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成26年度			平成27年度予定		担当課
					実績		評価	予定・進捗		
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	森林の保全と活用	活動資金の確保 （緑地保全基金の活用の検討（再掲））	実施していない	C	A	実施予定なし	農林課	
					緑地保全基金は用途が限定されているため、「生物多様性あきる野戦略」の施策の一つとして、生物多様性の保全に向けた財源確保の手法などを位置付けた。また、東京都補助金の活用により、生物多様性の保全に繋がる事業等の財源の一部を確保した。	A		生物多様性保全基金の創出について検討するとともに、東京都補助金を活用し、生物多様性の保全に繋がる事業等の原資とする。	環境政策課 （環境政策係）	
					郷土の恵みの森づくり事業に対しての寄付金について、ホームページ等周知を行っている。また、サントリーフーズ㈱と新四季創造㈱とあきる野市の三者の契約に基づき、瀬音の湯に設置した清涼飲料水の自動販売機の売上金の一部について、本事業へ指定寄付を受けている。	A		平成26年度の実績を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）	
					当初予算において、郷土の恵みの森づくり事業基金を有効に活用し郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ200万円を充当した。 郷土の恵みの森事業指定寄附金については基金に積み立て、活動資金の確保を行った。 なお、平成26年度から日本山岳耐久レース長谷川恒男CUP「あきる野市ふるさと納税エントリー枠」が設けられたことにより、郷土の恵みの森事業指定寄附金が大幅に増額となった。	A		当初予算において、郷土の恵みの森づくり事業基金を有効に活用し、郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ200万円を充当した。郷土の恵みの森事業指定寄附金について、基金に積み立て、活動資金の確保を図る。	財政課	
				森林保全・活用のための整備の推進	林道鍾乳洞沢線、南沢線、盆堀線、伝名沢線の工事を施工した。	A		林道鍾乳洞沢線、南沢線、盆堀線、伝名沢線の工事を施工予定	農林課	
					森林管理のための林道整備に係る取組としては、町内会・自治会が郷土の恵みの森づくり事業として取り組んでいる普道・尾根道の整備を8町内会・自治会により10ルートの実施を行った。	A		平成26年度の実績を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）	
	一般	里山の保全と活用	里山の現状調査の実施	自然環境調査部会においてフォロー調査を実施した。また、横沢入については都の里山保全地域に指定され、都が調査を実施している。 さらに、今後の調査について、「生物多様性あきる野戦略」に基づき、実施・継続していくこととなった。	A	A	自然環境調査部会によるフォロー調査を継続する。また、横沢入里山保全地域においても、都の調査を継続実施する。	環境政策課 （環境政策係）		
				実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 （環境の森推進係）		
			評価と利活用方針の検討	「生物多様性あきる野戦略」の施策の一つとして、自然環境調査部会のフォロー調査などで得られた情報を可視化し、保全や再生が必要な箇所や活用が見込める箇所などの抽出を行うこととした。 また、横沢入においては、都の里山保全地域のため、都により評価や検討がされている。	A	A	施策の実現に向け、施策の根拠となる「（仮）生物多様性保全条例」の制定やあきる野市版RD種の選定を進めるとともに、情報の可視化に向けた検討を行う。 また、横沢入においては、都の里山保全地域のため、都による希少種の調査や各種検討が行われることとされている。	環境政策課 （環境政策係）		
				実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 （環境の森推進係）		

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成26年度		平成27年度予定		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	里山の保全と活用	モデル地区での保全管理活動の実践	モデル地区の選定には至っていないが、保全・管理が急がれる場所については、随時対応した。 また、「生物多様性あきる野戦略」の施策の一つとして、保全地域の指定やこの根拠となる「（仮）生物多様性保全条例」の制定を位置付けた。	A	A	保全地域指定の根拠となる「（仮）生物多様性保全条例」を制定する。 また、保全地域の指定がなくとも、保全・管理が急がれる場所については、随時対応する。	環境政策課 （環境政策係）
				菅生地区において、良好な里山環境という地域資源を生かしつつ、産学官による森づくりを地域の方を中心に取組を進めており、一部において植樹を実施した。 その他、本地区には、良好な里山環境の中、南北に散策に適したゆるやかな尾根道があり、地域の方により尾根道の整備が行われている。	A	平成26年度の実践を継続する。		環境政策課 （環境の森推進係）	
			各地域での保全策の検討	「生物多様性あきる野戦略」において、市内各地域の自然環境の特徴のほか、保全等に向けた方針を示した。 また、保全対策が急がれるところについては、関係団体と調整のうえ、保全策を実施した。	A	A	保全等につながる各種施策（あきる野市版RD種の選定、（仮）生物多様性保全条例の制定など）を段階的に進めていく。 また、保全対策が急がれるところについては、関係団体と調整のうえ、保全策を実施する。	環境政策課 （環境政策係）	
				実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 （環境の森推進係）	
				横沢入保全活動として、林道の草刈りを実施した。	A		横沢入保全活動として、林道の草刈りを実施予定	農林課	
			緑地保全基金の活用（再掲）	緑地保全基金は用途が限定されているため、「生物多様性あきる野戦略」の施策の一つとして、生物多様性の保全に向けた財源確保の手法などを位置付けた。また、東京都の補助金の活用により、生物多様性の保全に繋がる事業等の財源の一部を確保した。	A	A	生物多様性保全基金の創出について検討するとともに、東京都の補助金を活用し、生物多様性の保全に繋がる事業等の原資とする。	環境政策課 （環境政策係）	
				実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 （環境の森推進係）	
				当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ200万円を充当し、郷土の恵みの森づくり事業基金を有効に活用した。	A		当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ200万円を充当するなど、郷土の恵みの森づくり事業基金の有効活用を図り、森づくりを推進する。	財政課	

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成26年度			平成27年度予定		担当課
					実績		評価	予定・進捗		
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	里山の保全と活用	ボランティアの育成・活用（再掲）	東京都による里山保全地域の指定を受け、市内の里山を代表する横沢入では、ボランティアの活用により里山保全が図られている。	A	A	継続実施する。	環境政策課 （環境政策係）	
					町内会・自治会との協働により、郷土の恵みの森づくりを推進するため、市職員及び市内外の森づくりに関心のあるボランティアで組織する「森林サポートレンジャーあきる野」が、町内会・自治会が行う昔道や尾根道の補修、景観整備とともに、森づくりイベントなどの支援を行った。平成26年度は、12回の活動に93人が参加した。	A		平成26年度の実績を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）	
					五日市郷土館・二宮考古館において、市民解説員による展示解説を実施した。	A		五日市郷土館・二宮考古館において、市民解説員による展示解説を実施する。	生涯学習スポーツ課 （H24：生涯学習推進課）	
					市民解説員人材育成入門講座を全て受講し、解説実習を終了したので市民解説員として4名を認定した。	A		市民解説員人材育成入門講座を全て受講し、解説実習を終了した方を市民解説員として認定するが、平成27年度は解説実習を終了する者がおらず、該当者がいないため、認定しない予定である。	生涯学習スポーツ課 （H24：公民館）	
			学校里山ゾーンの設定・学習体験活動の実施		学校里山ゾーンの設定はしていないが、横沢入では増戸小児童による稲作体験が実施されている。また、他の小学校においても稲作体験や地域の特性を生かした体験授業が行われている。	B	A	平成26年度と同様である。	環境政策課 （環境政策係）	
					小学校（市内10校、市外1校）を対象にした自然体験学習を行った。また「森の子コレンジャー」については、自然を楽しむことの先にある「より深く自然を学ぶ」活動を行った。	A		平成26年度の実績を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）	
					郷土の恵みの森構想に基づき、近隣小・中学校で体験活動に参加した。また、小宮ふるさと自然体験学校（旧小宮小学校）での自然体験学習を各小学校で実施した。	A		郷土の恵みの森構想に基づき、近隣小・中学校で体験活動に参加していく。 また、小宮ふるさと自然体験学校での自然体験学習を各小学校で実施していく。	指導室	

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成26年度		平成27年度予定		担当課
					実績		評価		
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	秋留台地一帯の農地の保全と活用	農業振興計画との整合	・遊休農地を認定農業者等に利用集積を実施した。 ・農業後継者に農業技術研修への参加を啓発した。 ・獣害対策として、追い払い等実施し、狩猟免許取得に対して、補助事業を実施した。 ・畜舎の衛生管理用の薬剤を配布し、指導を行った。 ・農地の散策や収穫体験を実施した。	A	A	・遊休農地を認定農業者等に利用集積を実施する。 ・農業後継者に農業技術研修への参加を啓発する。 ・獣害対策として、追い払い等実施し、狩猟免許取得に対して、補助事業を実施する。 ・畜舎の衛生管理用の薬剤を配布し、指導を行う。 ・農地の散策や収穫体験を実施する。	農林課
				農地の環境面からの機能のPR	「生物多様性あきる野戦略」において、農地が生態系の一つであることや保全策を示した。	A	A	「生物多様性あきる野戦略」の普及啓発を通じて、農地の重要性を示していく。	環境政策課（環境政策係）
				中山間地域ふれあい農業の検討	農地の利用集積により農産物の生産・販売の促進に向け検討する。	C	C	農地の利用集積により農産物の生産・販売の促進に向け検討する。	農林課
				あきる野産の農産物の利用拡大の検討	地元産野菜の学校給食へ使用を進めた。	A	A	地元産野菜の学校給食へ使用を継続する。	農林課
				遊休農地の活用方策の検討・推進（学校農園、市民農園など）	地主の意向調査に基づき、遊休農地の利用集積を図った。	A	A	地主の意向調査に基づき、遊休農地の利用集積を図る。	農林課
					総合的な学習の時間等を通して、農地を借りて農業体験を実施した。	A		前年同様に実施していく。	指導室
				人材育成と活用の仕組みづくり（農業委員会との連携・後継者の育成支	農業委員会と認定農業者、農業後継者との意見交換会を年1回実施し、定例的な交流を図った。	A	A	農業委員会と認定農業者、農業後継者との意見交換会等を継続して実施し交流を図る。	農林課
		一般	秋川・平井川流域の総合的な保全	流域の一体的な保全（水と緑の環境保全）	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。	A	A	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組む。	環境政策課（環境政策係）
					秋川・平井川流域生活排水対策連絡協議会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。	A		秋川・平井川流域生活排水対策連絡協議会に参画し、河川の保全等に取り組む。	生活環境課（生活環境係）
				秋川・平井川流域における環境保全の推進	「生物多様性あきる野戦略」において、河川環境の保全に向けた各種施策を明示した。 平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。 また、オオキンケイギクやオオカワヂシャ等、河川周辺の生態系に影響を与える外来種対策を実施した。	A	A	「生物多様性あきる野戦略」に基づき、東京都との連携のもと、各種保全策を検討・実施する。 平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組む。 また、オオキンケイギクやオオカワヂシャ等、河川周辺の生態系に影響を与える外来種対策を実施する。	環境政策課（環境政策係）
					秋川・平井川流域生活排水対策連絡協議会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。 市民や清流保全協力員からの通報により、河川等での水質異状事故（7件）に対応した。	A		秋川・平井川流域生活排水対策連絡協議会に参画し、河川の保全等に取り組む。 市民や清流保全協力員からの通報により、河川等での水質異状事故に対応する。	生活環境課（生活環境係）
					平井川子どもの水辺協議会への参画（1回 7月28日）	A		平井川子どもの水辺協議会への参画	生涯学習スポーツ課（H24：生涯学習推進課）

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成26年度			平成27年度予定		担当課
					実績		評価	予定・進捗		
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	秋川・平井川流域の総合的な保全	公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大（再掲）	スギを伐採し、花粉の少ないスギ、広葉樹を植栽することで針広混交林化を図った。また、森林資源活用事業で景観伐採跡地に広葉樹を植栽し、針広混交林化を図った。		A	A	スギを伐採し、花粉の少ないスギ、広葉樹を植栽することで針広混交林化を図る。	農林課
				湧水の保全 （湧水調査、湧水のPR、雨水浸透の促進）	東京都が、湧水への関心を高め、その保護と回復を図るため、水量、水質、その由来、景観などに優れた湧水等57箇所を「東京の名湧水」として選定しており、市内で選定されている「二宮神社のお池」「八雲神社」について、市のホームページでも周知を行った。	A	A	東京都が、湧水への関心を高め、その保護と回復を図るため、水量、水質、その由来、景観などに優れた湧水等57箇所を「東京の名湧水」として選定しており、市内で選定されている「二宮神社のお池」「八雲神社」について、市のホームページでも周知を行う。	環境政策課 （環境政策係）	
					環境調査を通じて湧水の状況を把握するとともに、清流保全条例等により、湧水の保全や雨水浸透の促進について啓発を図った。	A		環境調査を通じて湧水の状況を把握するとともに、清流保全条例等により、湧水の保全や雨水浸透の促進について啓発を図る。	生活環境課 （生活環境係）	
					開発指導要綱に基づき雨水浸透を指導した。	A		開発指導要綱に基づき雨水浸透を指導する。	都市計画課	
				親しめる環境づくり（親水散策路の整備）	実施なし		C	C	実施予定なし	建設課
				崖線地区の保全 （市街化調整区域への指定変更、公有地化）	保存緑地として管理（市有地）するとともに、保存緑地や公開緑地として、保全できる箇所について、保全の支援等を行った。	A	A	保存緑地として管理（市有地）するとともに、保存緑地や公開緑地として、保全できる箇所について、保全の支援等を行う。	環境政策課 （環境政策係）	
					市街化編入あたり、緑地空間の拡充を検討	A		関係機関と引き続き協議を行う。	都市計画課	
				市民意識の啓発	清流保全協力員によるパトロールを実施している。	A	A	平成26年度と同様に実施する。清流保全協力員から意見・要望等があった場合には必要に応じて対応する。	生活環境課 （生活環境係）	
				モデル地区での水質浄化活動	「生物多様性あきる野戦略」の施策の一つとして保全地域の指定やその根拠となる「（仮）生物多様性保全条例」の制定を位置付けた。モデル地区の選定には至っておらず、水質浄化活動は実施していない。	C	C	保全地域の指定の根拠となる「（仮）生物多様性保全条例」の制定を行い、保全地域指定の具体的道筋を示す。	環境政策課 （環境政策係）	
					モデル地区の設定がされておらず、実施していない。	C		実施予定なし	生活環境課 （生活環境係）	
		一般	地質・地形の保存と活用	適正な評価の実施	実施していない	C	A	実施予定なし	生涯学習スポーツ課 （H24：生涯学習推進課）	
					評価には至っていないが、日本ジオパーク認定に向け、調査等を行っている。	B		平成26年度と同様である。	環境政策課 （環境の森推進係）	
					秋川流域ジオパーク推進会議において、日本ジオパーク認定に向け取組を進めた。	A		平成26年度と同様である。	環境政策課 （環境政策係）	

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成26年度			平成27年度予定		担当課
					実績		評価	予定・進捗		
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	地質・地形の保存と活用	財源の確保	実施していない	C	A	実施予定なし		生涯学習スポーツ課 (H24：生涯学習推進課)
					あきる野市、日の出町、檜原村をはじめ、有識者、観光協会、商工会、流域住民などが連携し、秋川流域ジオパーク推進会議を組織し、日本ジオパーク認定に向けた取組を進めている。この取組に当たって、多摩・島しょ広域連携活動助成金を活用した。	A		日本ジオパーク認定に向けた取り組みは継続するものの、多摩・島しょ広域連携活動助成金は平成26年度で終了となった。また、今後の取組に際しては、生物多様性を支える基礎となる大地の保全と活用という観点から、東京都補助金である地域環境力活性化事業の活用も視野に入れる。		環境政策課 (環境の森推進係)
			文化財の指定、開発の抑制	都指定名勝「奥御岳景園地」、天然記念物「六枚屏風岩」「大岳鍾乳洞」「南沢鳥の巣石灰岩産地」を所有者の管理の下に保存、公開した。	A	A	都指定名勝「奥御岳景園地」、天然記念物「六枚屏風岩」「大岳鍾乳洞」「南沢鳥の巣石灰岩産地」を所有者の管理の下に保存、公開する。		生涯学習スポーツ課 (H24：生涯学習推進課)	
				実施していない	C		実施予定なし		都市計画課	
			郷土学習の支援（多様な連携づくり）	横沢入里山保全地域運営協議会へのオブザーバー参加、自然環境調査会議への参画等を行った。	A	A	横沢入里山保全地域運営協議会へのオブザーバー参加を行う。		生涯学習スポーツ課 (H24：生涯学習推進課)	
				秋川流域ジオパーク推進会議が主催し、流域内の地質・地形に関する講座を実施するとともに、現地視察を実施した。	A		平成26年度の実績を継続する。		環境政策課 (環境の森推進係)	
				「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）の公共施設への設置を行った。また、「あきる野市自然環境調査報告書（平成21年度～23年度）」を図書館等で閲覧できるようにするとともに、学校等へ配布した。さらに、「生物多様性あきる野戦略」の施策の一つとして、小中学校で使用できる「副読本の作成」を位置付けた。	A		「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）の公共施設への設置を継続する。また、「あきる野市自然環境調査報告書（平成21年度～23年度）」の図書館等での公開を継続する。「生物多様性あきる野戦略」に施策として示した「副読本の作成」については、「（仮）生物多様性保全条例の制定」など、生物多様性に関する施策の基礎となる施策を進めるなかで、実現に向けて段階的に検討を進める。		環境政策課 (環境政策係)	
			都民や市民への広報活動（文化財図書等の発行）	東京都文化財ウィークに参加するとともに、所有者に呼びかけ、南沢鳥の巣石灰層等の公開を支援し、特質ある地形・地質の周知を図った。また、ミエソウの化石複製の展示を行った。また、自然関連書籍を多摩郷土誌フェアにおいて販売し、PRを行い、天然記念物や地形の特質等の周知を図るとともに保全意識の啓発の機会とした。	A	A	東京都文化財ウィークに参加するとともに、所有者に呼びかけ、南沢鳥の巣石灰層等の公開を支援し、特質ある地形・地質の周知を図った。また、ミエソウの化石複製の展示を行った。また、自然関連書籍を多摩郷土誌フェアにおいて販売し、PRを行い、天然記念物や地形の特質等の周知を図るとともに保全意識の啓発の機会とする。		生涯学習スポーツ課 (H24：生涯学習推進課)	
				「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）の配布を行った。また、「あきる野市自然環境調査報告書（平成21年度～23年度）」を図書館等の公共施設で閲覧できるようにするとともに、市ホームページで公表した。	A		リーフレットの配布を継続する。また、自然環境調査報告書を図書館等の公共施設で閲覧できるようにするとともに、市ホームページで公表する。		環境政策課 (環境政策係)	

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成26年度		平成27年度予定		担当課
					実績	評価	予定・進捗		
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	地質・地形の保存と活用	文化財講座等の開催（市民カレッジ、市民解説員の活動推進）	自然に関わる写真展や資料の展示を行い、地形・地質等の特性についての環境保全啓発の機会とした。	A	A	自然に関わる写真展や資料の展示を行い、地形・地質等の特性についての環境保全啓発の機会とする。	生涯学習スポーツ課（H24：生涯学習推進課）
				市民カレッジ等（主に市民解説員養成講座）・市内探訪（市民解説員による市内案内）を32回実施した。	A	市民カレッジ等（主に市民解説員養成講座）・市内探訪（市民解説員による市内案内）を33回実施（予定を含む）		生涯学習スポーツ課（H24：公民館）	
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	公害の防止	環境に関する情報の収集・公開（広報等）	国、都などの情報収集に努め、必要に応じて広報や市ホームページで情報を公開している。	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課（生活環境係）
				環境関連講座の開催	実施していない	B	B	実施予定なし	生活環境課（生活環境係）
				環境調査の実施（項目等の見直し・充実）	これまでと同様に必要な環境調査を実施するとともに、環境の変化に合わせ、項目の見直し等を行っている。	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課（生活環境係）
				自動車による大気汚染の低減（自動車利用の抑制、エコドライブの推奨）	市として次の内容に取り組んだ。 ・市内の短距離移動については、電動アシスト自転車をはじめとする自転車利用を推進する。 ・給油量と給油時の走行距離を把握し、燃費の記録・確認を行う。 ・月末の給油時にタイヤの空気圧確認の呼びかけを行う。 ・エコドライブ実践中ステッカーを庁用車に貼付する。 ・産業祭「環境展」において来場者を対象にエコドライブ一度チェックを実施するとともに、啓発用ステッカーを配布した。 ・市民の模範となるよう職員に対し啓発事業を継続する。	A	A	市として次の内容に取り組む。 ・市内の短距離移動については、電動アシスト自転車をはじめとする自転車利用を推進する。 ・従来実施した燃費の記録やタイヤの空気圧の確認が定着化したことから、新たな普及啓発策を検討する。 ・エコドライブ実践中ステッカーを庁用車に貼付する。 ・産業祭「環境展」において来場者を対象にエコドライブ一度チェックを実施するとともに、啓発用ステッカーを配布した。 ・市民の模範となるよう職員に対し啓発事業を継続する。	環境政策課（環境政策係）
				本庁舎の庁用自動車の燃料使用量の削減に努め、平成25年度比で965.6ℓ（3.06％）減少した。その他21の外部施設については、25年度比で2,714.1ℓ（91.76％）増加しており、本庁舎と合わせた全体では、1,748.5ℓ（5.07％）増加した。今年度より、五日市出張所を計測対象に加えたため、全体及び外部施設の数値が増加した。	A			公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、CO2の排出量の削減（庁用自転車活用を含め）を推進する。	
				公共交通機関等の利用促進（駐輪場の整備、るのバス等の充実）	会議回数：11回 JR五日市線複線化促進協議会等の活動を通じて、JR五日市線の要望活動など、公共交通の利便性向上に取り組んでいる。	A	A	JR五日市線複線化促進協議会等の活動を通じ、JR五日市線の改善要望など、公共交通の利便性の向上に取り組む。	企画政策課
					引き続き、「低排出ガス重量車」に認定されている車両の運行を継続する（平成23年度購入車両：るのバス）。	A		引き続き、「低排出ガス重量車」に認定されている車両の運行を継続する（平成23年度購入車両：るのバス）。	地域防災課
				低公害車の率先導入	引き続き、「低排出ガス重量車」に認定されている車両の運行を継続した。	A	A	引き続き、「低排出ガス重量車」に認定されている車両の運行を継続する。	地域防災課
					低公害車を6台導入した。	A		低公害車4台の導入予定	総務課

分野	方針	施策		関連する施策・事業		平成26年度		平成27年度予定		担当課	
						実績		評価			予定・進捗
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	公害の防止	低公害車の普及・啓発（情報提供）		東京都等を通じて寄せられる低公害車・低燃費車の情報や融資制度等、必要に応じて情報提供を図った。		A	A	平成26年度と同様である。	環境政策課 （環境政策係）
				粉じん防止対策の充実		粉じん苦情件数：3件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して粉じん発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。		A	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して粉じん発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	生活環境課 （生活環境係）
				悪臭防止対策の充実		悪臭苦情件数：7件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して悪臭発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。		A	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して悪臭発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	生活環境課 （生活環境係）
		重点	公害の防止	事業所排水対策	排水水質調査・是正指導	水質汚濁防止法の特定施設に該当する事業所に対し、排水の水質調査を実施した結果、環境基準を超過した事業所はなかった。		A	A	水質汚濁防止法の特定施設に該当する事業所に対し、排水の水質調査を実施する。	生活環境課 （生活環境係）
				生活排水対策	下水道への接続啓発・普及	広報、接続依頼通知の発送及び戸別訪問を行った。		A	A	広報、接続依頼通知の発送及び戸別訪問によるチラシの配布を予定。	管理課 （H24：下水道課）
					下水道の整備	下水道の整備面積約3ヘクタールを実施した。		A	A	下水道の整備面積約2ヘクタールを実施する予定である。	管理課 （H24：下水道課）
					合併処理浄化槽の設置補助（補助金）	合併処理浄化槽設置補助件数：8件 既存単独浄化槽撤去補助件数：0基 生活排水対策の一環として、国、都、市で下水道設置認可区域外における合併処理浄化槽設置に補助金を交付した。		A	A	制度等については、前年度と同様である。 補助件数として、 設置補助基数：13基（予定） 単独浄化槽撤去補助：1基（予定）	生活環境課 （生活環境係）
				一般	公害の防止	家庭・事業所排水対策（普及・啓発の実施）		水質汚濁（排水に係るもの）苦情件数：2件 合併処理浄化槽設置補助金の交付等を通じて適切な排水処理について啓発を図るとともに、苦情が発生した際には必要な指導を行い、改善を求めている。		A	A
		下水道事業認可区域外の地域における汚水処理施設設置検討				設置に向けて検討を行った。		B	B	引き続き検討を行う。	管理課 （H24：下水道課）
		工場・事業場からの騒音防止対策の充実				工場・事業場に関する騒音苦情件数：7件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して騒音発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。		A	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して騒音発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	生活環境課 （生活環境係）
		道路交通騒音対策の実施（都等への要望）				実施なし		C	C	要望に応じて実施する。	建設課
		近隣騒音防止対策の充実（啓発・指導）				近接騒音苦情件数：11件 苦情が発生した際に、現地を確認のうえ、必要な指導等を行っている。		A	A	苦情が発生した際に、現地を確認のうえ、必要な指導等を行う。	生活環境課 （生活環境係）

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成26年度		平成27年度予定		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	公害の防止	航空騒音対策の実施（関係機関への要請）	苦情件数：51件 苦情が寄せられた際に騒音発生の時間帯等を把握し、横田防衛事務所に確認するとともに、配慮を要望する。 未然防止措置としては、市の行事等を事前に横田防衛事務所に伝え、訓練計画策定の際に配慮を要請する。 また、国に対し、防衛施設周辺整備全国協議会を通じて騒音や訓練等の対策に関する要望をしている。	A	A	苦情件数：8件 （平成27年5月20日現在） 苦情が寄せられた際に騒音発生の時間帯等を把握し、横田防衛事務所に確認するとともに、配慮を要望する。 未然防止措置としては、市の行事等を事前に横田防衛事務所に伝え、訓練計画策定の際に配慮を要請する。また、国に対し、防衛施設周辺整備全国協議会を通じて騒音や訓練等の対策に関する要望をしていく。	企画政策課
				有害化学物質に係る情報の充実（情報提供）	東京都等を通じて寄せられる有害化学物質の情報等について、必要に応じて周知を図っている。	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 （生活環境係）
				有害化学物質の使用の適正化の促進（届出に係る指導）	有害化学物質使用届出件数：13件 有害化学物質を使用している事業者に対し、毎年、使用量報告を提出してもらい、使用の適正化を推進している。	A	A	有害化学物質使用届出件数：13件（目安） 平成26年度と同様である。	生活環境課 （生活環境係）
				振動防止対策の充実（苦情に伴う指導）	振動苦情件数：0件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して振動発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して振動発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	生活環境課 （生活環境係）
				土壌汚染防止対策の実施（指導や調査の奨励）	土壌汚染調査結果報告書提出件数：1件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、有害化学物質を取り扱っていた工場等を撤去する際に、土壌汚染調査の実施及び報告の提出等を指導している。	A	A	土壌汚染調査結果報告書提出件数：1件（予定） 都条例である「環境確保条例」等に基づき、有害化学物質を取り扱っていた工場等を撤去する際に、土壌汚染調査の実施及び報告の提出等を指導する。	生活環境課 （生活環境係）
				家畜のふん尿等の衛生管理の推進（指導、巡回・指導、排せつ物処理施設）	・畜産農家の巡回指導を実施した。 ・畜産衛生管理に対する補助金により支援した。	A	A	・畜産農家の巡回指導、畜産衛生管理に対する補助金の支援を継続する。	農林課
				地下水保全対策の充実（揚水規制）	地下水揚水量報告書提出件数：18件 一定規模以上の揚水施設を設置する際は届出書を提出してもらおうとともに、毎年、揚水量報告書を提出してもらい、適正な地下水の揚水に努めてもらっている。	A	A	地下水揚水量報告書提出件数：18件（予定） 平成26年度と同様である。	生活環境課 （生活環境係）
					かん水施設管理組合が維持管理している。	A		引き続きかん水施設管理組合が維持管理していく。	農林課
				光害防止対策の研究	光害に対する苦情件数：0件 現在のところ、光害に対する苦情は寄せられていないが、国のガイドラインの内容の把握など、研究に努めている。	A	A	国のガイドラインの内容の把握など、研究に努める。	生活環境課 （生活環境係）

分野	方針	施策		関連する施策・事業		平成26年度		平成27年度予定		担当課
						実績		評価		
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	重点	循環型社会構築の推進	「ごみ会議」の運営・推進	・全体会議開催10回 ・情報誌「へらすぞう」編集会議 ・西秋川衛生組合新炉見学会 ・情報誌「へらすぞう」の発行 ・生ごみ堆肥化講習会の開催 ・リサイクルフェアへの参加 ・夏休み親子教室（ダンボスト）	A	A	・全体会議開催9回 ・情報誌「へらすぞう」編集会議 ・情報誌「へらすぞう」の発行 ・生ごみ堆肥化講習会の開催 ・リサイクルフェアへの参加 ・夏休み親子教室（ダンボスト）	生活環境課 （清掃・リサイクル係）	
				ごみ減量・リサイクル意識の啓発（情報誌「へらすぞう」の発行等）	ごみの減量、資源化をはじめとする環境問題の啓発を目的にリサイクルフェアを年2回実施。フリーマーケット、不要家具等の再利用コーナー、修理やさんコーナー（玩具・包丁砥ぎ）、秋には、環境問題啓発ポスター展示を実施。情報誌「へらすぞう」発行1回	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）	
				落ち葉の堆肥化の推進	NPO横沢入タンポの会の協力を得て、横沢入に堆肥化枠を新たに1基設置した。	A	A	平成26年度と同様に、横沢入に堆肥化枠を新たに1基設置する見込みである。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）	
		一般	循環型社会の構築	グリーン購入の推進（考え方や商品等の紹介・PR）	リサイクルフェアでパネル展示等で、周知を図った。	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）	
				省資源（レジ袋削減・簡易包装等）・ロングライフ（長寿命）化の推進（情報提	リサイクルフェア及びへらすぞうで啓発した。	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）	
				エコショップ認定制度の検討	実施していない	C	C	実施予定なし	生活環境課 （清掃・リサイクル係）	
					実施していない	C		実施していない	観光商工課	
				リサイクルフェアの実施	ごみの減量、資源化をはじめとする環境問題の啓発を目的に年2回実施。フリーマーケット、不要家具等の再利用コーナー、修理やさんコーナー（玩具・包丁砥ぎ）秋には、環境問題啓発ポスター展示等を実施	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）	
				廃食油石けんづくりの普及	廃食油を利用した石けんづくりは、2団体（年間13回）が実施しており、秋のリサイクルフェアでは、来場者に配布し、普及を図っている。	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 （生活環境係）	
				生ごみリサイクルの促進（生ごみ処理機導入補助・EM菌バケツ貸出）	生ごみ堆肥化処理機器購入費の補助及びEM菌バケツ貸与、段ボール方式生ごみ処理講習会の実施 コンポスト 9基 EM菌バケツ 95世帯 184個	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）	
				省資源型経営の推奨	実施していない	C	C	実施予定なし	生活環境課 （清掃・リサイクル係）	
				ごみの戸別収集・有料化	平成16年4月からごみの戸別収集・有料化を継続実施している。 ・総収集量 23,337 t（平成25年度）→23,877 t（平成26年度） ・燃やせるごみ 15,289 t（平成25年度）→18,266 t（平成26年度） ・燃やせないごみ 2,599 t（平成25年度）→ 359 t（平成26年度）	A	A	ごみの戸別収集・有料化を継続する。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成26年度			平成27年度予定		担当課
				実績	評価		予定・進捗		
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	循環型社会の構築	資源集団回収の実施	ごみの減量、資源化を推進し資源循環型社会の推進を図る。 111団体 回収量1,991トン	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
				ペットボトル等拠点回収実施	毎週2回拠点回収する。 ・A地区 回収箇所 53箇所／回収日数 104日 ・B地区 回収箇所 67箇所／回収日数 104日 回収量 計123トン	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
				新たなリサイクルシステムの検討	平成28年度に予定しているリサイクルセンター稼働に向けて検討を行っている。	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
				剪定枝等のリサイクル方法の検討	落ち葉の堆肥化作を市内5箇所に設置している(うち1箇所は、平成26年度設置)。	A	A	平成27年度も継続していく(1箇所設置予定)。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
				放置自転車リサイクルの実施	市が管理する自転車等駐車場に放置された自転車18台を公共若しくは公共的団体に無償譲渡し、28台を民間業者に売却し再活用してもらっている。	A	A	引き続き、公共的・民間的活用により再利用に取り組む。	地域防災課
				環境低負荷型の収集の実現 (効率的な収集ルートを選定、収集車の	委託事業により、環境低負荷型の収集を行った。	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
				ごみ焼却に伴う環境負荷の低減 (ダイオキシン類の発生抑制等)	市のごみは、西秋川衛生組合の焼却場で焼却処理しているが、環境基準に対応するよう施設の管理をしている。	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
				清掃工場の適正管理	西秋川衛生組合において、環境基準に対応するよう定期的に施設の点検・整備を行っている。	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
	身近な自然を生かしたまちの創造	一般	市街地における緑の確保	公園の整備の推進	各公園にさつき等の植樹をした。(大塚原っぱ公園、さくら公園、もくせい公園、萩野公園、横吹公園)	A	A	各公園に植樹を予定	管理課
					実施なし	C		実施予定なし	建設課
					実施していない	C		実施予定なし	区画整理推進室
				緑化の推進(開発時の緑化指導)	「生物多様性あきる野戦略」において、市街地における緑として、街路樹や公共施設の緑の重要性を位置付け、緑の充実や拡大を図っていくこととした。	B	A	「生物多様性あきる野戦略」を推進するなかで、街路樹や公共施設の緑の重要性について普及啓発を進め、緑の充実や拡大を進めていく。	環境政策課 (環境政策係)
					ふるさとの緑地保全条例に基づき、緑化指導を行った。	A		平成26年度と同様である。	環境政策課 (環境政策係)
				開発指導要綱に基づき指導。	A	開発指導要綱に基づき指導を行う。	都市計画課		
				緑化の効果のPR	公共施設でグリーンカーテン用のゴーヤの種を配布した。 また、環境委員会との連携により、春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの苗(3ポット×300人)及び種(150袋)を配布するとともに、グリーンカーテンコンテスト(参加者:個人13、団体3)を実施した。 また、「地球温暖化対策地域推進計画」の施策の一つとして、グリーンカーテンを位置付け、概要版の配布により普及啓発を行った。	A	A	公共施設でグリーンカーテン用のゴーヤの種を配布する。また、春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの苗及び種を配布する。前年に引き続きグリーンカーテンコンテストを実施する。 また、グリーンカーテンの外観などに着目し、より幅広い主体がグリーンカーテンに関心を持つよう、グリーンカーテンフォトの募集を行う。	環境政策課 (環境政策係)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成26年度				平成27年度予定		担当課	
				実績		評価		予定・進捗			
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	重点	市街地における緑の確保	地元野菜の普及・活用（食育）	施設園芸（温室等）化	要望調査を実施した（26年度は希望無し）。3直売所の農作物売上調査を実施した。		A	A	要望調査、3直売所の農作物売上調査を継続して実施する。	農林課
					保育園給食等への供給検討・実施	学校給食へ導入している。		A	A	平成26年度と同様に継続して実施する。	農林課
					地元産野菜を題材にした食育の推進	学校給食に地元産野菜を使用した。 ・提供野菜 人参、玉ねぎ、長ねぎ、なす、かぼちゃ、さつまい芋、白菜、大根、ごぼう、のらぼう菜、トウモロコシ 他	A	A	平成26年度と同様に継続して実施する。	農林課	
						簡単料理レシピの講習会（3回）、地域講習会（2回）、出前講座（2回）を開催 ファーマーズセンター等へ「旬クッキングレシピ」を設置。（季節に合わせて4回実施）	A		簡単料理レシピの講習会等を通じて地場野菜の地産地消を進める。 ファーマーズセンター等へ「旬クッキングレシピ」を設置。（季節に合わせて4回実施）	健康課	
						農業の振興・支援	後継者の育成支援 先進地視察の実施 農業委員会との意見交換会の実施	A	A	補助金の支援 先進地視察の実施 農業委員会との意見交換会の実施	農林課
					獣害防止対策の実施（被害状況のモニタリング、電気柵設置）		あきる野の農と生態系を守り隊を支援し、捕獲従事者の育成・確保をすすめた。 獣害防止対策の実施（被害状況の調査、電気柵の貸し出し） わな免許取得の支援等を実施した。 JA秋川と連携し、電気柵の購入支援を実施した。	A	A	継続してあきる野の農と生態系を守り隊を発足し、猟友会会員などの捕獲従事者の育成・確保を図る。 獣害防止対策の実施（被害状況の調査、電気柵の貸し出し） わな免許取得の支援等を継続実施する。	農林課
				農地の適正管理と活用			生産緑地制度の推進・管理・追加指定（希望者把握・協議）	A		A	農地パトロールを実施し、不耕作地の指導をする。 定期的なパトロールは年1回実施する。 生産緑地の追加指定を随時実施している。
					申請に基づき、生産緑地を追加指定した。	A	申請に基づき、手続きを行う。	都市計画課			
					市民農園制度の活用 ・取組方策の検討（遊休農地の活用ほか）	1区画100㎡の研修農園（市民農園）を新規就農を目指す者に貸し出し、あきる野農業の新たな担い手として育成している。 市民農園利用者に農業講習会を2回実施した。	A	A	規模の大きい農園を継続して研修等に活用する。 市民農園利用者を対象に年2回の講習会を開催する。	農林課	
		一般	保存樹木・保存緑地の指定	平成26年度では、新たな保存緑地の指定はなかった。	A	A	保存緑地の指定を推進する。	環境政策課（環境政策係）			
			みどりの大切さのPR	「生物多様性あきる野戦略」や「地球温暖化対策地域推進計画」において、各々の計画の趣旨から緑の重要性を示した。	A	A	「生物多様性あきる野戦略」や「地球温暖化対策地域推進計画」の推進に伴い、機会を捉えて緑の重要性についてPRを行う。	環境政策課（環境政策係）			

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成26年度				平成27年度予定		担当課
				実績		評価		予定・進捗		
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	重点	市民参加による清流の保全	清流保全協力員活動（看板の設置等）	清流保全条例に基づき設置した清流保全協力員の協力ののもと、河川パトロール、水質調査（COD）、ホタルの生息状況調査等を実施している。	A	A	平成26年度と同様である。		生活環境課（生活環境係）
				市民参加型イベントの検討・実施	自然環境調査において、市民参加型の水生生物調査「ガサガサで生き物調べ」を実施した。（9月6日）	A	A	自然環境調査において、市民参加型の水生生物調査「ガサガサで生き物調べ」を実施予定。		環境政策課（環境政策係）
				活動の公表の検討	「生物多様性あきる野戦略」の施策の一つとして、活動団体の情報共有化や情報発信の場の創出について示した。	B	A	「生物多様性あきる野戦略」に示す各種施策を推進するなかで、本件についても段階的に検討を進めていく。		環境政策課（環境政策係）
					一斉清掃の実施	A		平成26年度と同様である。		生活環境課（生活環境係と清掃・リサイクル係で調整）
				河川景観の整備	河川管理者に依頼し、草刈り等を行った。（3か所）	A	A	平成26年度と同様である。		生活環境課（生活環境係）
					実施なし	C		実施予定なし		建設課
				川遊びのマナー等の向上（マナーの周知・清掃活動・不法投棄防止）	ホームページを活用し、マナー向上の啓発を行っている。また、市民一斉清掃の実施や不法投棄防止パトロールを行い、河川環境の維持に努めた。	A	A	平成26年度と同様である。		生活環境課（生活環境係と清掃・リサイクル係で調整）
			ホタルが棲める川づくり	ホタルが見られる場所の調査	実施していない	C	A	実施予定なし		環境政策課（環境の森推進係）
					自然環境調査部会の昆虫担当が不在となったことから、実施していない。	B		「生物多様性あきる野戦略」において、自然環境調査の継続や内容充実の方向性を示した。具体的な手法については、今年度設置予定である「（仮）生きもの会議」などで検討していく。		環境政策課（環境政策係）
					清流保全協力員により、ホタルの生息状況調査を実施した。	A		過去の調査結果をもとに追跡調査を実施する。		生活環境課（生活環境係）
				ホタルが棲める川づくり（ホタルの保護など）	ホタルが生息している地域の町内会・自治会が中心に実施している河川の清掃などの保全活動やホタルの鑑賞会などの取組について、ホタルの里づくり推進事業補助金を交付し支援をした。支援は、深沢自治会ほたるの会、南郷用水ホタルの会（雨間町内会）、落合自治会ほたるの会及び一の谷地区ほたるの会の4団体である。また、圏央道のトンネル上部に設置された菅生公園については、区域内に水路もありホタルが生息しているため、菅生ホタルの里づくりの会に対し、公園内の清掃等や水路の美化等によるホタルの保全活動を業務委託している。	A	A	平成26年度の取組を継続する。		環境政策課（環境の森推進係）
					実施していない 「生物多様性あきる野戦略」では、ホタルを含む様々な生きものが生息・生育できる河川環境の向上を施策として位置付けている。	B		ホタルに特化した取組の実施予定はないが、「生物多様性あきる野戦略」に基づき、様々な生きものが生息・生育できる河川環境の創出に向けて取組を進めていく。		環境政策課（環境政策係）

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成26年度				平成27年度予定		担当課
					実績		評価		予定・進捗		
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	重点	魅力ある川づくり	子どもの水辺事業の推進	平井川子どもの水辺協議会への参画 ・会議の開催支援と出席（1回 7月28日） ・自然かんさつ仲間の募集チラシ等の配布協力、カレンダーの掲示	A	A	平井川子どもの水辺協議会への参画 ・会議の開催支援と出席（1回期日未定） ・自然かんさつ仲間の募集チラシ等の配布協力、カレンダーの掲示	生涯学習スポーツ課 （H24：生涯学習推進課）		
				親水散策路の整備の推進（再掲）	実施なし	C	C	実施予定なし	建設課		
		一般		あきる野百景の保全・活用の検討	観光商工課において「みんなで歩くあきる野百景めぐり」のパンフレットを配布・活用しながら、観光ボランティアの取組を実施した。	A	A	観光商工課において「みんなで歩くあきる野百景めぐり」のパンフレットを配布・活用しながら、観光ボランティアの取組を実施する。	環境政策課 （環境政策係）		
				散策路・遊歩道の整備（親水散策路の整備：再掲）	分かれ道等に誘導標識を設置した。	A	A	必要に応じて対応を図る。	観光商工課		
					誘導標識を設置したほか、景観整備のための草刈や林道内の広場整備を行った。	A		市内の散策ルートについて、雑草の処理及び誘導標識の設置等の対応を図る。	観光まちづくり活動課 （H25～）		
					実施なし	C		実施予定なし	建設課		
	水と緑のマップの充実	「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）の無料配布、「あきる野市自然環境調査報告書（平成21年度～23年度）」の公開により、市民への周知を進めた。 また、「生物多様性あきる野戦略」においても、生物多様性の情報発信の観点から、各種リーフレットなどの作成や水と緑のマップの充実を施策の一つとして位置付けている。	A	A	「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）の無料配布、「あきる野市自然環境調査報告書（平成21年度～23年度）」の公開により、市民への周知を進める。また、「生物多様性あきる野戦略」の推進を通じて、生物多様性の施策の基盤となる各種施策（仮）生物多様性保全条例の制定など）の進捗状況をみながら、リーフレットの作成などを段階的に検討していく。	環境政策課 （環境政策係）					
	美しく清潔なまちの形成	重点	景観の整備	良好な街並みづくり（地区計画） （区画整理事業区域・線引き変更箇所）	・都市計画決定への資料作成 ・事業認可への資料作成 ・まちづくり協議会の開催（計5回開催）	A	A	・事業認可への資料作成 ・まちづくり協議会の開催（計6回開催）	区画整理推進室		
					武蔵引田駅周辺地区において、土地区画整理事業の都市計画変更手続を行った。	A		他地区の都市計画を検討する。	都市計画課 区画整理推進室		
				歩きやすいみちづくり（散策路、遊歩道の整備）	実施なし	C	A	実施予定なし	建設課		
					平成26年度は実施していない ※観光まちづくり活動課で対応	A		必要に応じて対応を図る。	観光商工課		
					誘導標識を設置したほか、景観整備のための草刈や林道内の広場整備を行った。	A		景観整備事業として遊歩道の草刈を実施する。	観光まちづくり活動課 （H25～）		
平成26年度においては8つの町内会・自治会により、昔道・尾根道の整備が行われており、9つの自治会により、景観整備が行われている。これらの事業の実施により、武蔵五日市駅から瀬音の湯までのコースをはじめ、既存の登山道などとあわせていくつかのコースが維持されている。これに加え、景観整備により植えられた樹木等は、散策等で訪れる観光客の目を楽しませている。					A	平成26年度の取組を継続する。		環境政策課 （環境の森推進係）			

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成26年度			平成27年度予定		担当課
				実績		評価	予定・進捗		
生活環境	美しく清潔なまちの形成	一般	景観の整備	良好な街並みづくり（地区計画の活用）	武蔵引田駅周辺地区について、新たに地区計画を都市計画決定した。	A	A	他地区の地区計画を追加。	都市計画課
				景観保全・形成の方向性の決定 （都市景観ガイドラインの策定等）	実施していない	C	C	未定	都市計画課
					実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 （環境政策係）
				市民参加型のまちづくりに向けた意識啓発 （a.マナーやルール、b.まちづくり教育・組織づくり）	・二宮まちづくり協議会の開催 （視察研修含む計3回開催） ・引田まちづくり協議会の開催 （計5回開催）	A	A	・二宮まちづくり協議会の開催 （視察研修含む計3回予定） ・引田まちづくり協議会の開催 （計6回予定）	区画整理推進室
					実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 （環境政策係）
				商店街の景観整備	実施していない	C	C	実施予定なし	観光商工課
				まちかど広場等の整備	森ノ下公園（伊奈地内）南側に「森ノ下防災広場」を整備した。	F	F	実施予定なし	建設課
				買い物マップの作成	実施していない	C	C	実施予定なし	観光商工課
				観光スポットのPR	ホームページでの情報発信やパンフレットの設置により、PRを行った。	A	A	ホームページでの情報発信やパンフレットの設置により、PRを図る。	観光商工課
					ホームページ、携帯サイト及びFacebook、LINE等での情報発信やパンフレットの設置により、PRを図った。	A		ホームページ、携帯サイト及びFacebook、LINE等での情報発信やパンフレットの設置により、PRを図る。	観光まちづくり活動課 （H25～）
				不適正な屋外広告物（看板等）の指導、撤去	777枚を撤去した	A	A	1,000枚の撤去を予定している。	管理課
				電線の地中化の検討	実施していない	C	C	実施予定なし	区画整理推進室
					実施していない	C		実施予定なし	管理課
		重点	清潔なまちづくり	たばこ・ごみのポイ捨て防止（意識啓発）	産業祭においてたばこのマナー向上の普及啓発を図った。	B	A	今年度策定を予定している「第二次あきる野市環境基本計画」において、たばこ・ごみのポイ捨て防止に向けた取組のあり方を検討する。また、状況に応じて、喫煙マナーアップキャンペーンの実施などを検討する。	環境政策課 （環境政策係）
					ごみ捨て禁止、不法投棄禁止の看板を配布及び設置している。	A		平成26年度と同様である。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）
				一斉清掃の実施	年2回、春、秋に実施 春16,154人参加 25.45トン収集 秋15,010人参加 33.41トン収集	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）
				ボランティア活動の推進（ボランティア袋の配布、収集ごみ等の回収）	配布箇所 11施設 配布枚数 ・可燃大 1,100組 ・可燃小 245組 ・不燃大 87組 ・不燃小 58組	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成26年度			平成27年度予定		担当課
				実績		評価	予定・進捗		
生活環境	美しく清潔なまちの形成	一般	清潔なまちづくり	ポイ捨て防止などの対策の研究	現状から、新たなポイ捨て防止などの対策の研究はしていない。 ただし、JTなどとの情報交換は継続している。	B	B	今年度策定を予定している「第二次あきる野市環境基本計画」において、たばこ・ごみのポイ捨て防止に向けた取組のあり方を検討する。また、たばこ・ごみのポイ捨て防止に向けた方策の情報収集を継続するとともに、近隣自治体の動向などを注視する。	環境政策課 （環境政策係）
					実施していない	C	実施予定なし	生活環境課 （清掃・リサイクル係）	
				不法投棄防止対策の充実	シルバー人材センターに委託し、不法投棄防止バトロールの実施及び不法投棄がしやすい場所に不法投棄防止の看板を設置している。	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）
				ごみ会議の開催	・全体会議開催10回 ・情報誌「へらすぞう」編集会議 ・西秋川衛生組合新炉見学会 ・情報誌「へらすぞう」の発行 ・生ごみ堆肥化講習会の開催 ・リサイクルフェアへの参加 ・夏休み親子教室（ダンボスト）など	A	A	・全体会議開催9回 ・情報誌「へらすぞう」編集会議 ・情報誌「へらすぞう」の発行 ・生ごみ堆肥化講習会の開催 ・リサイクルフェアへの参加 ・夏休み親子教室（ダンボスト）	生活環境課 （清掃・リサイクル係）
				道路・公園・公共建物等の適正管理の実施	街路樹の剪定、道路の路面清掃、道路側溝等の清掃を行った。	A	A	街路樹の剪定、道路の路面清掃、道路側溝等の清掃を行う。	建設課
					アダプト制度の導入により、市民団体等による管理を実施した。 昨年度より1団体増加し全体で7団体。	A		アダプト制度の登録団体の更なる拡大を行い、市民団体等による管理を実施する。	管理課
					一斉清掃の実施や、ボランティアとして清掃する方にボランティア袋の配布を行った。	A		平成26年度と同様である。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）
				空き地の適正管理	あき地の適正管理に対する苦情件数：17件 あき地の管理適正化に関する条例に基づき、管理のされていないあき地の所有者に対し、草刈り等を実施するよう指導している。	A	A	あき地の適正管理に対する苦情件数：20件（予定） 平成26年度と同様である。	生活環境課 （生活環境係）
				ペットの飼い方等の意識啓発	広報紙等によりペットの飼い方等の啓発活動を実施した。	A	A	平成26年度と同様に継続実施する。	健康課
				苦情対策	ペットに関する苦情件数：2件 ペットに関する苦情については、東京都や健康課と連携し、対応しているところであり、環境衛生の観点から、可能な範囲で、飼い主に対して適正な飼育の依頼をしている。	A	A	ペットに関する苦情件数：2件（予定） 平成26年度と同様である。	生活環境課 （生活環境係）
					（犬のフン、鳴き声の苦情）苦情者等に啓発用注意看板（小看板）を配布、また、広報紙等によりマナーを守るよう啓発活動を実施した。	A		平成26年度と同様に継続実施する。	健康課

分野	方針	施策		関連する施策・事業		平成26年度				平成27年度予定		担当課
						実績		評価		予定・進捗		
エネルギー環境	省エネルギーの推進	重点	市全体での省エネルギーの推進	地球温暖化対策地域推進計画の策定		「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」を策定するとともに、概要版を配布し、周知を図った。		F	F			環境政策課 （環境政策係）
		一般		市全域の温室効果ガス排出量の把握		345,000 t-CO ₂ eq（2012年） ※出典：オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」温室効果ガス排出量算定結果：多摩地域の温室効果ガス排出量（1990年度～2012年度）		A	A	オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において温室効果ガス排出量を算定する。		環境政策課 （環境政策係）
		重点		省エネ教育の推進	学校での教育プログラムの実施	節電、節水に関する授業を全校で取り組んだ。また、ゴーヤなどの育成を通して省エネ教育に取り組んだ。		A	A	環境教育の授業を全校で取り組む。		指導室
					事業所への働きかけ	「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」の概要版を配布し、事業者における地球温暖化対策を呼びかけた。また、グリーンカーテンコンテストを実施し、事業所の参画を呼びかけた。		B	B	事業所における省エネルギーにつながる各種情報を発信するとともに、商工会に情報提供を行う。		環境政策課 （環境政策係）
				制度の検討		国や都、他自治体の取組について情報収集を行うとともに、地球温暖化対策地域推進計画に基づき、住宅の新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助事業などの支援措置を実施した。		A	A	国や都、他自治体の取組について情報収集を行うとともに、地球温暖化対策地域推進計画に基づき、住宅の新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助事業などの支援措置を実施する。		環境政策課 （環境政策係）
				カーボン・オフセットの活用	現行の取組の把握・整理・検証	実施していない		C	B	実施予定なし		農林課
						実施していない		B		実施予定なし		環境政策課 （環境政策係）
					広域的な連携による研究	実施していない		C	B	実施予定なし		農林課
						実施していない		B		実施予定なし		環境政策課 （環境政策係）
					森づくりと連携したカーボン・オフセットの仕組みづくり・活用の検討	港区や新宿区の取組に対し、森林の提供を行った。		A	A	港区や新宿区の取組に対し、森林の提供を行う。		農林課
						実施していない		C		実施予定なし		環境政策課 （環境政策係）
		重点	自動車対策	エコドライブの普及・啓発	各種支援制度の利用等の検討	各種支援制度の情報収取に努めた。		C	C	継続して各種支援制度の情報収取に努める。		環境政策課 （環境政策係）

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成26年度			平成27年度予定		担当課	
				実績		評価	予定・進捗			
エネルギー環境	省エネルギーの推進	重点	自動車対策	エコドライブの普及・啓発	啓発の実施	・市内の短距離移動について、電動アシスト自転車をはじめとする自転車利用を推進した。 ・給油量と給油時の走行距離を把握し、燃費の記録・確認を行った。 ・月末の給油時にタイヤの空気圧確認の呼びかけを行った。 ・産業祭「環境展」において、「わたしのエコドライブ宣言」を実施し、啓発用ステッカーを配布した。 ・ホームページに掲載して「わたしのエコドライブ宣言」を募集し、啓発用ステッカーを配布した。	A	A	・引き続き市内の短距離移動について、電動アシスト自転車等の利用を推進する。 ・従来実施した燃費の記録やタイヤの空気圧の確認が定着化したことから、新たな普及啓発策を検討する。 ・エコドライブ実践中ステッカーを庁用車に貼付する。 ・産業祭「環境展」において普及啓発事業を実施する。 ・市民の模範となるよう職員に対し普及事業を行う。 ・「わたしのエコドライブ宣言」実施者を募集し、広く普及啓発に努める。	環境政策課（環境政策係）
					講習会（座学・実技）等の開催	総務課、環境政策課との連携により、給油量をグラフ化し、フィードバックする取組を行うとともに、新たな方策の検討に向けての情報収集等を行った。	A	A	総務課、環境政策課との連携により、新たな普及啓発の方法を検討し、実施する。（例：6月の「環境月間」、11月の「エコドライブ月間」に意識啓発の呼びかけを行うなど）	環境政策課（環境政策係）
						公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づく毎月のチェックリストにより各職員に自己点検させると共に、内部監査でエコドライブの把握状況の確認をした。また、毎月の庁用自動車の点検時にも総務課長から指導している。	A		公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、啓発、普及をしていくと共に市民の模範となるよう職員に対し毎月の庁用自動車の点検時に総務課長から指導していく。	総務課
						また、総務課、環境政策課との連携により、給油量をグラフ化し、フィードバックする取組を行うとともに、新たな方策の検討に向けての情報収集等を行った。	A		また、総務課、環境政策課との連携により、新たな普及啓発の方法を検討し、実施する。（例：6月の「環境月間」、11月の「エコドライブ月間」に意識啓発の呼びかけを行うなど）	職員課
			自転車利用の促進	施設整備の実施	実施していない	C	C	JR五日市線東秋留駅南口における自転車等駐車場の整備に取り組む。	地域防災課	
					実施なし	C		実施予定なし	建設課	
			一般	自動車優遇方策の検討	実施していない	B	B	実施予定なし	環境政策課（環境政策係）	
		「車に乗らない日」の普及・啓発			実施していない	C	C	実施予定なし	環境政策課（環境政策係）	
		公共交通機関の利用促進			実施していない	C	A	実施予定なし	環境政策課（環境政策係）	
					会議回数：1 1 回 JR五日市線複線化促進協議会等の活動を通じて、JR五日市線の要望活動など、公共交通の利便性向上に取り組んでいる。	A		JR五日市線複線化促進協議会等の活動を通じ、JR五日市線の改善要望など、公共交通の利便性の向上に取り組む。	企画政策課	
			自転車専用のインフラ整備	実施なし	C	C	一部路線に自転車専用走行帯を設置予定。	建設課		

分野	方針	施策		関連する施策・事業		平成26年度		平成27年度予定		担当課
						実績	評価	予定・進捗		
エネルギー環境	省エネルギーの推進	一般	自動車対策	低公害車の率先導入（再掲）	低公害車を6台導入した。	A	A	低公害車4台の導入予定	総務課	
					引き続き、「低排出ガス重量車」に認定されている車両の運行を継続した。	A		引き続き、「低排出ガス重量車」に認定されている車両の運行を継続する。	地域防災課	
				低公害車の普及・啓発（再掲）	東京都等を通じて寄せられる低公害車・低燃費車の情報や融資制度等、必要に応じて情報提供を図った。	A	A	平成26年度と同様である。	環境政策課（環境政策係）	
				燃料電池車両の開発動向に対応した施策の実施 （エコエネルギーステーションの設置研究ほか）	MIRAIの発売に伴い、導入可能性について検討した。	B	B	情報収集を行う。	環境政策課（環境政策係）	
					情報収集に努めた。	C		情報収集に努める。	企画政策課	
		重点	電力使用量の削減	省エネルギー対策の普及・啓発	情報提供と協力呼びかけ	春のリサイクルフェアにおいて、太陽光発電システム等の紹介及び市補助金制度の周知を図った。 夏の省エネ・節電対策の一環としてグリーンカーテンの取組を推奨するとともに、グリーンカーテンコンテストを開催した。 省エネモニターの取組をホームページ等により市民へ周知した。	A	A	春のリサイクルフェアにおいて、太陽光発電システム等の紹介及び市補助金制度の周知を図る。 夏の省エネ・節電対策の一環としてグリーンカーテンの取組を推奨するとともに、グリーンカーテンコンテストを開催する。 また、省エネ型生活10か条の改定を行うとともに、環境家計簿を更新し、全戸配布する。	環境政策課（環境政策係）
						セミナーの開催	「地球温暖化対策地域推進計画」を策定したが、取組の内容は従来のものを充実・拡大していく内容であるため、他の取組との兼ね合いからセミナーは開催せず、概要版の全戸配布を行った。		B	B
				省エネ型生活10か条・環境家計簿の普及	省エネ型生活10か条・環境家計簿の普及	ホームページで周知を図るとともに、省エネモニター登録者へ周知を行った。 また、省エネ型生活10か条及び環境家計簿の更新に向け、産業祭におけるアンケート調査や検討を行った。	A	A	省エネ型生活10か条の改定を行うとともに、環境家計簿を更新し、全戸配布する。	環境政策課（環境政策係）
					省エネモニター制度の実施	新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金の受給者を新たにモニターに登録した。（省エネモニター登録数：継続者99＋新規39＝138世帯）また、モニターには各家庭からのCO2排出量を算定し、フィードバックするとともに、市ホームページにもデータの掲載を行った。	A		A	平成26年度と同様である。
				雨水貯留槽設置の導入促進	雨水貯留槽の設置支援	平成23年度をもって、雨水貯留槽設置費補助金の交付は終了しているが、雨水利用推進法の策定を受け、国の動向を注視した。	F	F	平成26年度と同様である。	環境政策課（環境政策係）

分野	方針	施策		関連する施策・事業		平成26年度				平成27年度予定		担当課
						実績		評価		予定・進捗		
エネルギー環境	省エネルギーの推進	一般	電力使用量の削減	家庭での省エネルギー生活の普及・啓発（エコハウス等の情報提供）		パンフレット等を設置し、周知を図った。 太陽光発電システム等の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行った。 ・補助件数39件（太陽光22・太陽熱1・エコキュート10・エコジョーズ5・エコウィル0・エネファーム1） 節電・省エネの呼びかけを行った。 ・広報・ホームページ掲載、ポスター掲示、パンフレット設置等		A	A	パンフレット等を設置し、周知を図る。 太陽光発電システム等の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行う。 電力受給に対応するため、節電・省エネの呼びかけを継続して行う。		環境政策課（環境政策係）
				事業者への省エネルギー対策の普及・啓発		「地球温暖化対策地域推進計画」の概要版を配布し、事業者における地球温暖化対策を呼びかけた。 また、夏の省エネ・節電対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発を図った。		A	A	商工会で独自に施策を実施しているため、市においては夏の省エネ・節電対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発を行うとともに、コンテストへの参加を呼びかける。 また、都などからもたらされる省エネにつながる制度などの情報提供を行う。		環境政策課（環境政策係）
				事業所のエネルギーマネジメントの普及		「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」の中で、BEMSなどの事業所におけるエネルギーマネジメントの必要性を示した。 また、本件につながる都の施策等について、情報収集を行った。		B	B	都の施策等について情報収集を継続し、本市の特性に対応する施策などは、情報提供を行う。		環境政策課（環境政策係）
				中小事業所や商店に対する普及・啓発		「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」の概要版を配布し、事業者における節電・省エネの普及啓発を行った。		A	A	都の施策等について情報収集を継続し、本市の特性に対応する施策などは、情報提供を行う。		環境政策課（環境政策係）
				公共施設での「あきる野エコ活動」の推進		本庁舎の電気使用量については、平成25年度比で114,950kWh（8.12％）減少した。 また、その他21の外部施設については、25年度比で5,772kWh（0.57％）減少した。		A	A	節電対策と併せ公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、より一層の削減を実施する。		総務課
	新エネルギーの導入	重点	新エネルギー技術の活用	家庭における新エネルギー・省エネルギー機器の導入促進	情報提供と普及促進	平成25年度と同様である。		A	A	平成26年度と同様である。		環境政策課（環境政策係）
				新エネルギー・省エネルギー機器の設置支援	住宅の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行った。（補助件数39件：太陽光22、太陽熱1、エコキュート10、エコジョーズ5、エコウィル0、エネファーム1）	A	A	平成26年度と同様である。		環境政策課（環境政策係）		

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成26年度			平成27年度予定		担当課
					実績		評価		予定・進捗	
エ ネ ル ギ ー 環 境	新エネルギーの導入	一般	新エネルギー技術の活用	事業所での新エネルギーの導入促進	都と連携し、商工会・観光商工課を通じて情報提供を実施した。	A	A	都と連携し、商工会・観光商工課を通じて情報提供を実施していく。	環境政策課 （環境政策係）	
				新エネルギーに関する情報の入手と普及・啓発	「地球温暖化対策地域推進計画」の施策の一つとして、新エネルギー設備・機器の導入などを位置付け、住宅用の新エネルギー機器などの補助事業を継続するとともに、ソーラー屋根台帳の周知など、機器の導入促進につながる情報発信を行った。	A	A	住宅用の新エネルギー機器などの補助事業を継続するとともに、ソーラー屋根台帳の周知など、機器の導入促進につながる情報発信を行う。	環境政策課 （環境政策係）	
				木質バイオマスの利用促進	焼却灰の検査結果により、木質バイオマスボイラーの稼働を一時停止している。	A	A	木質バイオマスボイラーの稼働を検証する。	観光まちづくり活動課 （H25～） （H24：観光商工課）	
					実施していない	C		実施予定なし	農林課	
					実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 （環境政策係）	
				普及啓発・環境教育の実施	木質バイオマスボイラーの稼働を一時停止しているため、視察等の受入れは実施しなかった。	C	C	木質バイオマスボイラーの稼働状況により、視察等の受け入れを検討する。	観光まちづくり活動課 （H25～） （H24：観光商工課）	
					実施していない	C		実施予定なし	農林課	
					実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 （環境政策係）	
		一般	リサイクル型エネルギーの利用	焼却炉の効率的な稼働の促進	平成26年1月から新炉（ガス化溶融炉）本格稼働に伴い、ごみ発電で施設内の電力供給を行うとともに、余剰電力は売電する。	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）	
				ごみ焼却余熱の利用	平成26年1月から新炉（ガス化溶融炉）本格稼働に伴い、ごみ発電で施設内の電力供給を行うとともに、余剰電力は売電する。 1年間発電量 8,621,330kw/ h 売電量 3,172,290kw/ h	A	A	平成26年度と同様である。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）	
					平成26年1月から新炉（ガス化溶融炉）本格稼働に伴い、ごみ発電で施設内の電力供給を行うとともに、余剰電力は売電する。 1年間発電量 8,621,330kw/ h 売電量 3,172,290kw/ h	A		平成26年度と同様である。	西秋川衛生組合	

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成26年度			平成27年度予定		担当課
					実績		評価	予定・進捗		
エネルギー環境	新エネルギーの導入	一般	最新動向の把握及び調査研究	新たな新エネルギー技術の導入検討	実施していない		C	B	実施予定なし	環境政策課 （環境政策係）
					グリーンニューディール基金の活用など、補助制度を含め継続して検討を行った。		B		引き続き情報収集及び検討を行う。	施設営繕課
	森林・緑地の拡大によるCO2の吸収	一般	森林の保全	森林のCO2吸収量に関する普及・啓発	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の登録制度（Uni4m）の追加登録は無く、24業者が登録済である。またあきる野市Uni4mマークを1業者へ発行した。		A	A	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の登録制度（Uni4m）の追加登録を受け付ける。	農林課
					「地球温暖化対策地域推進計画」において、緑の活用による地球温暖化対策を施策として位置付け、郷土の恵みの森づくり事業やグリーンカーテンの普及拡大を進めていくこととした。		B		「地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、郷土の恵みの森づくり事業やグリーンカーテンの普及拡大を進めていく。	環境政策課 （環境政策係）
					小宮ふるさと自然体験学校（旧小宮小学校）での自然体験学習を通して、森林や環境についての興味・関心を高めた。 また、理科や社会科、総合的な学習の時間を通して、環境問題について学習し、各学校においてペットボトルキャップ集めや節電など、身近な環境への取組を実施した。		A		小宮ふるさと自然体験学校（旧小宮小学校）での自然体験を通して、森林や環境に興味をもたせている。 環境問題については、6月を環境月間とし、環境問題への理解を深め、身近な環境を守る取組について考え・実践させる。	指導室
				森林等の適正管理・保全の促進（再掲）	森林再生事業（間伐）を実施した。		A	A	森林再生事業（間伐）を実施する。	農林課
					「生物多様性あきる野戦略」、「地球温暖化対策地域推進計画」において、各々の計画の趣旨に基づき、森林等の適正管理・保全の促進について、施策として位置付けた。		A		「生物多様性あきる野戦略」、「地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、郷土の恵みの森づくり事業などを進める。	環境政策課 （環境政策係）
				総合的な森林保全・再生策の検討（再掲）	森林調査、施行計画、間伐、植栽事業を実施した。		A	A	森林調査、施行計画、間伐、植栽事業を実施する。	農林課
				地域林業の活性化（再掲）	郷土の恵みの森事業による積極的支援を実施した。 あきる野市公共建築物等における多摩産材利用推進方針の検討を行った。		A	A	郷土の恵みの森事業による積極的支援を実施した。 あきる野市公共建築物等における多摩産材利用推進方針を策定し、内部の検討委員会の発足を検討する。	農林課
				材木生産の合理化とブランドイメージの向上	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の登録制度（Uni4m）の追加登録は無く、24業者が登録済である。またあきる野市Uni4mマークを1業者へ発行した。		A	A	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の登録制度（Uni4m）の追加登録を受け付ける。	農林課
					実施していない		C		実施予定なし	観光商工課

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成26年度			平成27年度予定		担当課
					実績		評価	予定・進捗		
エネルギー環境	森林・緑地の拡大によるCO2の吸収	一般	森林の保全	木材加工産業の育成	秋川木材協同組合、あきがわ木工連への支援を実施した。 あきる野市公共建築物等における多摩産材利用推進方針の検討を行った。	A	A	秋川木材協同組合、あきがわ木工連への支援を実施した。 あきる野市公共建築物等における多摩産材利用推進方針を策定し、内部の検討委員会の発足を検討する。	農林課	
					実施していない	C		実施予定なし	観光商工課	
		一般	緑化の推進	街路樹、公園樹木の拡大	実施なし	C	A	実施予定なし	建設課	
					各公園にさつき等の植樹をした。（大塚原っぱ公園、さくら公園、もくせい公園、萩野公園、横吹公園）	A		各公園に植樹を予定	管理課	
					「生物多様性あきる野戦略」、「地球温暖化対策地域推進計画」において、各々の計画の趣旨に基づき、公共施設や街路樹などの緑の充実・拡大について、施策として位置付けた。	B		「生物多様性あきる野戦略」、「地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、郷土の恵みの森づくり事業などを進める。	環境政策課（環境政策係）	
				家庭等での植樹の推進（再掲）	「生物多様性あきる野戦略」、「地球温暖化対策地域推進計画」において、各々の計画の趣旨に基づき、家庭での緑化の推進等を施策として位置付けた。 また、緑化の取組の一つとして、春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの苗・種の配布を行った。	A	A	「生物多様性あきる野戦略」、「地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、グリーンカーテンの普及拡大に向け、ゴーヤの苗・種の配布などを行う。また、従来のコンテストに加え、グリーンカーテンの写真募集などにより、グリーンカーテンに取り組みきっかけづくりを進める。	環境政策課（環境政策係）	
					産業祭において、市民に対し苗木の無料配布を実施した。	A		産業祭において、市民に対し苗木の無料配布を行う。	農林課	
					グリーンリサイクル（落ち葉・剪定枝）の推進	落ち葉の堆肥化作を市内5箇所に設置している。（うち1箇所は、平成26年度設置）	A	A	平成27年度も継続していく。（1基設置予定）	生活環境課（清掃・リサイクル係）
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	一般	情報の共有	「環境白書」の作成・公表	平成25年度環境白書を発行するとともに、ホームページ等で公表した。	A	A	平成26年度環境白書を発行する。	環境政策課（環境政策係）	
				環境に関する情報の収集・公開	国、都などの情報収集に努め、必要に応じて広報や市ホームページで情報を公開している。	A	A	平成26年度と同様である。	環境政策課（環境政策係）	
					環境に関する資料を104冊受入・登録した。	A		環境に関する資料を100冊程度受入・登録する	図書館	
				研究・活動実績等の発表の場づくり	「生物多様性あきる野戦略」や「地球温暖化対策地域推進計画」において、研究・活動実績の発表の場づくりを施策として位置付けた。	A	A	「生物多様性あきる野戦略」や「地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、他の優先すべき施策との兼ね合いを考慮しながら、場づくりの実現に向けて段階的に検討していく。	環境政策課（環境政策係）	
				環境情報サイトの立ち上げ	市の環境調査結果をホームページで公表している。また必要に応じてホームページや広報で情報を提供した。	B	B	ホームページ等で情報提供を行っていく。	環境政策課（環境政策係）	

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成26年度			平成27年度予定		担当課
					実績		評価	予定・進捗		
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	一般	情報の共有	環境情報コーナー等の機能整備の検討	実施していない	C	A	実施予定なし	環境政策課（環境政策係）	
					中央図書館2階、展示コーナーで、6月の環境月間に合わせて「暮らしと環境」をテーマに関連図書・資料の展示・紹介を行った。	A		中央図書館2階、展示コーナーで、6月の環境月間、6月5日の環境の日を意識してもらえるテーマを設定し、資料の展示を行う。	図書館	
		重点	環境教育の推進	環境教育の場の充実	自然環境調査において観察会等を実施した。 ・ガサガサで生き物調べ（9月6日）	A	A	自然環境調査において観察会等を実施予定	環境政策課（環境政策係）	
					森林レンジャーあきる野が、小学生を対象として、森歩きを行いながら森、動物、植物についての体験学習を行った（市内小学校10校、市外1校）。また、森林レンジャーあきる野とともに学び、森づくりを行う子どもたちを森の子レンジャーとして組織（小学校4年生から6年生までの20人）し、1年間、四季を通じて森と生き物と人とのつながりを心と体で学ぶ活動を行った。さらに、産学官が連携した森づくりにより、環境教育イベントを3回実施した。	A		平成26年度の実績を継続する。	環境政策課（環境の森推進係）	
					「環境月間」を通して、学校や家庭での節電・節水に取り組むとともに、自然体験活動などの環境教育の充実に努めた。	A		「環境月間」を通して、学校や家庭での節電・節水に取り組むとともに、自然体験活動などの環境教育の充実に努める。	指導室	
					あきる野親子ふれあい塾「親子自然ふれあい塾夏休み教室」を、小峰公園ビジターセンターにて8月17日実施	A		あきる野親子ふれあい塾「親子自然ふれあい塾夏休み教室」を小峰公園ビジターセンターにて実施する。 期日未定	生涯学習スポーツ課（H24：生涯学習推進課）	
				人材の育成及び活用	市民カレッジ人材養成入門講座の自然史（野鳥観察、植物観察）を実施した。 野鳥観察 5月19日、26日 植物観察 6月11日、18日	A	市民カレッジ人材養成入門講座の自然史（自然、地形、地質観察）を実施する。	生涯学習スポーツ課（H24：公民館）		
					実施していない 「生物多様性あきる野戦略」、「地球温暖化対策地域推進計画」の推進体制として、両計画の推進に資する新たな協働組織を設置し、関係団体などのネットワーク構築を図ることとしている。	B	A	「生物多様性あきる野戦略」、「地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、両計画の推進に資する新たな協働組織（仮）生きもの会議、地球温暖化対策地域協議会）を設置する。	環境政策課（環境政策係）	
					・あきる野親子ふれあい塾「親子自然ふれあい塾夏休み教室」を小峰公園ビジターセンターにて8月17日実施 ・五日市郷土館・二宮考古館において、市民解説員による展示解説を実施した。	A		・あきる野親子ふれあい塾「親子自然ふれあい塾夏休み教室」を小峰公園ビジターセンターにて実施する。 期日未定 ・五日市郷土館・二宮考古館において、市民解説員による展示解説を実施する。	生涯学習スポーツ課（H24：生涯学習推進課）	
					市民解説員の認定を受けた市民解説員が市内を案内する市内探訪・学校等からの解説依頼を受け、解説活動を実施した。市内探訪8回、解説依頼24回。	A		市民解説員の認定を受けた市民解説員が市内を案内する市内探訪・学校等からの解説依頼を受け、解説活動を実施する。市内探訪8回、解説依頼25回（予定）	生涯学習スポーツ課（H24：公民館）	

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成26年度		平成27年度予定		担当課
					実績	評価	予定・進捗		
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	一般	環境パートナーシップの形成	協働・団体等のネットワーク化	実施していない 「生物多様性あきる野戦略」、「地球温暖化対策地域推進計画」の推進体制として、両計画の推進に資する新たな協働組織を設置し、関係団体などのネットワーク構築を図ることとしている。	B	B	「生物多様性あきる野戦略」、「地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、両計画の推進に資する新たな協働組織（（仮）生きもの会議、地球温暖化対策地域協議会）を設置する。	環境政策課 （環境政策係）
				市民・事業者・市の協働事業等の推進	環境委員会として産業祭に環境展を出展した。 市民が主体となり、市内の自然環境調査を実施した。	B	A	環境委員会として産業祭に環境展を出展する。 市民が主体となり、市内の自然環境調査を実施する。	環境政策課 （環境政策係）
					森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と地域が協働して、整備事業等を実施した。 （活動回数：17回）、参加延べ人数276人（内訳…レンジャー：33、サポートレンジャー：96、地域147）	A		平成26年度の取組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）
				問題提起・政策提案等ができる仕組みの検討	環境白書作成時の点検・評価の際に、意見等の収集を行った。	A	A	環境白書作成時の点検・評価の際に、意見等の収集を行う。	環境政策課 （環境政策係）
		一般	様々な仕組みの検討	財源の確保の検討	協働の取組を支援するための財源の確保については、実施していない。	C	C	実施予定なし	環境政策課 （環境政策係）
				ボランティアの活用仕組みづくり	自然環境調査をボランティアで実施した。	B	A	自然環境調査をボランティアで実施する。	環境政策課 （環境政策係）
					森林サポートレンジャーあきる野や地元住民と森づくりにかわる活動を行った。	A		平成26年度の取組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）
				点検・評価への参加の充実	平成25年度の施策進捗状況等をもとに点検・評価を行い、環境白書を作成した。	A	A	平成26年度の施策進捗状況等をもとに点検・評価を行い、環境白書を作成する。	環境政策課 （環境政策係）
				家庭版・学校版ISO等の仕組み検討	実施していない	C	C	実施予定なし	環境政策課 （環境政策係）
				事業者のマネジメントシステム導入支援	実施していない	C	C	実施予定なし	環境政策課 （環境政策係）
				経済的手法の研究	実施していない	C	C	実施予定なし	環境政策課 （環境政策係）

2 「関連指標」の評価一覧

【評価基準】
A: 目標値を達成している
B: 現在の取り組みを継続、拡大すれば目標値を達成できる
C: 現在のままでは目標値の達成が困難と考えられるため、改善措置を講じる必要がある
D: 目標を達成していない
Z: 今年度は評価ができない

分野	展開方針	指標	目標 (目標年度)	現状値	平成 26 年度		所管課
					実績	評価	
自然環境	1.あきる野市の自然を知る	「あきる野百景」の認知度(アンケート調査等で把握)	70%(平成 27 年度)		69.91%	B	環境政策課 (環境政策係)
	2.あきる野市の自然を守る	あきる野版 RD 種の認知度(アンケート調査等で把握)	70%(平成 27 年度)		あきる野市版 RD 種が選定されていない。	Z	環境政策課 (環境政策係)
		市内の緑地面積	現状維持		5,732.86ha	A	都市計画課
生活環境	1.美しい川を守り育む	「清流」に対する市民満足度(アンケート調査等で把握)	70 ポイント(平成 27 年度)		58.46%	B	生活環境課 (生活環境係)
		生活排水処理率	88.7%(平成 27 年度)	83%(平成 16 年度)	94%	A	管理課 (H24: 下水道課)
		下水道接続率	98%(平成 27 年度)	87%(平成 16 年度)	96%	B	管理課 (H24: 下水道課)
		ホテルが見られる水辺の箇所数	現状以上(現状を把握の上)	不明	約 20 箇所	Z	生活環境課 (生活環境係)
					把握していない	Z	建設課
		ホテルの保護等に係る助成金等の交付団体数	7 団体(平成 27 年度)	3 団体(平成 16 年度)	4 団体	D	環境政策課 (環境の森推進係)
		川とのふれあいマナー実践度	60%(平成 27 年度)		把握していない	Z	生活環境課 (生活環境係)
					把握していない	Z	観光商工課
	2.農地・農業を守る	農産物直売所数	3 件(平成 19 年度)	2 件(平成 16 年度)	平成 19 年度に秋川溪谷瀬音の湯「朝霧」が開設され、目標を達成している。	A	農林課
		あきる野産の農産物(あきる野ブランド)等の数	4 件(平成 22 年度)	2 件(平成 16 年度)	関東東海花展にあきる野産の花卉を出品した。	D	農林課
		地元野菜の活用件数		0 件(平成 16 年度)	学校給食に地元野菜を供給した。 ・提供野菜 人参、玉ねぎ、長ねぎ、なす、かぼちゃ、さつまいも、白菜、大根、ごぼう、のらぼう菜、トウモロコシ 他	A	農林課
		生産緑地指定面積	現状以上	79.48ha(平成 16 年度)	71.13ha	B	都市計画課

分野	展開方針	指標	目標 (目標年度)	現状値	平成 26 年度		所管課
					実績	評価	
生活環境	3.資源を循環させる	「へらすぞう」の発行回数	年間 4 回発行(平成 27 年度)	1 回発行(平成 16 年度)	1 回発行	D	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
		市民一人一日当たりのごみ排出量	平成 16 年度比 10%減(平成 27 年度)	893g(平成 16 年度)	799.6g	A	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
		市民一人当たり年間ごみ処理負担費		16,406 円(平成 16 年度)	参考：H25 年度 13,374 円 ※平成 26 年度は算出中、同程度の見込み	A	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
	4.美しいまちをつくる	街並み・景観に関する市民満足度(アンケート調査等で把握)	30 ポイント(平成 27 年度)		把握していない (市民満足度調査から数値を算出しており、平成 26 年度は調査が実施されていないため。)	Z	都市計画課
		土地区画整理事業による街並み整備か所数	10 か所(平成 27 年度)	7 か所(平成 19 年度)	実施予定箇所 6 箇所 現在 1 箇所にて事業計画中	Z	区画整理推進室 都市計画課
		「歩きたくなる」みちの箇所数(アンケート調査等により把握)			実施していない	Z	観光商工課
		市民や来訪者の「歩きたくなる」度(アンケート調査等で把握)	70 ポイント(平成 27 年度)		把握していない	Z	建設課
		たばこ・ごみのポイ捨てに係る市民満足度(アンケート調査等で把握)	70 ポイント(平成 27 年度)		31.29 ポイント	C	環境政策課 (環境政策係)
		一斉清掃の実施回数、参加者数	現状維持	年 2 回、延べ 28,898 人 (平成 16 年度)	年 2 回 春、秋に実施 延べ 31,164 人	A	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
	エネルギー環境	地球温暖化に関する環境教育実施校数	市内全校	未実施	小中学校全校で実施している。	A	環境政策課 (環境政策係)
		環境家計簿等の普及状況、モニター登録者数	モニター登録 100 人(平成 27 年度)		138 人	A	環境政策課 (環境政策係)
		家庭での電力使用量	平成 15 年度比 5%減(平成 27 年度)	148,947MWh(平成 15 年度)	電力使用量での把握はできていない。 (参考) 市内の家庭からの二酸化炭素排出量 98,000 トン-CO2(平成 24 年度) ※出典：オール東京 62 市区町村共同事業「みどり温暖化防止プロジェクト」温室効果ガス排出量算定結果：多摩地域の温室効果ガス排出量(1990 年度～2012 年度)	Z	環境政策課 (環境政策係)
		省エネ生活 10 か条の認知度、定着状況(アンケート調査等で把握)	50%(平成 22 年度) 80%(平成 27 年度)		28.10%	D	環境政策課 (環境政策係)
		エコドライブ実践状況(アンケート調査等で把握)	70%(平成 27 年度)		73.40%	A	環境政策課 (環境政策係)

3 環境調査結果

<平成26年度 秋川・平井川河川水質調査結果>

採取日 平成26年5月9日

種別	検査項目	気温	水温	外観	臭気	透明度	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質 (SS)	溶存酸素 (DO)	大腸菌群数 MPN/100ml	全窒素	全りん	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル水銀	PCB	陽イオン界面活性剤 (MBAS)	アンモニア性窒素
	測定地点	環境基準					AA6.5-8.5 A 6.5-8.5 河川基準値	AA1mg/1以下 A 2mg/1以下 河川基準値	一般的に3mg/1以下	AA25mg/1以下 A 25mg/1以下 河川基準値	AA・A7.5mg/1以上 河川基準値	AA 50以下 A 1000以下 河川基準値	基準なし	基準なし	0.003mg/1以下	検出されないこと	0.01mg/1以下	0.05mg/1以下	0.01mg/1以下	0.0005mg/1以下	検出されないこと	検出されないこと	0.2mg/1以下 (水道水質基準)	一般的に0.1mg/1以下
秋川	西青木平橋	22.2℃	14.4℃	無色	無臭	50cm以上	7.7	<0.5	0.5	<1	10.4	<u>790</u>	0.86	0.021	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.01
	落合橋	20.0℃	14.8℃	無色	無臭	50cm以上	7.8	<0.5	-	<1	10.0	-	0.91	0.051	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	沢戸橋	23.0℃	16.2℃	無色	弱：川雑臭	50cm以上	7.8	0.5	-	<1	10.0	-	0.97	0.028	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	秋川橋	24.0℃	18.1℃	無色	弱：川雑臭	50cm以上	8.0	<0.5	0.8	1	10.0	<u>1300</u>	0.86	0.024	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.02
	清水荘前	25.0℃	18.2℃	無色	弱：川雑臭	50cm以上	8.2	<0.5	-	1	10.2	-	0.82	0.049	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	引田堰	25.6℃	17.8℃	無色	弱：川雑臭	50cm以上	8.3	<0.5	0.7	<1	10.5	<u>1300</u>	0.93	0.019	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.02
	秋留橋	25.0℃	17.6℃	無色	弱：川雑臭	50cm以上	8.0	<0.5	-	1	11.8	-	0.86	0.019	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	東秋川橋	24.5℃	18.8℃	無色	弱：川雑臭	50cm以上	8.0	0.7	1.1	1	9.9	<u>1100</u>	1.30	0.026	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.01
平井川	観音橋	19.0℃	16.5℃	無色	弱：川雑臭	50cm以上	8.5	0.5	1.3	<1	10.6	<u>1400</u>	1.10	0.026	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.02
	小宮久保橋	21.0℃	17.0℃	無色	弱：川雑臭	50cm以上	8.2	0.7	-	1	10.7	-	1.30	0.033	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	新開橋	20.8℃	16.8℃	無色	弱：川雑臭	50cm以上	7.8	0.6	-	2	10.5	-	1.30	0.028	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	多西橋	21.8℃	19.0℃	無色	弱：川雑臭	50cm以上	<u>8.9</u>	0.5	1.0	1	12.3	<u>1300</u>	1.50	0.063	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.01
養沢川	高橋上流	20.0℃	13.2℃	無色	無臭	50cm以上	7.8	<0.5	<0.5	<1	10.1	490	0.86	0.022	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.02
	五日市解体下	17.5℃	13.2℃	無色	無臭	50cm以上	7.7	<0.5	<0.5	<1	10.2	490	0.93	0.026	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.01
	小宮小前	23.0℃	14.6℃	無色	無臭	50cm以上	7.6	<0.5	-	<1	10.6	-	0.97	0.029	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
秋川支流	天王沢 秋川合流点前	24.5℃	14.8℃	無色	無臭	50cm以上	8.0	<0.5	-	<1	10.1	-	1.60	0.061	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	三内川 秋川合流点前	23.2℃	16.0℃	無色	無臭	50cm以上	8.1	<0.5	-	1	9.7	-	1.50	0.072	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02
	青知川 秋川合流点前	24.2℃	19.5℃	無色	弱：川雑臭	50cm以上	8.1	0.5	-	3	9.3	-	7.10	0.040	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
平井川支流	鯉川 鯉川橋	22.0℃	17.2℃	無色	弱：川雑臭	50cm以上	7.6	0.8	-	2	10.6	-	2.80	0.027	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02
	水沢川 ヒル橋	21.0℃	17.0℃	淡：灰色	芳香臭	50cm以上	7.9	0.7	-	6	9.6	-	0.94	0.026	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	定量下限値	0.1℃	0.1℃	-	-	0.5cm	-	0.5mg/1	0.5mg/1	1.0mg/1	0.5mg/1	10MPN/100ml	0.05mg/1	0.003mg/1	0.0003mg/1	0.01mg/1	0.002mg/1	0.02mg/1	0.0005mg/1	0.0005mg/1	0.0005mg/1	0.0005mg/1	0.02mg/1	0.01mg/1

(水域類型) 秋川：AA類型 平井川・養沢川：A類型

※ 下線は環境基準超過

<平成 26 年度 秋川・平井川河川水質調査結果>

採取日 平成 26 年 8 月 4 日

種別	検査項目	気温	水温	外観	臭気	透明度	水素 イオン濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	化学的 酸素要求量 (COD)	浮遊 物質 (SS)	溶存 酸素 (DO)	大腸菌 群数 MPN/100ml	全窒素	全りん	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル 水銀	PCB	陰イオン 界面活性剤 (MBAS)	アンモ ニア性 窒素
	測定地点	環境基準					AA6.5-8.5 A 6.5-8.5 河川基準値	AA1mg/以下 A 2mg/以下 河川基準値	一般的に3mg/ 以下	AA25mg/以下 A 25mg/以下 河川基準値	AA・A7.5mg/1 以上 河川基準値	AA 50以下 A 1000以下 河川基準値	基準なし	基準なし	0.003mg/1 以下	検出されな いこと	0.01mg/1 以下	0.05mg/1 以下	0.01mg/1 以下	0.0005mg/1 以下	検出されな いこと	検出されな いこと	0.2mg/1以下 (水質基準)	一般的に0.1 mg/1 以下
秋川	西青木平橋	29.6℃	23.2℃	無色	無臭	50cm以上	8.0	<0.5	0.9	<1	9.1	<u>1300</u>	0.83	0.024	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.02
	落合橋	31.2℃	23.5℃	無色	無臭	50cm以上	8.3	<0.5	-	<1	8.6	-	0.90	0.026	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	沢戸橋	33.1℃	25.0℃	無色	無臭	50cm以上	8.4	<0.5	-	<1	8.4	-	1.20	0.053	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	秋川橋	33.4℃	27.8℃	無色	無臭	50cm以上	8.1	<0.5	1.2	<1	8.9	<u>1400</u>	1.00	0.031	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.02
	清水荘前	32.6℃	27.2℃	無色	無臭	50cm以上	8.2	<0.5	-	<1	9.8	-	0.81	0.026	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	引田堰	33.4℃	27.5℃	無色	無臭	50cm以上	8.0	<0.5	0.9	<1	10.7	<u>2800</u>	0.76	0.021	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.01
	秋留橋	32.2℃	27.1℃	無色	無臭	50cm以上	8.3	<0.5	-	<1	8.6	-	0.95	0.030	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	東秋川橋	32.2℃	27.0℃	淡黄緑色	無臭	50cm以上	8.3	<0.5	1.4	<1	8.9	<u>1300</u>	1.30	0.021	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.01
平井川	観音橋	31.2℃	25.2℃	無色	無臭	50cm以上	8.1	0.5	1.3	<1	10.9	<u>2800</u>	1.00	0.042	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.03
	小宮久保橋	30.4℃	25.4℃	無色	無臭	50cm以上	8.1	<0.5	-	<1	9.2	-	0.97	0.028	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	新聞橋	32.0℃	25.0℃	無色	無臭	50cm以上	8.2	<0.5	-	<1	8.8	-	1.60	0.031	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	多西橋	32.4℃	26.4℃	淡黄緑色	弱： 川臭	50cm以上	8.5	0.5	1.2	1	9.3	<u>1300</u>	2.40	0.030	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.02
養沢川	高橋上流	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	五日市解体下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小宮小前	28.7℃	22.6℃	無色	無臭	50cm以上	8.1	<0.5	-	1	8.9	-	0.95	0.042	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
秋川支流	天王沢 秋川合流点前	33.2℃	23.9℃	無色	無臭	50cm以上	7.9	<0.5	-	<1	8.1	-	1.70	0.042	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02
	三内川 秋川合流点前	30.2℃	25.2℃	無色	無臭	50cm以上	7.9	<0.5	-	<1	8.6	-	1.20	0.056	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02
	養知川 秋川合流点前	31.5℃	23.2℃	淡黄緑色	弱： 土臭	50cm以上	8.2	<0.5	-	2	9.6	-	7.70	0.030	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02
平井川支流	鯉川 鯉川橋	30.6℃	26.8℃	淡黄緑色	弱： 川臭	50cm以上	7.7	0.5	-	3	8.1	-	2.10	0.056	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.03
	水沢川 ヒル橋	33.2℃	25.3℃	淡灰黄色	弱： 川臭	50cm以上	8.1	0.5	-	5	9.5	-	1.40	0.033	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
定量下限値		0.1℃	0.1℃	-	-	0.5cm	-	0.5mg/1	0.5mg/1	1.0mg/1	0.5mg/1	10MPN/100ml	0.05mg/1	0.003mg/1	0.0003mg/1	0.01mg/1	0.002mg/1	0.02mg/1	0.0005mg/1	0.0005mg/1	0.0005mg/1	0.0005mg/1	0.02mg/1	0.01mg/1

(水域類型) 秋川：AA類型 平井川・養沢川：A類型

※ 下線は環境基準超過

<平成 26 年度 秋川・平井川河川水質調査結果>

採取日 平成 26 年 10 月 30 日

種別	検査項目	気温	水温	外観	臭気	透明度	水素 イオン濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	化学的 酸素要求量 (COD)	浮遊 物質 (SS)	溶解 酸素 (D.O)	大腸菌 群数 MPN/100ml	全窒素	全りん	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル 水銀	P C B	陰イオン 界面活性剤 (MBAS)	アンモ ニア性 窒素
	測定地点	環境基準					AA6.5-8.5 A 6.5-8.5 河川基準値	AA1 mg/l以下 A 2 mg/l以下 河川基準値	一般的に3mg/l 以下	AA25mg/l以下 A 25mg/l以下 河川基準値	AA・A7.5mg/l 以上 河川基準値	AA 50以下 A 1000以下 河川基準値	基準なし	基準なし	0.003mg/l 以下	検出されな いこと	0.01 mg/l 以下	0.05mg/l 以下	0.01mg/l 以下	0.0005mg/l 以下	検出されな いこと	検出されな いこと	0.2mg/l 以下 (水道水質基準)	一般的に0.1 mg/l 以下
秋 川	西青木平橋	14.2℃	11.2℃	無色	無臭	50cm以上	7.4	0.7	1.3	<1	10.8	<u>1100</u>	0.99	0.028	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.01
	落合橋	14.2℃	11.3℃	無色	無臭	50cm以上	7.6	0.8	-	<1	10.7	-	0.93	0.030	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	沢戸橋	17.4℃	11.6℃	無色	無臭	50cm以上	7.5	0.7	-	<1	10.9	-	1.00	0.055	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02
	秋川橋	17.2℃	13.1℃	無色	無臭	50cm以上	7.8	0.6	1.3	<1	10.9	<u>1100</u>	0.90	0.034	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.02
	清水荘前	15.0℃	13.1℃	無色	無臭	50cm以上	7.8	0.8	-	<1	11.0	-	0.87	0.029	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	引田堰	15.4℃	13.5℃	無色	無臭	50cm以上	8.0	0.7	1.3	<1	11.0	<u>1700</u>	0.97	0.025	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.01
	秋留橋	15.2℃	13.6℃	無色	無臭	50cm以上	7.7	0.6	-	<1	10.9	-	0.99	0.028	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02
	東秋川橋	16.0℃	12.5℃	無色	無臭	50cm以上	7.2	<0.5	1.0	<1	11.5	<u>1100</u>	1.10	0.026	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.02
平 井 川	観音橋	15.0℃	14.5℃	無色	無臭	50cm以上	8.0	<0.5	1.1	<1	10.6	<u>2400</u>	1.30	0.040	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.03
	小宮久保橋	16.3℃	14.0℃	無色	無臭	50cm以上	7.7	0.6	-	<1	12.2	-	1.20	0.030	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02
	新開橋	14.0℃	14.5℃	無色	無臭	50cm以上	7.3	0.7	-	<1	11.1	-	1.90	0.030	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	多西橋	13.4℃	15.5℃	無色	無臭	50cm以上	7.9	0.7	1.4	<1	11.5	<u>1300</u>	2.70	0.034	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.02
養 沢 川	高橋上流	14.7℃	11.0℃	無色	無臭	50cm以上	7.5	0.6	1.1	<1	10.2	330	0.90	0.033	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.01
	五日市解体下	13.6℃	11.2℃	無色	無臭	50cm以上	7.2	<0.5	0.8	<1	10.3	490	0.99	0.029	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.01
	小宮小前	15.3℃	11.0℃	無色	無臭	50cm以上	7.4	0.6	-	<1	10.6	-	1.10	0.040	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02
秋 川 支 流	天主沢 秋川合流点前	15.2℃	13.0℃	無色	無臭	50cm以上	7.5	0.5	-	<1	9.8	-	1.80	0.044	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.03
	三内川 秋川合流点前	14.0℃	13.5℃	無色	弱： 土臭	50cm以上	7.5	<0.5	-	<1	10.1	-	1.40	0.051	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.03
	養知川 秋川合流点前	15.4℃	15.8℃	無色	弱： 土臭	50cm以上	7.2	<0.5	-	1	9.6	-	8.60	0.031	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.03
平 井 川 支 流	鯉川 鯉川橋	15.2℃	14.3℃	無色	無臭	50cm以上	7.5	0.6	-	<1	10.2	-	2.00	0.050	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02
	水沢川 ヒル橋	13.8℃	14.2℃	淡黄色	無臭	50cm以上	7.4	0.6	-	2	10.0	-	1.40	0.036	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
定量下限値		0.1℃	0.1℃	-	-	0.5cm	-	0.5mg/l	0.5mg/l	1.0mg/l	0.5mg/l	10MPN/100ml	0.05mg/l	0.003mg/l	0.0003mg/l	0.01mg/l	0.002mg/l	0.02mg/l	0.0005mg/l	0.0005mg/l	0.0005mg/l	0.0005mg/l	0.02mg/l	0.01mg/l

(水域類型) 秋川：AA類型 平井川・養沢川：A類型

※ 下線は環境基準超過

<平成 26 年度 秋川・平井川河川水質調査結果>

採取日 平成 27 年 2 月 12 日

種別	検査項目	気温	水温	外観	臭気	透視度	水系 イオン濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	化学的 酸素要求量 (COD)	浮遊 物質 (SS)	溶存 酸素 (DO)	大腸菌 群数 MPN/100ml	全窒素	全りん	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル 水銀	PCB	陽イオン 界面活性剤 (MBAS)	アンモ ニア性 窒素
	測定地点	環境基準					AA6.5-8.5 A 6.5-8.5 河川基準値	AA1mg/1以下 A 2mg/1以下 河川基準値	一般的に3mg/1 以下	AA25mg/1以下 A 25mg/1以下 河川基準値	AA・A7.5mg/1 以上 河川基準値	AA 50以下 A 1000以下 河川基準値	基準なし	基準なし	0.003mg/1 以下	検出されな いこと	0.01mg/1 以下	0.05mg/1 以下	0.01mg/1 以下	0.0005mg/1 以下	検出されな いこと	検出されな いこと	0.2mg/1以下 (水道水質基準)	一般的に0.1 mg/1 以下
秋 川	西青木平橋	7.8℃	3.2℃	無色	無臭	50cm以上	7.5	<0.5	<0.5	<1	12.9	<u>490</u>	1.00	0.048	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.01
	落合橋	10.4℃	4.0℃	無色	無臭	50cm以上	7.6	0.6	-	<1	12.8	-	1.30	0.022	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02
	沢戸橋	10.0℃	4.2℃	無色	無臭	50cm以上	7.6	<0.5	-	<1	12.9	-	1.10	0.020	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	秋川橋	11.0℃	7.0℃	無色	無臭	50cm以上	7.7	<0.5	0.5	<1	12.6	<u>1100</u>	1.10	0.028	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.02
	清水荘前	10.8℃	6.2℃	無色	無臭	50cm以上	7.6	0.6	-	<1	13.5	-	1.20	0.024	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	引田堰	11.0℃	6.0℃	無色	無臭	50cm以上	7.6	0.5	0.6	<1	13.2	<u>1100</u>	1.10	0.028	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.02
	秋留橋	10.8℃	6.1℃	無色	無臭	50cm以上	7.6	0.8	-	<1	12.8	-	1.00	0.024	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02
	東秋川橋	11.0℃	6.0℃	無色	無臭	50cm以上	7.8	<0.5	0.5	<1	13.4	<u>790</u>	1.50	0.015	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.01
平 井 川	観音橋	4.2℃	7.0℃	無色	無臭	50cm以上	7.5	1.0	1.2	1.0	11.8	<u>2200</u>	1.50	0.025	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.03
	小宮久保橋	7.2℃	7.0℃	無色	無臭	50cm以上	7.5	1.0	-	<1	12.1	-	2.00	0.029	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.04
	新開橋	8.0℃	6.9℃	無色	無臭	50cm以上	7.5	0.5	-	<1	12.1	-	1.70	0.043	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02
	多西橋	7.9℃	6.9℃	無色	無臭	50cm以上	7.6	0.6	0.9	<1	12.9	940	2.30	0.070	<0.0003	<0.01	<0.002	<0.02	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.02	0.03
養 沢 川	高橋上流	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	五日市解体下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小宮小前	10.2℃	4.2℃	無色	無臭	50cm以上	7.7	<0.5	-	<1	12.9	-	1.20	0.020	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02
秋 川 支 流	天王沢 秋川合流点前	10.2℃	5.0℃	無色	無臭	50cm以上	7.8	0.8	-	<1	10.9	-	2.20	0.055	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.04
	三内川 秋川合流点前	10.2℃	5.0℃	無色	無臭	50cm以上	7.6	0.8	-	<1	12.8	-	1.40	0.060	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.03
	眞知川 秋川合流点前	10.0℃	12.4℃	無色	無臭	50cm以上	7.8	0.9	-	1.0	10.6	-	7.80	0.040	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.04
平 井 川 支 流	鯉川 鯉川橋	7.0℃	5.0℃	無色	無臭	50cm以上	7.6	0.9	-	<1	12.6	-	2.10	0.018	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.03
	水沢川 ヒル橋	7.4℃	6.2℃	淡黄色	無臭	50cm以上	7.8	1.3	-	1.0	12.5	-	2.00	0.038	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01
	定量下限値	0.1℃	0.1℃	-	-	0.5cm	-	0.5mg/1	0.5mg/1	1.0mg/1	0.5mg/1	10MPN/100ml	0.05mg/1	0.003mg/1	0.0003mg/1	0.01mg/1	0.002mg/1	0.02mg/1	0.0005mg/1	0.0005mg/1	0.0005mg/1	0.0005mg/1	0.02mg/1	0.01mg/1

(水域類型) 秋川：AA類型 平井川・養沢川：A類型

※ 下線は環境基準超過

<平成 26 年度 清流保全条例施行に伴う湧水及び合流点の水質分析調査>

採取日 平成 27 年 2 月 26 日・27 日

		検査項目	気温	水温	外観	臭気	透明度	流量	水系 イオン濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	化学的 酸素要求量 (COD)	浮遊 物質重量 (SS)	溶存 酸素 (DO)	大腸菌 群数 MPN/100ml	全窒素	全りん	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル 水銀	PCB	陰イオン 界面活性剤 (MBAS)	アンモ ニア性 窒素	類型	
種別	測定地点	環境基準							AA6.5-8.5 A 6.5-8.5 河川基準値	AA1mg/l以下 A 2mg/l以下 河川基準値	一般的に3mg/l 以下	AA25mg/l以下 A 25mg/l以下 河川基準値	AA・A7.5 mg/l以上 河川基準値	AA 50以下 A 1000以下 河川基準値	基準なし	基準なし	0.003mg/l 以下	検出されな いこと	0.01mg/l 以下	0.05mg/l 以下	0.01mg/l 以下	0.0005mg/ l 以下	検出されな いこと	検出されな いこと	0.2mg/l以下水 質基準値	一般的に0.1 mg/l 以下		
① 湧水 関係	山田八幡神社裏	7.4℃	13.2℃	無色	無臭	50cm以上	0.009m³/m	6.7	<0.5	<0.5		1	10.0	26	4.35	0.020	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	AA
	真城寺	8.8℃	15.0℃	無色	無臭	50cm以上	0.080m³/m	7.1	<0.5	<0.5		<1	9.8	27	3.97	0.024	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	AA
	白滝神社	7.0℃	16.4℃	無色	無臭	50cm以上	0.150m³/m	7.1	<0.5	0.5		<1	9.5	22	4.47	0.033	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01	AA
	民家 (牛沼287)	8.2℃	15.3℃	無色	無臭	50cm以上	-	7.2	<0.5	<0.5		1	10.2	49	4.32	0.097	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.03	AA
	民家 (南間698)	8.4℃	16.0℃	無色	無臭	50cm以上	0.327m³/m	6.9	<0.5	<0.5		<1	9.3	46	3.21	0.012	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01	AA
	秋川グリーン スポーツ公園前	10.0℃	15.2℃	無色	無臭	50cm以上	-	6.3	<0.5	<0.5		<1	8.9	110	2.92	0.030	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	AA
	民家 (小川820)	10.2℃	15.0℃	無色	無臭	50cm以上	0.080m³/m	6.6	<0.5	<0.5		<1	8.8	79	7.10	0.042	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	AA
	民家 (平沢617)	10.4℃	13.9℃	無色	無臭	50cm以上	0.003m³/m	6.2	<0.5	<0.5		<1	8.8	49	6.66	0.039	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	A
	広済寺付近	10.0℃	15.0℃	無色	無臭	50cm以上	0.127m³/m	6.1	<0.5	<0.5		<1	7.3	70	7.39	0.021	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01	A
	二宮お滝	11.0℃	16.0℃	無色	無臭	50cm以上	0.292m³/m	6.4	<0.5	1.0		1	9.1	110	5.55	0.064	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	A
	二宮神社お池	9.0℃	15.0℃	無色	無臭	50cm以上	0.650m³/m	6.2	<0.5	<0.5		<1	8.3	79	7.89	0.033	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01	A
	八雲神社	11.2℃	16.0℃	無色	無臭	50cm以上	0.492m³/m	6.2	<0.5	<0.5		<1	9.7	70	7.72	0.037	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	AA
	草花公園	12.8℃	13.0℃	無色	無臭	50cm以上	0.137m³/m	7.1	<0.5	<0.5		1	12.8	46	1.84	0.012	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	<0.01	A
	民家 (草花1127)	12.8℃	17.0℃	無色	無臭	50cm以上	0.088m³/m	6.1	<0.5	<0.5		<1	10.2	49	3.58	0.018	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	<0.01	A
	草花小学校西	12.6℃	15.2℃	無色	無臭	50cm以上	-	7.0	0.6	1.1		<1	9.4	70	3.55	0.039	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	A
菅生夫婦橋下	11.6℃	14.0℃	無色	無臭	50cm以上	-	6.6	0.5	0.8		<1	9.2	110	5.79	0.046	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	A	
折立坂	11.0℃	14.0℃	無色	無臭	50cm以上	0.009m³/m	7.1	0.6	1.1		<1	10.3	33	4.95	0.072	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.03	A	
② 多摩川、秋川、平井川に接続する水路等	南秋留小横 ※	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
	ミユキ組番舎 (西)	13.0℃	12.5℃	無色	無臭	50cm以上		8.1	<0.5	0.9		<1	11.1	49	3.50	0.067	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.03	AA
	舞知川	13.1℃	9.8℃	無色	無臭	50cm以上		7.5	0.8	3.1		<1	11.1	49	1.29	0.023	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	AA
	広済寺下	13.6℃	14.5℃	無色	無臭	50cm以上		7.6	<0.5	0.6		<1	11.1	79	6.81	0.026	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.03	A
	玉見ヶ崎公園隣	12.6℃	14.8℃	無色	無臭	50cm以上		7.6	0.7	1.1		<1	10.4	70	6.72	0.300	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	A
	養沢川	7.0℃	6.8℃	無色	無臭	50cm以上		7.4	<0.5	0.5		<1	12.0	110	0.96	0.016	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01	AA
	盆塚川	7.2℃	6.5℃	無色	無臭	50cm以上		6.9	<0.5	0.6		<1	12.1	79	1.12	0.010	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	AA
	入野沢	6.7℃	9.4℃	無色	無臭	50cm以上		7.3	<0.5	1.4		1	11.5	70	3.10	0.053	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.06	AA
	北裏水路	7.2℃	10.4℃	無色	無臭	50cm以上		7.5	<0.5	0.9		1	10.3	140	4.34	0.069	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	AA
	樽沢	6.5℃	8.4℃	無色	無臭	50cm以上		7.5	0.6	1.6		<1	11.5	79	1.50	0.156	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	AA
	宮の入沢	6.2℃	6.5℃	淡黄緑色	弱臭	50cm以上		7.7	0.6	1.6		1	12.1	140	1.59	0.051	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01	AA
	横沢	7.0℃	8.2℃	無色	無臭	50cm以上		7.5	0.7	1.6		1	11.2	140	1.76	0.024	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.03	AA
	引谷川	6.8℃	7.6℃	無色	無臭	50cm以上		8.0	0.6	1.6		<1	11.9	79	1.80	0.040	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.03	AA
	溝ッ堀	5.2℃	9.6℃	無色	無臭	50cm以上		7.4	0.5	1.3		1	10.5	49	3.52	0.039	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	AA
	北川原	6.3℃	9.0℃	淡灰黄色	弱土臭	50cm以上		7.9	0.6	1.5		<1	11.7	130	1.73	0.172	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.03	AA
	ふれあい橋	6.4℃	9.2℃	淡灰黄色	弱土臭	50cm以上		7.5	0.6	1.5		1	12.0	220	1.02	0.067	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01	A
	鯉川合流	6.4℃	8.2℃	淡灰黄色	弱土臭	50cm以上		7.6	0.7	2.0		1	13.0	70	2.65	0.145	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	A
	水沢川	6.2℃	10.0℃	淡灰褐色	無臭	50cm以上		7.6	0.7	1.6		<1	11.2	130	1.41	0.060	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.01	A
新開橋下	10.8℃	11.0℃	淡灰色	弱土臭	50cm以上		7.1	1.5	3.1		2	10.0	110	4.14	0.032	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.02	0.02	A	
定量下限値		0.1℃	0.1℃	-	-	0.5cm	0.001m³/m	-	0.5mg/l	0.5mg/l	1.0mg/l	0.5mg/l	10MPN/100ml	0.05mg/l	0.003mg/l	0.005mg/l	0.01mg/l	0.002mg/l	<0.02mg/l	<0.0005mg/l	<0.0005mg/l	<0.0005mg/l	<0.0005mg/l	<0.02mg/l	0.01mg/l			

※南秋留小横については、湧水が確認できなかったため、平成26年度は欠測としている。

※ 下線は環境基準超過

<平成 26 年度 地下水汚染調査結果>

調査日 平成 26 年 4 月 15 日

調査場所 調査項目	草花 1	草花 2	野 辺	雨 間	洲 上	伊 奈	留 原	環境基準
トリクロロエチレン (mg/l)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03 以下 (0.01 以下)
テトラクロロエチレン (mg/l)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下 (0.01 以下)
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	1 以下 (0.03 以下)

<平成 26 年度 秋川・平井川ふん便性大腸菌群数調査結果>

採取日 平成 26 年 6 月 19 日

No	河川名	調査地点	pH	水温(℃)	流量(m ³ /s)	ふん便性 大腸菌群数 (個/100ml)	水浴判定	採取時間
1	秋 川	西青木平橋	7.3	17.0	1.89	23	適 (A)	16:05
2		落合橋	7.4	17.0	2.05	32	適 (A)	15:40
3		沢戸橋	7.4	17.0	2.28	22	適 (A)	15:15
4		秋川橋	8.0	19.0	2.3	46	適 (A)	14:20
5		小和田橋	7.7	18.0	2.28	62	適 (A)	14:50
6		清水荘前	8.0	21.0	2.24	32	適 (A)	13:55
7		引田堰	8.0	22.0	3.98	21	適 (A)	12:15
8		秋留橋	8.0	21.0	3.57	35	適 (A)	12:30
9		東秋川橋	8.1	22.0	3.73	29	適 (A)	11:45
10	平 井 川	多西橋	7.3	17.0	0.883	39	適 (A)	9:30
11		観音橋	7.6	21.0	0.323	42	適 (A)	16:53

水浴場水質判定基準（環境省）

		ふん便性大腸菌群数	油膜の有・無	COD	透明度
適	水質 AA	不検出 (検出限界2個/100ml)	油膜が認められない。	2mg/l以下 (湖沼は3mg/l以下)	全透 (水深1m以上)
	水質 A	100個/100ml以下	油膜が認められない。	2mg/l以下 (湖沼は3mg/l以下)	全透 (水深1m以上)
可	水質 B	400個/100m l 以下	常時油膜が認められない。	5mg/l 以下	水深1m未満～50cm以上
	水質 C	1,000個/100m l 以下	常時油膜が認められない。	8mg/l 以下	水深1m未満～50cm以上
不 適		1,000個/100m l 以上	常時、油膜が認められる。	8mg/l 超	50cm未満

<平成 26 年度 二酸化窒素調査結果>

(単位 ppm)

調査地点 \ 調査日程	5/19~20	9/2~3	11/10~11	2/2~3
野辺交差点	0.019	0.019	0.016	0.015
小川交差点	0.023	0.020	0.017	0.015
二宮本宿交差点	0.022	0.017	0.020	0.016
氷沢橋交差点	0.014	0.014	0.016	0.017
菅生交差点	0.018	0.020	0.017	0.021
上菅生バス停	0.007	0.009	0.003	0.005
瀬戸岡交差点	0.019	0.018	0.018	0.018
西秋留交差点	0.015	0.016	0.015	0.011
秋川駅西踏切	0.025	0.027	0.012	0.014
油平交差点	0.024	0.020	0.015	0.017
秋留橋	0.028	0.029	0.019	0.019
洲上交差点	0.028	0.024	0.016	0.016
山田交差点	0.016	0.013	0.011	0.012
留原交差点	0.009	0.009	0.006	0.009
小中野交差点	0.013	0.009	0.006	0.007
十里木交差点	0.008	0.009	0.007	0.006
青木平橋入口	0.008	0.006	0.006	0.008
旧小宮小学校入口	0.004	0.002	0.001	0.003
五日市出張所	0.005	0.008	0.003	0.003
東町交差点	0.014	0.014	0.010	0.012
武蔵五日市駅前	0.015	0.014	0.012	0.013
小机バス停	0.022	0.018	0.017	0.017

＜平成 26 年度 一般大気調査結果＞

測定日 平成 27 年 1 月 29～30 日

調査地点	調査結果 (mg/m ³)
屋城小学校	0.0226
農業会館	改装工事中であったため、欠測
一の谷児童館	0.0161
いきいきセンター	0.0129
阿伎留医療センター	0.0139
秋川給食センター	0.0167
秋川衛生組合	0.0179
野辺地内	0.0145
草花地内	0.0181
あきる野市役所	0.0149
五日市センター	0.0151
留原自治会館	0.0054
五日市出張所※	0.0125
横沢クラブ	0.0105
ファインプラザ	0.0136
参考基準値	0.10

4 放射線・放射性物質測定結果

(1) 定点 6 か所の空間放射線量測定結果

地上 5 センチメートルの測定値は、測定施設の雨どい下や側溝、植え込み、砂場などで測定。

測定機器：シンチレーション式サーバイメータ

「日立アロカメディカル TCS-172B」

測定方法：機器使用マニュアルに基づき使用。1 地点につき 5 回測定し、その平均値を当該地点の測定値とする。

①屋城保育園

単位：μSv/時間

測定地点				① 避難用滑り台横	② 植込（東）	測定地点				① 避難用滑り台横	② 植込（東）
		中心点	中心点					中心点	中心点		
高さ		1m	5cm			高さ		1m	5cm		
測定値	4月25日	0.05	0.06	0.06	0.11	測定値	10月24日	0.05	0.06	0.05	0.06
	5月27日	0.06	0.06	0.06	0.07		11月25日・28日	0.05	0.06	0.05	0.06
	6月24・26日	0.06	0.05	0.06	0.08		12月25日	0.05	0.06	0.05	0.06
	7月24日・25日	0.05	0.06	0.06	0.08		1月26日	0.05	0.06	0.05	0.06
	8月25日	0.05	0.06	0.06	0.07		2月25日	0.05	0.06	0.06	0.05
	9月24日	0.05	0.06	0.07	0.06		3月25日	0.06	0.07	0.07	0.07

②市民運動広場（中央公民館北側）

単位：μSv/時間

測定地点				① 枝葉置場	測定地点				① 枝葉置場
		中心点	中心点				中心点	中心点	
高さ		1m	5cm		高さ		1m	5cm	
測定値	4月25日	0.05	0.05	0.14	測定値	10月24日	0.05	0.05	0.10
	5月27日	0.05	0.05	0.12		11月25日・28日	0.05	0.06	0.10
	6月24・26日	0.05	0.06	0.12		12月25日	0.04	0.05	0.08
	7月24日・25日	0.05	0.05	0.07		1月26日	0.06	0.04	0.07
	8月25日	0.05	0.05	0.11		2月25日	0.04	0.05	0.07
	9月24日	0.04	0.05	0.11		3月25日	0.05	0.06	0.09

③市役所

単位：μSv/時間

測定地点				①	測定地点				①
		中心点	中心点	雨水集水ます（南東）			中心点	中心点	雨水集水ます（南東）
高さ		1m	5cm		高さ		1m	5cm	
測定値	4月25日	0.11	0.12	0.06	測定値	10月24日	0.10	0.10	0.06
	5月27日	0.10	0.11	0.06		11月25日・28日	0.10	0.11	0.06
	6月24・26日	0.10	0.10	0.06		12月25日	0.09	0.11	0.06
	7月24日・25日	0.09	0.13	0.05		1月26日	0.09	0.13	0.05
	8月25日	0.09	0.13	0.05		2月25日	0.09	0.12	0.05
	9月24日	0.10	0.14	0.06		3月25日	0.12	0.16	0.08

④楓ヶ原公園

単位：μSv/時間

測定地点				①	測定地点				①
		中心点	中心点	ブランコ裏			中心点	中心点	ブランコ裏
高さ		1m	5cm		高さ		1m	5cm	
測定値	4月25日	0.07	0.07	0.08	測定値	10月24日	0.06	0.06	0.07
	5月27日	0.06	0.07	0.08		11月25日・28日	0.07	0.06	0.07
	6月24・26日	0.06	0.07	0.08		12月25日	0.07	0.07	0.08
	7月24日・25日	0.06	0.07	0.07		1月26日	0.06	0.07	0.08
	8月25日	0.06	0.07	0.08		2月25日	0.06	0.06	0.08
	9月24日	0.06	0.07	0.08		3月25日	0.07	0.08	0.09

⑤五日市ひろば

単位：μSv/時間

測定地点		中心点	中心点	① ベンチ前（南）	測定地点		中心点	中心点	① ベンチ前（南）
		高さ	1m	5cm			高さ	1m	5cm
測定値	4月25日	0.09	0.09	0.09	測定値	10月24日	0.08	0.08	0.09
	5月27日	0.08	0.09	0.09		11月25日・28日	0.08	0.09	0.09
	6月24・26日	0.08	0.09	0.09		12月25日	0.08	0.08	0.09
	7月24日・25日	0.07	0.09	0.09		1月26日	0.08	0.08	0.09
	8月25日	0.08	0.09	0.09		2月25日	0.08	0.09	0.10
	9月24日	0.08	0.08	0.09		3月25日	0.09	0.10	0.10

⑥すぎの子保育園

単位：μSv/時間

測定地点		中心点	中心点	① 樹木下（西）	② 雨どい東（玄関横）	測定地点		中心点	中心点	① 樹木下（西）	② 雨どい東（玄関横）
		高さ	1m	5cm				高さ	1m	5cm	
測定値	4月25日	0.05	0.05	0.07	0.08	測定値	10月24日	0.05	0.06	0.07	0.08
	5月27日	0.05	0.06	0.07	0.08		11月25日・28日	0.06	0.06	0.08	0.08
	6月24・26日	0.05	0.05	0.06	0.07		12月25日	0.06	0.06	0.07	0.07
	7月24日・25日	0.05	0.06	0.07	0.08		1月26日	0.05	0.06	0.06	0.08
	8月25日	0.06	0.05	0.07	0.08		2月25日	0.05	0.06	0.06	0.08
	9月24日	0.05	0.05	0.07	0.08		3月25日	0.07	0.06	0.08	0.09

(3) 山間部 8 か所の空間放射線量測定結果

測定機器：シンチレーション式サーベイメータ

「日立アロカメディカル TCS-172B」

測定方法：機器使用マニュアルに基づき使用。1 地点につき5回測定し、その平均値を当該地点の測定値とする。

単位：μSv/時間

測定日	施設名	測定地点	測定値		備考
			地上5cm	地上1m	
平成26年 4月25日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.07	0.07	
	深沢会館	駐車場	0.09	0.07	
	小峰台公園	歩道	0.10	0.09	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.08	0.07	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.09	0.08	
	西青木平橋	橋上	0.08	0.07	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.08	0.07	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.10	0.09	碎石敷き上
5月27日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.07	0.06	
	深沢会館	駐車場	0.09	0.07	
	小峰台公園	歩道	0.10	0.08	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.09	0.08	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.09	0.08	
	西青木平橋	橋上	0.07	0.07	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.08	0.07	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.10	0.09	碎石敷き上
6月24日・26日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.07	0.06	
	深沢会館	駐車場	0.09	0.07	
	小峰台公園	歩道	0.09	0.08	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.08	0.07	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.09	0.08	
	西青木平橋	橋上	0.07	0.07	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.08	0.07	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.10	0.09	碎石敷き上
7月24・25日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.07	0.06	
	深沢会館	駐車場	0.08	0.08	
	小峰台公園	歩道	0.09	0.08	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.08	0.07	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.09	0.08	
	西青木平橋	橋上	0.07	0.07	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.08	0.07	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.10	0.09	碎石敷き上
8月25日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.07	0.06	
	深沢会館	駐車場	0.08	0.07	
	小峰台公園	歩道	0.09	0.08	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.08	0.07	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.10	0.08	
	西青木平橋	橋上	0.08	0.07	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.09	0.07	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.10	0.09	碎石敷き上

単位：μSv/時間

測定日	施設名	測定地点	測定値		備考
			地上5cm	地上1m	
9月24日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.07	0.06	
	深沢会館	駐車場	0.08	0.07	
	小峰台公園	歩道	0.08	0.08	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.08	0.06	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.09	0.08	
	西青木平橋	橋上	0.07	0.07	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.07	0.07	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.10	0.09	碎石敷き上
10月24日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.07	0.06	
	深沢会館	駐車場	0.08	0.07	
	小峰台公園	歩道	0.09	0.08	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.08	0.07	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.09	0.08	
	西青木平橋	橋上	0.08	0.07	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.08	0.07	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.09	0.08	碎石敷き上
11月25日・28日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.07	0.06	
	深沢会館	駐車場	0.09	0.08	
	小峰台公園	歩道	0.10	0.09	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.09	0.07	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.09	0.09	
	西青木平橋	橋上	0.08	0.07	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.09	0.08	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.10	0.09	碎石敷き上
12月25日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.06	0.06	
	深沢会館	駐車場	0.08	0.08	
	小峰台公園	歩道	0.09	0.08	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.08	0.08	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.10	0.08	
	西青木平橋	橋上	0.07	0.07	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.08	0.07	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.10	0.09	碎石敷き上
平成27年 1月26日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.06	0.05	
	深沢会館	駐車場	0.08	0.07	
	小峰台公園	歩道	0.09	0.08	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.08	0.07	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.07	0.07	
	西青木平橋	橋上	0.08	0.06	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.07	0.06	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.10	0.08	碎石敷き上

単位：μSv/時間

測定日	施設名	測定地点	測定値		備考
			地上5cm	地上1m	
2月25日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.06	0.05	
	深沢会館	駐車場	0.08	0.07	
	小峰台公園	歩道	0.09	0.06	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.08	0.06	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.08	0.07	
	西青木平橋	橋上	0.07	0.06	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.08	0.07	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.08	0.08	碎石敷き上
3月25日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.07	0.07	
	深沢会館	駐車場	0.10	0.09	
	小峰台公園	歩道	0.11	0.09	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.10	0.09	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.11	0.10	
	西青木平橋	橋上	0.09	0.08	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.09	0.08	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.12	0.09	碎石敷き上

（４）市内公共施設等の空間放射線量測定結果

平成 23 年度の測定で、毎時 0.23 マイクロシーベルト（年間 1 ミリシーベルト相当）を超えた施設につき、経過観察を行った。

地上 5 センチメートルの測定値は、測定施設の雨どい下や側溝、植え込み、砂場などで測定。

測定値については、毎時 0.23 マイクロシーベルト（年間 1 ミリシーベルト相当）を超えた地点については測定地点を個別に記載。毎時 0.23 マイクロシーベルトを超えなかった測定地点は、施設ごとにまとめてその最大値を記載。

測定機器：シンチレーション式サーベイメータ

「HORIBA PA-1000」及び「日立アロカメディカル TCS-172B」

測定方法：機器使用マニュアルに基づき使用。1 地点につき5回測定し、その平均値を当該地点の測定値とする。

※ 地上5センチメートルの高さで毎時 0.23 マイクロシーベルト（年間 1 ミリシーベルト相当）を超えている地点については、除染（表土除去など）を実施した。除染実施後の測定値は（ ）で示す。

①学校等の空間放射線量測定結果（9施設）

単位：μSv/時間

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
西秋留小学校	雨どい下（体育館東側）	平成26年12月17日	0.10	
増戸小学校	雨どい下（給食配膳室北側）	平成26年12月17日	0.13	
五日市小学校	雨どい下（体育館渡り廊下）	平成26年12月17日	0.10	
旧戸倉小学校	雨どい下（体育館渡り廊下）	平成26年12月10日	0.13	
小宮ふるさと自然体験学校（旧小宮小学校）	雨どい下（体育館南側）	平成26年12月25日	0.13	

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
西中学校	雨どい下（プレハブ倉庫）	平成26年12月17日	0.12	
御堂中学校	雨どい下（武道場西側）	平成26年12月17日	0.10	
五日市中学校	落ち葉だまり（体育館入口）	平成26年12月17日	0.10	
五日市学校給食センター	雨どい下（玄関横）	平成26年12月5日	0.11	

②保育園・児童館の空間放射線量測定結果（1 施設）

単位：μSv/時間

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
草花児童センター	雨どい下（建物南）	平成26年11月27日	0.10	

③公園の空間放射線量測定結果（1 施設）

単位：μSv/時間

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
草花公園	雨どい下（クラブハウス）	平成26年11月21日	0.13	

④体育施設の空間放射線量測定結果（2 施設）

単位：μSv/時間

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
総合グラウンド	雨どい下（倉庫入口左側）	平成26年12月3日	0.09	
	雨どい下（倉庫北側）	平成26年12月3日	0.11	
秋川体育館	西側植栽付近 3 地点の最大値	平成26年12月8日	0.15	

⑤社会教育施設等の空間放射線量測定結果（4 施設）

単位：μSv/時間

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
五日市郷土館	雨どい下（南東）	平成26年12月22日	0.16	
	雨どい下（東）	平成26年12月22日	0.13	

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
二宮考古館	雨どい下（入口）	平成26年12月22日	0.15	
菅生第二文化財倉庫	雨どい下（南西）	平成26年12月22日	0.08	
アートスタジオ五日市	入口側溝	平成26年12月22日	0.09	

⑥福祉関係施設の空間放射線量測定結果（3 施設）

単位：μSv/時間

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
五日市保健センター （五日市学童クラブ）	雨どい下 4 地点の最大値	平成26年12月5日	0.09	
五日市希望の家	雨どい下（B 棟南東角）	平成26年11月26日	0.10	
	雨どい下 （西側カーポート南側）	平成26年11月26日	0.08	
	雨どい下 （西側カーポート北側）	平成26年11月26日	0.10	
あきる野保健相談所	雨どい下（北西倉庫）	平成26年12月18日	0.11	

⑦地区会館・市営住宅等の空間放射線量測定結果（4 施設）

単位：μSv/時間

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
北伊奈会館	雨どい下（東側）	平成26年12月18日	0.11	
引田区画整理相談事務所	雨どい下 2 地点の最大値	平成26年12月25日	0.18	
中村住宅	雨どい下 4 地点の最大値	平成26年12月12日	0.12	
小中野住宅	雨どい下	平成26年12月12日	0.11	

⑧農林・観光関係施設の空間放射線量測定結果（1 施設）

単位：μSv/時間

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
秋川橋河川公園	雨どい下 3 地点の最大値	平成26年12月10日	0.15	

(5) 食品の放射性物質検査結果

【検査対象】

- ①小・中学校や幼稚園・保育園等で使用される食材
- ②秋川と五日市のファーマーズセンターで販売される農産物
- ③瀬音の湯の直売所で販売される農産物

【検査項目】

「セシウム134」及び「セシウム137」

※ 放射性ヨウ素については半減期が8日と短く、すでに検出が認められておらず、規制の対象となっていないため記載はしていない。

【放射性物質検査の基準値】

放射性セシウムの基準値（平成24年4月～）

食品群	基準値（ベクレル/kg）
飲料水	10
牛乳	50
一般食品	100
乳児用食品	50

※ベクレル/kg…1kg当たりの放射性物質の濃度

※検査の結果、放射性セシウムが基準値の半分より上回ったものは、登録検査機関で確定検査を行う。

【結果の見方】

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
〇月〇日	学校給食センター	人参	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	11	10	13	10

- ・検査日……検査を行った日
- ・対象施設……試料を持ち込んだ施設（試料を使う施設）
- ・試料名……検査に用いた試料
- ・産地……試料の産地
- ・検出結果……試料中の放射性物質の濃度
検出限界値未満の場合には不検出、検出限界値以上の場合には数値を記載。
- ・検出限界値……各測定における検出可能な最小数値のこと（測定条件によって変化する。）

【検査結果】

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
4月1日	西秋留保育園	ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		大根	神奈川県	不検出	10	不検出	10
4月2日	瀬音の湯 農産物直売所	キャベツ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		シタケ	あきる野市乙津	不検出	10	22	10
4月3日	よつぎ第一保育園	インゲン	沖縄県	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		タケノコ	熊本県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		サバ	ノルウェー	不検出	10	不検出	10
4月4日	よつぎ第二保育園	アスパラガス	佐賀県	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
4月7日	秋川あすなろ保育園	のらぼう菜	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		菜の花	あきる野市原小宮	不検出	11	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	宮城県	不検出	10	不検出	10
4月8日	誠和保育園	ワカメ	宮城県	不検出	11	不検出	10
		トマト	栃木県	不検出	10	不検出	10
		ナス	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	群馬県	不検出	10	不検出	10
4月9日	秋川ファーマーズセンター 五日市ファーマーズセンター	ニラ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		のらぼう菜	あきる野市引田	不検出	10	不検出	10
		タケノコ	あきる野市切欠	不検出	10	不検出	10
		のらぼう菜	あきる野市三内	不検出	10	不検出	10
4月10日	学校給食センター	ホウレンソウ	あきる野市網代	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	千葉県・茨城県	不検出	10	不検出	10
		レンコン	茨城県	不検出	10	16	10
		ニラ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		豚ももこま肉	栃木県	不検出	10	不検出	10
4月11日	増戸保育園	アジ	タイ	不検出	10	不検出	10
		シイタケ	岩手県	不検出	10	不検出	10
		タケノコ	熊本県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
4月15日	五日市保育園	鶏卵	青森県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	神奈川県・群馬県	不検出	10	不検出	10
4月16日	五日市わかば保育園	麦茶	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		イワシ	アメリカ	不検出	11	不検出	10
		ご飯	宮城県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道・関東	不検出	10	不検出	10
4月17日	学校給食センター	ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
4月18日	光明第六保育園	のらぼう菜	東京都	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	19	不検出	17
		キュウリ	茨城県	不検出	10	不検出	10
4月22日	あきる野こどもの家	長ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		人参	静岡県	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		豆腐	カナダ	不検出	10	不検出	10
4月23日	みどりの園	大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		のらぼう菜	東京都	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		サワラ	韓国	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
4月24日	秋川文化幼稚園	ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	青森県	不検出	10	不検出	10
		人参	静岡県	不検出	10	不検出	10
4月25日	くさばな幼稚園	のらぼう菜	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		人参	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
4月28日	ずもも木幼稚園	キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		ご飯	北海道	不検出	10	不検出	10
4月30日	秋川ファーマーズセンター	葉玉ネギ	あきる野市小川	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	小松菜	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
		葉玉ネギ	あきる野市留原	不検出	10	不検出	10
5月1日	多摩川幼稚園	玉ネギ	佐賀県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		鶏肉	宮崎県	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		レタス	静岡県	不検出	10	不検出	10
5月2日	学校給食センター	小松菜	東京都	不検出	10	不検出	10
		セロリ	長野県	不検出	10	不検出	10
		チンゲンサイ	静岡県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		鮭	北海道	不検出	10	不検出	10
5月7日	秋川ファーマーズセンター	キャベツ	あきる野市雨間	不検出	10	不検出	10
		フキ	あきる野市引田	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	キャベツ	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
5月8日	ほうりんじ幼稚園	タケノコ	あきる野市小川東	不検出	10	不検出	10
5月9日	すぎの子保育園	ブロッコリー	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	長崎県	不検出	10	不検出	10
		人参	静岡県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都	不検出	10	不検出	10
5月12日	神明保育園	豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	静岡県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・埼玉県・群馬県	不検出	10	不検出	10
5月13日	屋城保育園	ジャガイモ	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		麦茶	東京都	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	青森県	不検出	10	不検出	10
5月14日	東秋留保育園	大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		人参	栃木県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	熊本県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	宮崎県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		レタス	茨城県	不検出	10	不検出	10
5月15日	西秋留保育園	キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		ワカメ	三重県	不検出	10	不検出	10
		トマト	静岡県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	茨城県	不検出	10	不検出	10
5月16日	学校給食センター	白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		鶏もも肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
5月21日	瀬音の湯 農産物直売所	レタス	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		大根	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
5月22日	よつぎ第一保育園	白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ニラ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		チンゲンサイ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
5月23日	よつぎ第二保育園	キュウリ	宮崎県	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		サヤインゲン	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
		鶏ひき肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
5月27日	誠和保育園	甘夏	熊本県	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	都・山梨県・秋田県・青森	不検出	10	不検出	10
5月28日	秋川ファーマーズセンター	キャベツ	あきる野市平沢	不検出	10	不検出	10
		大根	あきる野市引田	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	スナックエンドウ	あきる野市網代	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
5月29日	増戸保育園	キュウリ	福島県	不検出	10	不検出	10
		サヤエンドウ	福島県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	長崎県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	兵庫県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	長崎県	不検出	10	不検出	10
5月30日	五日市保育園	人参	静岡県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	佐賀県	不検出	10	不検出	10
		麦茶	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ソラマメ	あきる野市野辺	不検出	10	不検出	10
		梅	あきる野市切欠	不検出	10	不検出	10
6月4日	秋川ファーマーズセンター	白菜	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	キュウリ	あきる野市小和田	不検出	10	不検出	10
		鶏卵	青森県	不検出	10	不検出	10
6月5日	草花保育園	ご飯	岩手県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	佐賀県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
		ズッキーニ	長野県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	千葉県	不検出	10	不検出	10
6月6日	学校給食センター	キュウリ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		豚ももこま肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		生クリーム	東京都	不検出	10	不検出	10
		鶏ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
6月9日	五日市わかば保育園	シイタケ	秋田県	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	栃木県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	宮城県	不検出	10	不検出	10
		レタス	長野県	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
6月11日	あきる野こどもの家	ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		白菜	長野県	不検出	10	不検出	10
		チンゲンサイ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	茨城県	不検出	10	不検出	10
	みどりの園	ジャガイモ	長崎県	不検出	10	不検出	10
		鮭	チリ	不検出	10	不検出	10
		鶏もも肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		アスパラガス	長野県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
6月13日	学校給食センター	ブリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		サワラ	東シナ海	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
6月17日	秋川文化幼稚園	玉ネギ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	山形県	不検出	10	不検出	10
		鶏ひき肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
6月18日	秋川ファーマーズセンター	トウモロコシ	あきる野市平沢	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
6月18日	五日市ファーマーズセンター	ニラ	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	あきる野市網代	不検出	10	不検出	10
6月19日	くさばな幼稚園	ナス	高知県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	長野県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		トマト	東京都	不検出	10	不検出	10
6月20日	ずもも木幼稚園	ご飯	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	長崎県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	茨城県	不検出	10	不検出	10
6月23日	多摩川幼稚園	玉ネギ	佐賀県	不検出	10	不検出	10
		豚肉	群馬県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	愛知県	不検出	10	不検出	10
6月24日	屋城保育園	レタス	茨城県	不検出	10	不検出	10
		麦茶	東京都	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	兵庫県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	東京都	不検出	10	不検出	10
		トマト	静岡県	不検出	10	不検出	10
6月25日	瀬音の湯 農産物直売所	アジ	静岡県	不検出	10	不検出	10
		ズッキーニ	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
6月26日	ほうりんじ幼稚園	キュウリ	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
6月27日	神明保育園	ジャガイモ	あきる野市小川東	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	長崎県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	兵庫県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	茨城県	不検出	10	不検出	10
6月30日	すぎの子保育園	牛乳	栃木県・埼玉県・群馬県他	不検出	10	不検出	10
		人参	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		トマト	千葉県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
7月1日	秋川文化幼稚園	モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	香川県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	長崎県	不検出	10	不検出	10
7月2日	学校給食センター	カボチャ	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
		ニラ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		鶏ももこま肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		豚ばら肉	栃木県	不検出	10	不検出	10
		アジ	ベトナム	不検出	10	不検出	10
7月3日	くさばな幼稚園	玉ネギ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		アスパラガス	長野県	不検出	10	不検出	10
7月4日	多摩川幼稚園	ニラ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		豚肉	群馬県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	佐賀県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
7月7日	東秋留保育園	キャベツ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		トマト	静岡県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	宮崎県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
7月8日	学校給食センター	鶏ひき肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	佐賀県	不検出	10	不検出	10
		レタス	長野県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		サバ	ノルウェー	不検出	10	不検出	10
7月9日	秋川ファーマーズセンター	牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
		ナス	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	あきる野市野辺	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
7月9日	五日市ファーマーズセンター	ナス	あきる野市五日市	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	あきる野市三内	不検出	10	不検出	10
7月10日	秋川あすなろ保育園	ジャガイモ	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		青シソ	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		ナス	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		メロン	千葉県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	宮城県	不検出	10	不検出	10
		バナナ	フィリピン	不検出	10	不検出	10
		ご飯	岩手県	不検出	10	不検出	10
7月11日	草花保育園	白菜	長野県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	熊本県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		スイカ	新潟県	不検出	10	不検出	10
		メロン	千葉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	愛知県	不検出	10	不検出	10
7月15日	よつぎ第一保育園	人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	静岡県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		ニラ	栃木県	不検出	10	12	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
7月16日	よつぎ第二保育園	ブロッコリー	長野県	不検出	10	不検出	10
		生シタケ	秋田県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
7月17日	西秋留保育園	キュウリ	青森県	不検出	10	不検出	10
		トマト	秋田県	不検出	10	不検出	10
		ナス	栃木県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	佐賀県	不検出	10	不検出	10
7月18日	増戸保育園	インゲン	福島県	不検出	10	不検出	10
		大根	北海道	不検出	10	不検出	10
		トマト	秋田県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		ナス	千葉県	不検出	10	不検出	10
7月22日	誠和保育園	ホウレンソウ	北海道	不検出	10	不検出	10
		バナナ	フィリピン	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	静岡県	不検出	10	不検出	10
		鶏卵	あきる野市	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
7月23日	秋川ファーマーズセンター	トウガン	あきる野市小川	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	玉ネギ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		ナス	あきる野市網代	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	あきる野市留原	不検出	10	不検出	10
7月24日	五日市保育園	玉ネギ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		人参	青森県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	青森県	不検出	10	不検出	10
		麦茶	茨城県	不検出	10	不検出	10
7月28日	五日市わかば保育園	ご飯	秋田県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	茨城県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	兵庫県	不検出	10	不検出	10
		カリフラワー	長野県	不検出	10	不検出	10
		シメジ	長野県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道・関東	不検出	10	不検出	10
7月29日	光明第六保育園	ホウレンソウ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		万能ネギ	福岡県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	秋田県	不検出	10	不検出	10
		アメリカンチェリー	アメリカ	不検出	10	不検出	10
7月30日	瀬音の湯 農産物直売所	カボチャ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	あきる野市養沢	不検出	10	不検出	10
		トマト	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
7月31日	あきる野こどもの家	人参	青森県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	岩手県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	香川県	不検出	10	不検出	10
		鶏肉	宮城県	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ヘクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
8月1日	みどりの園	トマト	青森県	不検出	10	不検出	10
		カレイ	アイスランド	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
8月4日	屋城保育園	麦茶	東京都	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		トマト	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	長崎県	不検出	10	不検出	10
8月5日	神明保育園	鶏肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		レタス	長野県	不検出	10	不検出	10
		オレンジ	カリフォルニア	不検出	10	不検出	10
		牛乳	千葉県・北海道・群馬県他	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	あきる野市切欠	不検出	10	不検出	10
8月6日	秋川ファーマーズセンター	カボチャ	あきる野市雨間	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	ゴーヤ	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	佐賀県	不検出	10	不検出	10
8月7日	すぎの子保育園	人参	青森県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		トマト	千葉県	不検出	10	不検出	10
		レタス	長野県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	福島県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	兵庫県	不検出	10	不検出	10
8月8日	東秋留保育園	人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	岩手県	不検出	10	不検出	10
		チンゲンサイ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		豆腐（大豆）	アメリカ	不検出	10	不検出	10
		11日から15日まで検査はお休みしました。					
8月18日	西秋留保育園	玉ネギ	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	長野県	不検出	10	不検出	10
8月19日	草花保育園	ジャガイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	香川県	不検出	10	不検出	10
		ワカメ	徳島県	不検出	10	不検出	10
		ごはん	岩手県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
8月20日	秋川ファーマーズセンター	長ネギ	あきる野市野辺	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	ズッキーニ	あきる野市牛沼	不検出	10	不検出	10
		モロヘイヤ	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
		シシトウ	あきる野市網代	不検出	10	不検出	10
8月21日	よつぎ第一保育園	ジャガイモ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		サバ	ノルウェー	不検出	10	不検出	10
		豆腐	東京都	不検出	10	不検出	10
8月22日	よつぎ第二保育園	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	北海道	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
8月25日	秋川あすなろ保育園	大根	岩手県	不検出	10	不検出	10
		ハウレンソウ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		トマト	岩手県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	茨城県	不検出	11	不検出	10
		牛乳	宮城県	不検出	10	不検出	10
		梨	福島県	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
8月26日	誠和保育園	サツマイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ナメコ	新潟県	不検出	10	不検出	10
		シメジ	長野県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		カボチャ	北海道	不検出	10	不検出	10
8月27日	瀬音の湯 農産物直売所	ナス	あきる野市養沢	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		ゴーヤ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	群馬県	不検出	10	不検出	10
8月28日	増戸保育園	長ネギ	新潟県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		鶏こま肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		大根	北海道	不検出	10	不検出	10
		豆腐（大豆）	アメリカ・カナダ	不検出	10	不検出	10
8月29日	五日市保育園	キュウリ	青森県	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	山形県	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
		白菜	長野県	不検出	10	不検出	10
9月2日	学校給食センター	ホウレンソウ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		梨	茨城県	不検出	10	不検出	10
		豚ももこま肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		ナス	あきる野市小川	不検出	10	不検出	10
9月3日	秋川ファーマーズセンター	ショウガ	あきる野市牛沼	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	ピーマン	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
		カジキ	オーストラリア	不検出	10	不検出	10
9月4日	五日市わかば保育園	鶏卵	青森県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		カブ	青森県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	福岡県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道・関東	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
9月5日	光明第六保育園	モヤシ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	青森県	不検出	11	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		白菜	長野県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	兵庫県	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
9月8日	あきる野こどもの家	カボチャ	北海道	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	山形県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	東京都	不検出	10	不検出	10
		オレンジ	南アフリカ	不検出	10	不検出	10
9月11日	くさばな幼稚園	モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		シメジ	長野県	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		オクラ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
9月12日	すもも木幼稚園	キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
		おかゆ	北海道・埼玉県	不検出	10	不検出	10
9月16日	学校給食センター	生シイタケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		カツオ	宮城県	不検出	10	不検出	10
		ブリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
9月17日	秋川ファーマーズセンター	姫トウガン	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	キャベツ	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
		ナス	あきる野市留原	不検出	10	不検出	10
		小松菜	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
9月18日	ほうりんじ幼稚園	人参	北海道	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
9月22日	すぎの子保育園	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	北海道	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	山形県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都	不検出	10	不検出	10
9月24日	瀬音の湯 農産物直売所	サツマイモ	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		葉大根	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
9月25日	神明保育園	鶏ひき肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	長野県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・東京都・埼玉県他	不検出	10	不検出	10
9月26日	屋城保育園	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		麦茶	東京都	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
9月29日	東秋留保育園	ゴボウ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		インゲン	群馬県	不検出	10	不検出	10
		シイタケ	秋田県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都	不検出	10	不検出	10
9月30日	西秋留保育園	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		ナメコ	長野県	不検出	10	不検出	10
10月1日	学校給食センター	小松菜	東京都	不検出	10	不検出	10
		ブドウ	山梨県	不検出	10	不検出	10
		鶏もも肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		鮭	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
10月2日	草花保育園	人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		ワカメ	徳島県	不検出	10	不検出	10
		鶏卵	青森県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	長野県	不検出	10	不検出	10
10月6日	よつぎ第一保育園	キュウリ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		ニラ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
		カブ	千葉県	不検出	10	不検出	10
10月7日	よつぎ第二保育園	キュウリ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	長野県	不検出	10	不検出	10
		白菜	長野県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	あきる野市野辺	不検出	10	不検出	10
10月8日	秋川ファーマーズセンター	大根	あきる野市引田	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	ベカ菜	あきる野市網代	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	あきる野市入野	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
10月9日	秋川あすなろ保育園	ピーマン	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		芋蓴	東京都	不検出	10	不検出	10
		サトイモ	東京都	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	山形県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	長野県	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
10月10日	誠和保育園	ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		白菜	長野県	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	山形県	不検出	10	不検出	10
		チンゲンサイ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	青森県	不検出	10	不検出	10
14日から17日まで検査はお休みしました。							
10月21日	学校給食センター	サツマイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	山形県	不検出	10	不検出	10
		チンゲンサイ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		サンマ	台湾	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
10月22日	瀬音の湯 農産物直売所	トウガン	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
		人参	あきる野市養沢	不検出	10	不検出	10
		ハヤトウリ	あきる野市養沢	不検出	10	不検出	10
10月23日	あきる野こどもの家	豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	青森県	不検出	10	不検出	10
		ナメコ	長野県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
10月24日	みどりの園	キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		豚もも肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
10月27日	秋川文化幼稚園	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		ミニトマト	静岡県	不検出	10	不検出	10
10月29日	秋川ファーマーズセンター	人参	あきる野市野辺	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	キャベツ	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
10月30日	すもも木幼稚園	長ネギ	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
10月31日	多摩川幼稚園	ごはん	北海道・埼玉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		鶏肉	宮崎県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
11月4日	学校給食センター	レタス	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		鶏ひき肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	新潟県	不検出	10	不検出	10
		サワラ	東シナ海	不検出	10	不検出	10
11月5日	増戸保育園	牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	新潟県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	群馬県	不検出	10	不検出	10
11月6日	五日市保育園	胚芽精米	長野県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	山形県	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
11月10日	五日市わかば保育園	モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	群馬県	不検出	10	不検出	10
		ごはん	秋田県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	群馬県	不検出	10	不検出	10
11月11日	光明第六保育園	牛乳	東京都	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	千葉県	不検出	11	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	12	不検出	10
		牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
11月12日	秋川ファーマーズセンター	キャベツ	あきる野市引田	不検出	10	不検出	10
		白菜	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	ホウレンソウ	あきる野市留原	不検出	10	不検出	10
11月13日	くさばな幼稚園	水菜	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
		大根	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		カブ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		小松菜	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
		ミカン	和歌山県	不検出	10	不検出	10
11月14日	学校給食センター	豚ひき肉	栃木県	不検出	10	不検出	10
		イワシ	欧州	不検出	10	不検出	10
		セロリ	長野県	不検出	10	不検出	10
		カブ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	東京都	不検出	10	不検出	10
11月17日	すぎの子保育園	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		カボチャ	ニューカレドニア	不検出	10	不検出	10
		柿	山梨県	不検出	10	不検出	10
11月18日	神明保育園	豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	東京都	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・埼玉県・群馬県他	不検出	10	不検出	10
11月19日	瀬音の湯 農産物直売所	聖護院大根	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		カブ	あきる野市養沢	不検出	10	不検出	10
11月20日	屋城保育園	ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	愛知県	不検出	10	不検出	10
		麦茶	東京都	不検出	10	不検出	10
11月26日	秋川ファーマーズセンター	ブロッコリー	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		賀茂ナス	あきる野市下代継	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	サヤインゲン	あきる野市小和田	不検出	10	不検出	10
11月27日	ほうりんじ幼稚園	人参	あきる野市入野	不検出	10	不検出	10
		大根	あきる野市小川東	不検出	10	不検出	10
11月28日	東秋留保育園	チンゲンサイ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		鶏肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都	不検出	10	不検出	10
12月1日	学校給食センター	キャベツ	東京都	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	東京都	不検出	10	不検出	10
		ニラ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		シイラ	宮城県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
12月2日	西秋留保育園	大根	あきる野市上代継	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	東京都	不検出	10	不検出	10
12月3日	秋川ファーマーズセンター	ブロッコリー	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	長ネギ	あきる野市網代	不検出	10	不検出	10
		小松菜	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
12月4日	草花保育園	ミカン	和歌山県	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	青森県	不検出	10	不検出	10
		バナナ	エクアドル	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
		ヨーグルト	香川県	不検出	10	不検出	10
12月8日	よつぎ第一保育園	ホウレンソウ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		大根	徳島県	不検出	10	不検出	10
		鮭	チリ	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
12月9日	よつぎ第二保育園	大根	徳島県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		レンコン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	群馬県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
12月10日	秋川あすなろ保育園	白菜	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		大根	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	愛知県	不検出	10	不検出	10
		カブ	東京都	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	東京都	不検出	10	不検出	10
		レンコン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ミカン	和歌山県	不検出	10	不検出	10
12月11日	誠和保育園	レタス	兵庫県	不検出	10	不検出	10
		トマト	栃木県	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	愛知県	不検出	10	不検出	10
		ミカン	和歌山県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	茨城県	不検出	10	不検出	10
12月12日	学校給食センター	白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		タラ	アラスカ	不検出	10	不検出	10
		ブリ	岩手県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
12月16日	増戸保育園	ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
12月17日	瀬音の湯 農産物直売所	ジャガイモ	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
		サトイモ	あきる野市養沢	不検出	10	不検出	10
		赤長水大根	あきる野市養沢	不検出	10	不検出	10
12月18日	五日市保育園	人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		豆腐	東京都	不検出	10	不検出	10
12月19日	五日市わかば保育園	カレイ	ロシア	不検出	10	不検出	10
		大根	徳島県	不検出	10	不検出	10
		ごはん	埼玉県	不検出	11	不検出	10
		人参	東京都	不検出	10	不検出	10
		鶏卵	青森県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道・関東	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	群馬県	不検出	14	不検出	12
12月22日	光明第六保育園	エノキダケ	長野県	不検出	12	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	11	不検出	10
		カジキ	宮崎県	不検出	11	不検出	10
		赤カブ	あきる野市草花	不検出	11	不検出	10
12月24日	秋川ファーマーズセンター	ジャガイモ	あきる野市野辺	不検出	12	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	小松菜	あきる野市山田	不検出	12	不検出	11
		白菜	あきる野市伊奈	不検出	11	不検出	10
12月25日	あきる野こどもの家	ゴボウ	青森県	不検出	12	不検出	11
		大根	千葉県	不検出	11	不検出	10
		サツマイモ	千葉県	不検出	11	不検出	10
		白菜	千葉県	不検出	11	不検出	11
		シメジ	長野県	不検出	11	不検出	11
12月26日	みどりの園	鶏ひき肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		人参	東京都	不検出	11	不検出	10
		白菜	東京都	不検出	10	不検出	10
		サトイモ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	青森県	不検出	11	不検出	11
1月7日	秋川ファーマーズセンター	白菜	あきる野市下代継	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	大根	あきる野市小川	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
1月8日	屋城保育園	ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		麦茶	東京都	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
1月9日	学校給食センター	小松菜	東京都	不検出	10	不検出	10
		カリフラワー	福岡県	不検出	10	不検出	10
		チンゲンサイ	静岡県	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	青森県	不検出	10	不検出	10
		サバ	ノルウェー	不検出	10	不検出	10
1月13日	神明保育園	牛乳	栃木県・埼玉県・群馬県他	不検出	10	不検出	10
		鶏もも肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
1月14日	瀬音の湯 農産物直売所	白菜	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		菜の花	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		サトイモ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
1月15日	すぎの子保育園	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		レタス	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
1月16日	西秋留保育園	キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	青森県	不検出	10	不検出	10
1月20日	学校給食センター	人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		豚ばら肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		鶏もも肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
1月21日	秋川ファーマーズセンター	小松菜	あきる野市野辺	不検出	10	不検出	10
		大根	あきる野市平沢	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	大根	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
1月22日	秋川文化幼稚園	ミニトマト	静岡県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
1月23日	くさばな幼稚園	白菜	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		エリンギ	新潟県	不検出	10	不検出	10
		イカ	中国	不検出	10	不検出	10
		エビ	ベトナム	不検出	10	不検出	10
1月26日	すもも木幼稚園	ごはん	栃木県	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		人参	茨城県	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
1月27日	多摩川幼稚園	鶏肉	宮崎県	不検出	10	不検出	10
		豚肉	群馬県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		水菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
1月28日	草花保育園	ごはん	岩手県	不検出	10	不検出	10
		人参	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	青森県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
1月29日	東秋留保育園	豚ひき肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	青森県	不検出	10	不検出	10
2月2日	ほうりんじ幼稚園	チンゲンサイ	茨城県	不検出	10	不検出	10
2月3日	よつぎ第一保育園	ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	宮崎県	不検出	10	不検出	10
		チンゲンサイ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		人参	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		シメジ	茨城県	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
2月4日	学校給食センター	ニラ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		セロリ	長野県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		アジ	タイ	不検出	10	不検出	10
2月5日	よつぎ第二保育園	キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	宮城県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		カブ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
2月6日	秋川あすなろ保育園	大根	静岡県	不検出	10	不検出	10
		レンコン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		イチゴ	静岡県	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
2月9日	誠和保育園	伊予柑	和歌山県	不検出	10	不検出	10
		ニラ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		ナメコ	山形県	不検出	10	不検出	10
		イチゴ	栃木県	不検出	10	不検出	10
2月10日	秋川ファーマーズセンター	八頭（サトイモ）	あきる野市洩上	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	ホウレンソウ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		人参	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
2月12日	五日市保育園	長ネギ	あきる野市網代	不検出	10	不検出	10
		豆腐	アメリカ・カナダ	不検出	10	不検出	10
		鶏肉	宮城県	不検出	10	不検出	10
		麦茶	茨城県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
2月13日	学校給食センター	清見オレンジ	和歌山県他	不検出	10	不検出	10
		サワラ	東シナ海	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	栃木県	不検出	10	不検出	10
		鶏肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
2月17日	増戸保育園	豚ひき肉	栃木県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	青森県	不検出	10	不検出	10
2月18日	瀬音の湯 農産物直売所	シイタケ	あきる野市乙津	不検出	10	29	10
2月19日	五日市わかば保育園	鶏ひき肉	栃木県	不検出	10	不検出	10
		ごはん	秋田県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都	不検出	10	不検出	10
		タケノコ	福岡県	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
2月20日	光明第六保育園	ホウレンソウ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		豚肉	青森県	不検出	10	不検出	10
2月23日	あきる野こどもの家	ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		シメジ	長野県	不検出	10	不検出	10
		大根	静岡県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ちくわ	東京都	不検出	10	不検出	10
2月24日	みどりの園	豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
2月25日	秋川ファーマーズセンター	キャベツ	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	水菜	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		人参	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
		のらぼう菜	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
2月26日	秋川文化幼稚園	ホウレンソウ	東京都	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		タケノコ	福岡県	不検出	10	不検出	10
2月27日	くさばな幼稚園	ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		レンコン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		チンゲンサイ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		オレンジ	カリフォルニア	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
3月2日	神明保育園	牛乳	栃木県・埼玉県・群馬県他	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		菜の花	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	千葉県	不検出	10	不検出	10
3月3日	学校給食センター	大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		ブリ	岩手県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
3月4日	秋川ファーマーズセンター	ジャガイモ	あきる野市牛沼	不検出	10	不検出	10
		水菜	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	小松菜	あきる野市小和田	不検出	10	不検出	10
		豚肉	デンマーク	不検出	10	不検出	10
3月5日	多摩川幼稚園	ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		人参	茨城県	不検出	10	不検出	10
3月6日	ほうりんじ幼稚園	キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
3月9日	すもも木幼稚園	ごはん	栃木県	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
3月10日	屋城保育園	キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		麦茶	東京都	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		レタス	茨城県	不検出	10	不検出	10
3月11日	すぎの子保育園	トマト	静岡県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
3月12日	東秋留保育園	人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		のらぼう菜	福岡県	不検出	10	不検出	10
		豚肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都	不検出	10	不検出	10
		小松菜	東京都	不検出	10	不検出	10
		鶏もも肉	北海道	不検出	10	不検出	10
		豚ももこま肉	群馬県	不検出	10	不検出	10
3月13日	学校給食センター	鮭	北海道	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
		ワカメ	徳島県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
3月17日	草花保育園	ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		ごはん	岩手県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
		ヨーグルト	北海道	不検出	10	不検出	10
3月18日	瀬音の湯 農産物直売所	ホウレンソウ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		のらぼう菜	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
3月19日	よつぎ第一保育園	大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	徳島県	不検出	10	不検出	10
		万能ネギ	福岡県	不検出	10	不検出	10
3月24日	よつぎ第二保育園	豚肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		シイタケ	新潟県	不検出	10	不検出	10
		チンゲンサイ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		カブ	千葉県	不検出	10	不検出	10
3月25日	秋川ファーマーズセンター	のらぼう菜	あきる野市小川	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	長ネギ	あきる野市切欠	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	あきる野市網代	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
3月26日	秋川あすなろ保育園	長ネギ	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		菜の花	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		のらぼう菜	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		フキ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		甘夏	熊本県	不検出	10	不検出	10
		レンコン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		バナナ	フィリピン	不検出	10	不検出	10
3月30日	誠和保育園	大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	茨城県	不検出	10	不検出	10

平成26年度 あきる野市環境白書

平成27年11月



発行：あきる野市

〒197-0814 あきる野市二宮350番地

電話 042-558-1111（代）

<http://www.city.akiruno.tokyo.jp/>

編集 あきる野市環境経済部環境政策課
